

会長のページ 日本医師会綱領の策定(報告)	稲倉 正孝	3
日州医談 新しい専門医制度	上田 章	6
就任挨拶 宮崎大学医学部教授就任挨拶	中村 都英, 佐藤 克明	8
はまゆう随筆(その 1)		10
谷口 二郎, 山路 健, 今田 真一, 田島 直也, 加藤 雅俊 藤本 孝一, 市来 能成, 康田 明照, 松倉 茂, 長嶺 元久 宝珠山 弘, 上田 集久, 永山 武章, 野村 英輔		
エコー・リレー(455)	野村 郁夫, 中島 紫織	21
国公立病院だより(宮崎市小児診療所)	川名 隆司	26
宮崎大学医学部だより(外科学講座循環呼吸・総合外科学分野)	富田 雅樹	28
専門分科医会だより(整形外科医会)	田島 直也	29
メディアの目 夢のような技術	原口 俊幸	31
社会保険診療報酬支払基金宮崎支部審査委員名簿(医科)		32
ニューメンバー	天野 正宏, 井上 忍, 落合 竜三 西野 峻, 藤本 正樹, 井口 厚司	50
診療メモ 急増する疾患「加齢黄斑変性」	直井 信久	72

宮崎県感染症発生動向	22
各都市医師会だより	24
あなたできますか?(平成 24 年度医師国家試験問題より)	30
宮崎県医師会医学会役員会	33
第 4 回宮崎の医療を考える会(若手記者との勉強会)	33
九州医師会連合会第 33 回常任委員会	34
九州医師会連合会第 105 回定例委員総会	35
薬情報センターだより(314 新薬紹介(その 63)	39
日医インターネットニュースから	40
理事会日誌	42
ベストセラー	48
県医の動き	49
会員の異動・変更報告	52
ドクターバンク情報	55
行事予定	59
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	61
みやざきメディカルトライアングル通信	71
あ と が き	78

~~~~~

|                                        |    |
|----------------------------------------|----|
| お知らせ 第 14 回宮崎県医師会医家芸術展 .....           | 5  |
| 平成 25 年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い ..... | 37 |
| クールビズについて .....                        | 53 |
| 平成 25 年度春季県医師テニス大会(再度)開催のお知らせ .....    | 75 |
| 郡市医師会への送付文書 .....                      | 76 |

## 医 師 の 心 得

1. 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品：油絵〕

### ヨットと赤い家

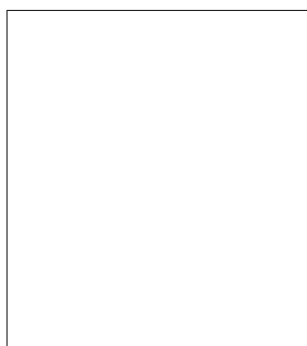
60 歳の手習いで、絵画教室に通うようになり 30 年が過ぎました。最近、画筆に力がないようだ、我が家の自称評論家に批評され、先生に相談してモネの模写を試みました。

私なりに精一杯描いてみましたが、このような宮崎県医師会の機関紙の表紙に載せていただき光栄に存じます。感謝の念で一杯でございます。

小林市 <sup>おし</sup>押 <sup>かわ</sup>川 <sup>とし</sup>俊 <sup>こ</sup>子

## 会長のページ

## 日本医師会綱領の策定(報告)

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

平成 25 年 6 月 23 日に開催された第 129 回日本医師会定例代議員会で日本医師会綱領が採択された(資料 1)。これまで、日本医師会には、全ての医師が集結できる基本理念・基本方針・行動規範等を定めた綱領ともいえるものがなかった。平成 25 年 4 月 1 日からの公益社団法人化に伴い、「日本医師会の基本理念を明確にし、組織としての目的・目標・理想を会員のみならず国民の皆様を示したい」との横倉義武会長の考えに基づいている。

事の発端は平成 24 年 4 月 1 日に開催された第 126 回定例代議員会に於ける福田俊朗代議員の個人質問「日本医師会に綱領の策定について要望」に始まる。これを受けて平成 24 年 7 月 13 日に第 1 回日本医師会綱領(仮称)検討委員会が開催され、委員長に野中博東京都医師会長を選任し、4 回委員会を開催し、慎重に検討し、平成 25 年 3 月に答申書が提出された。時宜を得た、スピード感のある対応であったと感懐している。

横倉会長、福田委員が述べられているように、会員だけでなく、国民に広く理解していただけるような明確な具体的な目標、行動指針、ビジョンを示すことで、全ての医師が「新生公益社団法人日本医師会」に集結する旗印としての役割が期待される。

本綱領が、平成 12 年度 4 月 2 日の第 102 回日本医師会定例代議員会で採択された、医師個人の規範である日本医師会『医の倫理綱領』(資料 2)とともに、まさに車の両輪として、日本医師会員に深く根付き、国民との信頼が構築・共有されることを切に願う。

(平成 25 年 7 月 1 日)

## 日本医師会綱領 ▽

日本医師会は、医師としての高い倫理観と使命感を礎に、人間の尊厳が大切にされる社会の実現を目指します。

1. 日本医師会は、国民の生涯にわたる健康で文化的な明るい生活を支えます。
2. 日本医師会は、国民とともに、安全・安心な医療提供体制を築きます。
3. 日本医師会は、医学・医療の発展と質の向上に寄与します。
4. 日本医師会は、国民の連帯と支え合いに基づく国民皆保険制度を守ります。

以上、誠実に実行することを約束します。

(本綱領は平成 25 年 6 月 25 日に開催された第 129 回日本医師会定例代議員会で採択された。)

### 資料 1

## 医の倫理綱領 ▽

医学および医療は、病める人の治療はもとより、人びとの健康の維持もしくは増進を図るもので、医師は責任の重大性を認識し、人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。

1. 医師は生涯学習の精神を保ち、つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす。
2. 医師はこの職業の尊厳と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように心掛ける。
3. 医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める。
4. 医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす。
5. 医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める。
6. 医師は医業にあたって営利を目的としない。

(本綱領は平成 12 年 4 月 2 日に開催された第 102 回日本医師会定例代議員会で採択された。)

### 資料 2

## お知らせ

## 第 14 回宮崎県医師会医家芸術展

「優秀な作品を一同に展示し、作品を通じて交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成 12 年から始まった宮崎県医師会医家芸術展も、本年度で第 14 回を開催する運びとなりました。今回は 45 名の皆様から 100 点のご応募をいただきました(7 月 3 日現在)。

毎年、1,000 名を越える皆様にご来場いただき、ご好評いただいております。

今年は下記の日程で開催いたしますので、多くの皆様のご来場を心よりお待ちいたしております。

展示期間：平成 25 年 8 月 13 日(火)～ 18 日(日)(6 日間) 10: 00～ 18: 00

(但し、18 日(日)は 10: 00～ 15: 00 まで)

場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー 1・2

(宮崎市船塚 3 -210 県総合文化公園内)

部 門：書道、絵画、写真

出 展 者：宮崎県医師会員とその家族(高校生以上)

問合せ先：宮崎県医師会 学術広報課 ☎ 0985-22-5118

## 書 道 部 門

|              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 岡 村 公 子(延岡市) | 尾 上 孝 子(宮崎市) | 篠 原 由紀子(宮崎市) |
| 日 高 芳 則(延岡市) | 松 本 京 子(宮崎市) | 美 原 矩 子(宮崎市) |
| 山 内 勲(宮崎市)   | 弓 削 和 子(宮崎市) | 弓 削 三重子(宮崎市) |
| 吉 山 登志子(都城市) |              |              |

## 絵 画 部 門

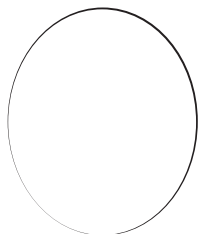
|              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 安 藤 宣(西都市)   | 石 川 万佐子(宮崎市) | 押 川 千賀子(宮崎市) |
| 押 川 俊 子(小林市) | 黒 川 基 樹(宮崎市) | 酒 井 美和子(都城市) |
| 瀬戸口 敏 明(都城市) | 竹 村 龍之助(宮崎市) | 谷 口 二 郎(宮崎市) |
| 中 島 知 徳(宮崎市) | 長 沼 恭 子(延岡市) | 長 沼 弘三郎(延岡市) |
| 藤 木 浩(宮崎市)   | 丸 田 眞 美(新富町) | 吉 山 絢 子(都城市) |
| 吉 山 政 敏(都城市) |              |              |

## 写 真 部 門

|              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 井ノ口 信 子(宮崎市) | 押 川 紘一郎(宮崎市) | 木佐貫 冬 星(宮崎市) |
| 木 谷 靖(延岡市)   | 楠 元 正 輝(宮崎市) | 桑 原 淑 子(小林市) |
| 酒 井 桂 子(都城市) | 竹 尾 康 男(宮崎市) | 田 崎 高 伸(宮崎市) |
| 田 中 宏 幸(宮崎市) | 谷 口 二 郎(宮崎市) | 西 村 篤 乃(宮崎市) |
| 日 高 利 昭(延岡市) | 藤 浦 富 子(日南市) | 前 田 俊 二(小林市) |
| 丸 田 英 夫(新富町) | 康 田 明 照(日向市) | 矢 野 裕 士(小林市) |
| 渡 邊 命 平(日向市) | 渡 邊 美 子(日向市) |              |

(敬称略・各部門 50 音順・平成 25 年 7 月 3 日現在)

## 日州医談



## 新しい専門医制度

理事 うえだ あきら  
上 田 章

新しい専門医制度、医療事故調査委員会の設置、医療提供体制の見直し、特定看護師制度、薬剤師による処方、混合診療の拡大など、医師を取り巻く環境はますます厳しくなっている。今回は平成29年度にも始まる新しい専門医制度の概要と課題について述べる。

専門医の在り方に関する検討会の最終報告書  
平成25年4月22日に厚生労働省より専門医の在り方に関する検討会の最終報告書(以下、専門医報告書)が公表された。専門医報告書によれば、現在の専門医制度については評価すべき点も多いが、「専門医制度を運用する学会が乱立して認定基準が統一されておらず、専門医として有すべき能力について医師と国民との間にギャップがあるなど国民にとってわかりにくい」との批判がある。また、医師の地域偏在・診療科偏在が近年重要な課題となり偏在への配慮が欠かせないとの背景をもとに、新しい専門医制度は医師の質の一層の向上および医師の偏在是正を図ることを目的として検討された。

専門医は「それぞれの診療領域における適切な教育を受けて十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される標準的な医療を提供できる医師」と定義され、専門医の質の担保の観点から、学会から独立した第三者機関が設置されることになった。専門医の広告については第三者機関が認定した専門医だけが広告可能となり、学会等が認定した資格名と区別される。標榜科についても将来、区別を考えるとされた。

第三者機関は専門医の認定と養成プログラムの評価・認定の2つの役割を担い、その際の専門医の認定・更新基準や養成プログラム・研修施設の基準、各領域専門医が満たすべき到達目標、経験症例数、指導体制等についての共通指針を作成する。各学会は共通指針にしたがって養成プログラムを作成することになる。また、専門医に係るデータの把握も継続的に行われ、データベースが構築される。

専門医制度は2階建てとなる。1階部分に基本領域専門医がおかれ、基本領域専門医を取得した上で、2階部分のサブスペシャルティ領域専門医を取得することになる。

1階部分の基本領域専門医については、現在、日本専門医制評価・認定機構(専門医認定機構)によって、総合内科、精神科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、救急科、小児科、外科、眼科、脳神経外科、病理、形成外科、皮膚科、整形外科、耳鼻咽喉科、放射線科、臨床検査、リハビリの18領域が認定され、これに総合診療専門医が加わるべきとされた。

2階部分のサブスペシャルティ領域専門医には、同じく専門医認定機構によって、消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝(内科・小児科・産婦人科)、糖尿病、腎臓、肝臓、アレルギー、感染症、老年病、神経内科、リウマチの主に内科系13と、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科の外科系4の合計17の専門医が認定されている。



1 人の医師が原則として複数の基本領域の認定・更新を受けることはできない。現在の学会認定専門医の新制度への移行については、適切な移行基準を設け、平成 29年度あるいは平成 32年度に移行を開始する。地域医療の確保の観点から、地域のニーズにあった数の専門医を養成し、現在以上に医師が偏在しないようにする。

専門医の育成と医学卒前教育および臨床研修制度との連携が重要であり、卒前教育における診療参加型臨床実習の充実と臨床研修制度の別途見直しが行われ、平成 27年度の研修医から新たな臨床研修制度がはじまり、専門医の養成プログラムはその 2 年後の平成 29年度より開始される。

日本専門医制評価・認定機構の専門医制度整備指針

次に、第三者機関になることが想定されている専門医認定機構より「専門医制度整備指針」（第 4 版 平成 25年 5月）が公表された。この指針によれば、専門医取得中の医師の名称として「専攻医」が用いられる。現在の専門医数ならびに将来の適正専門医数、診療圏の症例・手術数や指導体制と地域性を勘案した育成可能な専攻医数が示される。研修期間は、基本領域 5 年間以上（臨床研修期間を含めることも可）、サブスペシャリティ領域 3 年間以上を基本とする。更新は 5 年毎で、研修施設として基幹研修施設と関連研修施設が認定される。

#### 課 題

新しい専門医制度に関しては多くの課題が指摘されているが、ここでは、いくつかの課題を

指摘しておきたい。

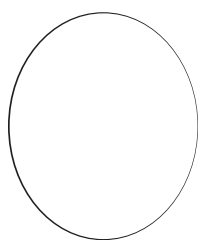
地域の医師確保の観点から、専門医育成の基幹施設の確保が重要となる。現在宮崎県内の基幹教育施設数は、専門医認定機構の資料によれば、すべて新基準で認定されとは限らないが、内科 3、小児科 2、皮膚科 2、外科 10、整形外科 27、産婦人科 6、眼科 1、耳鼻科 4、泌尿器科 7、脳神経外科 1、放射線科 2、麻酔科 12、病理科 3、臨床検査科 1、救急科 4、リハビリテーション科 6、精神科 12となっており、一部少ない領域があるので、整備を進める必要がある。

サブスペシャリティ領域の専門医を取得するまでの期間が長すぎるとの意見もある。臨床研修 2 年間、専攻医研修 3 年間の後にさらに最低 3 年間以上となるので、医師免許取得後最短 8 年間、32歳以上となる。これに臨床研究・基礎研究・大学院の期間を考慮すると研究者・基礎医学者は今まで以上に人材不足となる可能性がある。プログラムに多様性を持たせるなどの工夫が必要となるであろう。

今回の専門医報告書において、総合診療専門医が基本領域専門医として認定され、適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的に提供することが求められるとされた。今後、医療提供体制や診療報酬制度の改正のなかで、フリーアクセスの制限、ゲートキーパー機能、在宅医療などに関連して議論が進むものと思われる。総合診療専門医の認定が医療費削減の手段とならず、高齢者等のニーズに合った総合医療の提供に寄与できることを期待したい。

## 就 任 挨 拶

## 宮崎大学医学部教授就任挨拶

外科学講座循環呼吸・総合外科学分野教授 なか むら くに ひで 中 村 都 英

平成 24 年 7 月 1 日に、宮崎大学医学部外科学講座循環呼吸・総合外科学分野の教授に就任いたしました中村都英です。昭和 56 年に本学 2 期生として卒業しましたので、既に 30 年以上が過ぎました。卒業後直ちに第 2 外科に入局いたしました。当時の教授は呼吸器外科の富田正雄先生でした。富田教授から“君らが宮崎で頑張らないと、将来、母校はどこですかと問われたとき時に、母校はなくなりましたと答えなければならない時代が来るかもしれない”との言葉をいただき、この先生についてこう思ったのが入局の動機の一つでした（確かに宮崎医科大学という名前はなくなりました）。その後、富田教授は長崎に栄転され、心臓血管外科が専門の古賀保範先生が後を引き継がれました。多くのことを学びましたが、外科に対する姿勢や医師のあるべき姿など、現在の私にとって宝となるようなことをたくさん学びました。関連病院での勤務の後に、卒業後 7 年目に心臓血管外科を専門にするよう古賀教授より指示され、その後は、24 時間 365 日ただひたすら第 2 外科の心臓血管外科班の仕事を続けました。古賀教授が急逝されるという悲しい出来事がありましたが、後任の鬼塚敏男教授と共に医局員の減少に苦労しながら更に 10 年を過ごしました。恩師や医局への恩返しができたら次のステージに移動しようと考えていましたので、宮崎県立延岡病院心臓血管外科に勤務させていただきました。

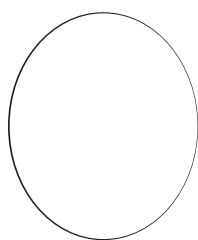
た。自分が思い描いた心臓血管外科の診療を行い、地域医療に貢献している実感と心臓血管外科医としての喜びを感じた 3 年間でした。

既に教授として 1 年が過ぎました。私の第 1 の仕事は心臓外科医として働くこと、心臓外科医を育てることです。世間には神の手を持つ心臓外科医がたくさんいますが、手術には神の手は出てきません。自分の手、助手の手しか出てきません。常に手術の訓練や新しい知識と手術手技の習得が必要です。そのような機会を医局員にたくさん供給してあげなければいけないと考えています。レベルの高い成績をきちんと維持することは外科医として当然のことですが、学生を教育し、外科医を増やし、次世代に外科を繋げることも教授としての自分の最大の仕事だと自覚しています。これまで 3 人の教授に仕えましたので、教授職の難しさや思い悩むだろう内容は十二分に想像することができます。また、教授としてやるべき仕事や医局員が望む教授像も理解できます。短い任期であると自覚して、スピーディに仕事を進めたいと思っています。幸い苦労を共にしてきた医局員がたくさんいますので、なんとかなると思っています。ある高名な人工臓器研究の先達の言葉である“unlimited optimism, unlimited friendship, unlimited enthusiasm, unlimited curiosity”をモットーとして、与えられた期間の教授職としての仕事をやりぬこうと思います。よろしくお願いいたします。



## 就 任 挨 拶

## 新しい講座を開くにあたって

感染症学講座免疫学分野教授 <sup>さ</sup>佐 <sup>とう</sup>藤 <sup>かつ</sup>克 <sup>あき</sup>明

平成 25 年 3 月より、宮崎大学医学部医学科感染症学講座免疫学分野の教授を拝命致しました。この場を御借りして謹んでご挨拶申し上げます。

免疫学分野は新設講座で、初代教授として就任できまし

たことを光栄に思いますとともにその重責をひしひしと感じております。

私は、これまでに生体の高次機能システムであります免疫学の研究を行ってまいりました。免疫システムはウイルスや細菌などの微生物感染に対する防御や発がんへの監視を担っております。その一方で、免疫システムが破綻しますと自己免疫病やアレルギーなどの免疫疾患の発症を引き起こします。さらに、近年では免疫システムはこれらの疾患のみならず、炎症というキーワードで多くの生活習慣病や老化そのものにも関与するということがいわれております。このことから、我が国では高齢化社会の加速によって、将来的に加齢に伴う“免疫が関わる様々な疾患”の罹患率が上昇し、医療費や QOL (quality of life) の低下等、その経済的・社会的損失が大きな社会問題となることが危惧されております。従いまして、免疫に関連する疾患の発症・増悪機構を早急に解明し、根治治療法の確立が強く望まれております。

私の主な研究内容は免疫系の司令塔として作用する“樹状細胞”という白血球の機能を明らかにすることです。さらに、樹状細胞を目視した免疫疾患の発症・増悪機構の解明と樹状細胞を標的とした免疫疾患の疾患特異的治療法の確

立に挑戦しております。これらの研究活動を通じて医療社会のニーズに微力ながら貢献できるように努めてまいります。

教育については医学部医学科では 3 年生の免疫学・生体防御学の授業を担当しております。免疫学は専門用語が多いことや体系的に複雑なことから理解が難しい学問分野の一つであるとされております。このことから、医学部教育の抱負では、医学部学生に対し、一つひとつの事柄に何故そういえるのか、という理屈を懇切丁寧に説明し、対話形式で進める躍動感ある授業を通じて免疫学の面白さを伝え、リサーチマインドを有する医師の育成を心掛けます。さらに、教授した免疫学の知識が将来的に医療の現場で役立ちましたら非常に嬉しく思います。また、大学院教育では医科学専攻病理・病態学の免疫学分野を担当しておりますが、大学院生には最新の免疫学の知識と研究方法論を習得させ、将来的に独立した研究者となれるように尽力したいと思います。

私は真に独創性の高い個性を、巧みに世界へと押し出すことのできる若者の育成という教育理念のもと、この宮崎の地で教育研究活動を通じて医師・研究者として医療技術及び次世代科学を担う有望な人材の育成に是非取り組みたいと思っております。

最後になりましたが、宮崎県医師会と宮崎大学医学部の諸先生にはこのようなご挨拶の機会を与えて頂いたことを感謝致しますと共に、当講座が宮崎県教育・学術活動に貢献できますようご指導とご鞭撻を、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

# はまゆう随筆

その1

(7, 8, 9月号に分けて掲載いたします)

## 楽しかった歩こう会

宮崎市 たにぐちレディース クリニック たにぐち 谷口 二郎

年1回、宮崎県内の開業医の先生と家族の親睦を図る為、「宮崎県医師国民健康保険組合」主催で『歩こう会』が開催される。今年で1回目。私が参加するのは8回目である。毎年参加したいのだが、お産等の関係で行けない時もある。

今回行われたのは3月20日<sup>とのこり</sup>で都於郡城跡を見学し、その後綾に移動。「てるはの森」でバーベキューを楽しもうというものである。

当日は生憎の雨。しかも雷まで鳴っている。歩くにはちょっと条件が悪い。しかし約束しているので出掛ける事にした。家族同伴もOKということなので家内と長男夫婦と孫2人の6人で参加することにした。しかし残念ながら孫は風邪を引き38.4℃の熱があり参加出来ないということで夫婦2人だけの参加になった。

土砂降りの雨の中、集合場所へ向かった。もしかしたら中止？と思えるような雨である。集合場所にバスが停まっていて、予定通り開催されるらしい。しかしこの天気だとウォーキングは中止とのこと。「まあ当然でしょ」と思いながらバスに乗り込んだ。足元が濡れ、ズボンも先の方はびしょびしょだ。トイレに行きたくて仕方がない。5分前に行ったばかりなのに…。

途中宮崎駅で遠方の会員の方を乗せるという事で10分間停車するという。そこで売店にホッ

カイロを買いに行った。しかし、もう3月末になり暖かくなってきたのに置いていないという。

さてどうしようと思ったら、コンビニで温かいお茶を売っていた。なるべく熱いのを2本買い、靴下の中に忍ばせた。すると足がポカポカしてようやく気分が落ち着いた。見た目は悪いが、これでけっこう暖かいのだ。

土砂降りの雨の中、宮崎駅を発車。一路都於郡へ向かった。途中少し雨が弱まった。ふと外を見ると、遠くにほんのわずか青空が広がっていた。ラッキー。どうやら雨が上がりそうである。くねくねした道を走ると40分位で着いた。

足元が悪い中ではあるが、せっかくだから皆で歩く事にした。城跡なので石段を登って行った。「足元に気を付けて下さい！」と言うので慎重に登って行った。遠くには尾鈴、霧島山系が楽しめる景色の良い所である。そこに伊東マンショの像が建っていた。

夫婦だけで出掛けるという事はほとんどないので、二人で記念写真を撮る事にした。私の左手を長くしてカメラを持ち夫婦の写真を撮っていると、係の人が「撮ってあげましょうか」と声を掛けてくれた。そこでお願いする事にした。

夫婦だけの写真は、一昨年の秋コスモスをバックにした写真以来である。なるべく仲の良い夫婦という事を見せようと、肩に手を置き『パチリ』。まあ考えてみれば、こんなツーショットはもう今からあまり機会もないのかもしれない。そう思うと、いつもよりニッコリ。しかし逆に

ぎこない。

そこから降りる際気を付けていたのだが、下りの階段ですってんころり。皆がそれを見ていて、「大丈夫ですか？」と声を掛けてくれる。ちょっと打った部分が痛かったが「全然大丈夫。若いからこんなものへっちゃらですよ」と言いながらも、やっぱりあと 2 年すると 65 歳。高齢者並みの運動神経なのだと愕然とした。しかしその後、20 代の女性がやはり階段からつると滑り落ちたので、年齢には関係ないのかもとも思ったが…。

その後、綾の「てるのは森」へ。川辺にバーベキューが出来るところがあり、そこでバーベキューをする事になった。出てきた肉は特上の牛・豚・鶏でそれかなりのボリューム。家内と二人で食べきれるか心配だった。それでも頑張って食べた。ビールも飲み、「月の中」の焼酎を飲み、「万寿」の日本酒を飲み、色んな先生や家族の方と話が出来、楽しい一日であった。

帰って横になり、目覚まし時計を見たら 6 時。そろそろ風呂にでも入って晩メシを食べようかとリビングに行ったら何と朝の 6 時。家内が朝食の準備をしていた。昼から飲む事などほとんどないので、余程気持ち良く寝ていたらしい。来年も又行こう。そう思った。ちなみに今日歩いた歩数は 7,132 歩だった。

## ひとのきもち

都城市 山路医院 やま じ たけし  
山 路 健

「患者さんの気持ちが解る」そんな事が本当に解れば良いかもしれない。自分が同じ病気をしたらある程度は解るだろうが本当にそれが患者の本音だろうか？

人が何を考え何を望んでいるか解っても良いことも有るだろうが、自分にとっては苦痛かもしれない。

すれ違う人々の気持ちがどんどん自分の頭の中に入ってきたら…欲望、挫折そんな事まで入ってくる。人の本心がどんどん入ってくる。それに耐えきれぬ人がいるだろうか？確かに犯罪は無くなるだろう。行動を起こす前に防げる訳で…。

例え病に伏している人や赤ちゃんなど、言いたいけど言えない人の気持ちが解ったとしても私は知りたくない。「家に帰りたい」とか「子供に会いたい」とか解ってもそれ以上にいろんな人の感情が入ってくるはず。ある特定の人の気持ちが解れば良いだろうが、きっとそんな事無理でしょう。また、患者さんに本当は癌でどうしようもない状態なのに医師が「大丈夫ですよ」とにこにこして言ったら患者さんは安心するのに、「あ～あ、無理だよ～」って患者さんに解ったら…希望が消えてしまいます。

その人の気持ちを察する事は可能でしょう。その人に愛情を持って接したら何かが伝わり奇跡が起きるかもしれない。人間は利口な生物で不可能な事は「神」が何とかしてくれると考えた。宗教が心のよりどころです(私は無神論者だが)。

「患者さんの気持ちがわからない」でも良いでしょう。きっとこんな事を望んでいるのかな？

親切に接したら多分良いのでは？勝手に自分の頭で消化して、勝手に優しい考えに置き換えて接しているのだから…非常に冷たい人間と思われるかもしれないが、事実でしょう。

自分の気持ちと相手の気持ち、そんな駆け引きがあるから人生楽しいと思いますよ。

## 私の趣味

延岡市 いまだ内科・消化器科 いま だ しん いち 今 田 真 一

テニスを始めて 20 年になります。研修医時代に、県立宮崎病院で、湯田先生・宮永先生御二方の、テニスの国体選手と勤務させてもらったことがきっかけでした。

さて、東京で勤務していた時、羽田のテニスコートで、Jopper(テニスの日本ランキング保持者)の友人 2 人とテニスしていました。そこに、身長 190cm くらいのアラブ人(アルジェリア人でした)と一緒にテニスがしたいと言ってきたので、4 人で遊び始めました。Wahid という名前でした。Wahid があまりに上手で誰もかなわないので、話を聞いてみたところ、Wahid はアルジェリアのデビスカップ(テニスのワールドカップ)の代表で、ジュニア時代は世界ランキングを持っていたとのことでした。

テニスが上手なうえに、風貌も目立つために、僕らがテニス始めると、コートの周りに人垣が

できたりしていました。

ジュニアの頃は、バグダティス等の世界的な選手と試合をしていたが、今はプロテニスプレーヤーになるのを諦めて、日本に技術を学びに来たと話してくれました。

困ったのは食事です。宗教上の理由で、牛・豚・鶏が全く食べられず、食事は、渋谷のイスラム教専門のパスタ料理店に行っていました。

昨年、佐賀に遊びに行ったところ、焼肉屋の店長がテニスを好きだということで、この話しをしたところ、今度一緒にテニスをしようという話になりました。喜んでご一緒させてくださいと即答しました。ところが、店長が、残りのメンバーはプロにする？アマにする？というので、慌てて店内を見渡すと、福井烈・松岡修造・伊達公子等の元日本チャンピオンの写真やラケットが飾ってあって、常連とのことでした。その場は笑ってごまかしたのですが…。

1 度行ったきりのお店ですが、今でも時々、何時テニスをやりにくるのかと連絡が来ます。佐賀には当分行けそうにもありません。

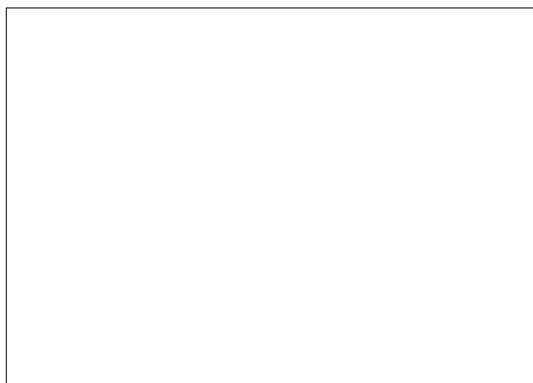
## 宮崎トライアスロンを

### 支援しよう

宮崎市 野崎東病院 た じま なお や 田 島 直 也

白い雲、青い海、ギラギラ照りつける太陽、宮崎の夏はまもなくやってくる。この真夏の 7 月、宮崎のトライアスロン大会は開催される。平成 22 年の口蹄疫の時は中止になった

が、毎年、宮崎の夏を代表するイベントになっている。1 年前からオリンピックと同じ距離で行われる大会となり、それだけ、権威ある大会と位置づけられている。



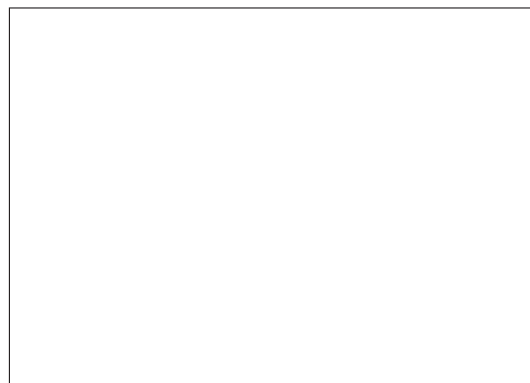
この大会の実行委員長は県医師会員である押川紘一郎先生である。彼自身、トライアスロンの選手であり、本大会の生みの親である。県を代表するスポーツイベントの実行委員長を現役の医師が長年続けることは極めて稀である。今年の大会も参加者 1,100 人、外国からの選手も参加し、過去にはオリンピック選手の山本良介さん(男)、関根明子さん(女)、庭田清美さん(女)のような著名人も参加している。

トライアスロンとは、スイミング 1.5km、自転車 40km、ランニング 10km 合計 51.5km の総合タイムを競う競技であり、水泳、自転車走、長距離走の三者の能力のバランスがよいことが要求される。

世界記録は男子 2 時間 00 分 29 秒、女子 2 時間 10 分 48 秒、日本記録は男子 2 時間 3 分 8 秒、女子 2 時間 1 分 2 秒、宮崎での記録は男子 2 時間 7 分 5 秒、女子 2 時間 29 分 9 秒で、世界とは残念ながら差がある。しかし、今大会が世界への登竜門ともなれば、又地元の見る目も変わってくると思うし、さらに地元からトップアスリー

トの出現が期待される。この大会には高校生はじめ多くのボランティアも参加し、私も初めから医事部門の手伝いをしている。又本大会の特徴として、キッズ対象の競技も行っていることがあげられる。県医師会としても本大会の認識を広め、支援してもらいたいと思う。

(平成 25 年 5 月 13 日記)



## 閑 中 妄 言

宮崎市 加藤胃腸科外科 加<sup>か</sup>藤<sup>どう</sup>雅<sup>まさ</sup>俊<sup>とし</sup>

「真理が靴を履く間に、嘘は地球を半周する」と言う台詞を耳にしたことがある。光陰矢の如く、嘘は千里を駆け抜けるか。テレビ、新聞等のマスメディアに耳目を拘束された生活を送るざるを得ない現実、心から満足と安堵を得る人は皆無で有ろう。しかし、それを生業とする



者にとっては心地よい世界だが。古より、諸子百家、諸説紛々、蛙鳴蟬噪、兎角に騒々しいのが人の世の常態。少し斜に構えた言い方、少し迷惑な独り言、頑迷固陋か、御海容を。電磁波を逃れ、狐狸の輩を避け、陋屋に静寂を得んとするも贅沢な事と知りつつ、只管疎く。漱石先生、存命ならば、草枕の冒頭句を今風に、どの様に再掲したことか、想像するに楽しい。世に知恵者、有識者、時節評論家と称する人、数多く出沒するが、心からに納得のいく人は僅少。専門家の管見が陥る袋小路に対する有効な解毒剤は無いものか。広い視野を持つ事、これも曖昧。媒体を通して見聞する情報もそれぞれの色が付き、真理の程は稀薄。眉間に皺を寄せるも、詮無い事。只、見て観ぬ精神で聞き流すしか手

立てはないのか。電力不足、節電の号令の下、電気料金を心配し、電源を切るはたやすいが、好奇心と言う魔女の誘惑に抗しきれず、うろたえる。情けなし。毅然と出来ない自分という生き物にも情けなし。常人の管見と屁理屈、鳥糞は何処にでも都合良いようにくつつく。こう言えば、ああ言うか。昔、何処かで聞いた気がするが。こんな時に古い文体に接すると胸のつかえがとれる気がする。古き書籍を紐解き、渉獵し、脳神経細胞膜受容体にきっちりとはまる言葉に出逢うこと程、おさまりの良いものはない気がする。露伴の言葉もその一つ。嬉嬉として暫しの安息を得る。今一度、その警咳に接する事が出来れば本望だが。喧噪の解消には、好きな事に没する限りか。妄言多謝。

## 叔母逝く

延岡市 藤本内科小児科医院 藤本孝一

われと妻卒中後なれど毎日を

医院の維持に努むる樂し

逝き給ふ百四歳の叔母偲ぶ

幼きわれの頭撫でくれし

昨年の死亡診断書見つめをり

われより若き老の多しも

元旦の朝突然に電話あり

近所の主婦の熱出でて来る

正月の二日にわれは病院の

当直室に昼餉食ひをり

## 磯 庭 園

宮崎市 市来内科・外科医院 <sup>いち き よし なり</sup> 市 来 能 成

昨年の 5 月の連休には子供二人が帰省したため、今年もその気でいたら、一人も帰って来なかった。家内が温泉宿をキャンセル待ちで予約するも温泉宿から連絡はなかった。夜間急病センター当直明けの家内の機嫌がちょっと悪くなるのを肌で感じ、5 月 4 日鹿児島までドライブすることになった。お互いの父親が鹿児島市の鶴丸高校出身であるため、幼少時に度々行ったことがある磯にまず向かった。昼前で小腹が空いたので、とりあえず「ちゃんぼ」を食べに店に寄った。桜島と錦江湾を眺めながら、懐かしい味を楽しむことができた。水族館は混雑していると思い、腹ごなしに磯庭園に向かった。

磯庭園の山上にある吉野町に祖父の家があったので、祖父に連れられ、弟、妹、従姉妹と一緒にロープウェーに乗って、磯庭園にはよく来たものだった。子供にとって、ロープウェーと茶店で食べる「ちゃんぼ」が主で、御殿くらいしか記憶になかった。島津さんの景気が悪い時期があったせいか、ロープウェーは廃止され、代わりに土産物店が整備されていた。大河ドラマの「篤姫」にあやかった感はあるが、庭園自体はよく整備され、観光地としても来た甲斐があった。しかし、一番印象に残ったのは庭園の外にある鶴嶺神社の入り口に薩摩藩士の心得が三つ書かれていたことだった。一つ「負けるな」、一つ「嘘をつくな」、一つ「弱いものいじめをするな」と書かれていた。後の二つは良いとして、最初の心得はきつい。今の時代がいかに恵まれているか感慨深いものがあった。

繁華街に立寄り、少し買い物をして、連休の賑わいを味わった。鹿児島の街も案外近くて良い気がした。最後に、昔よく連れて行ってもらっていた「こむらさき」の健在を確認して、帰路についた。墓参りと叔母の見舞いをしなかったため、少し後ろめたいドライブだったが、磯の神社の神様が許してくれるのを期待しつつ、あの心得はきついなあと思いながら帰った。

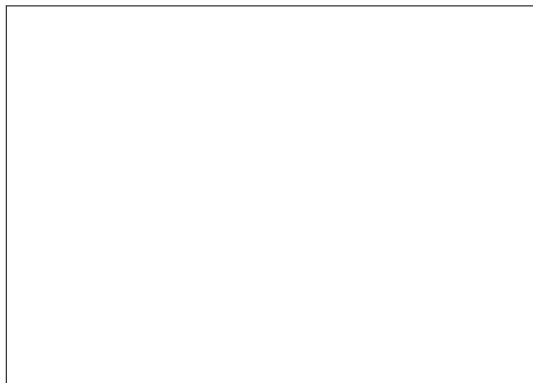
## 平 戸 の 旅 行 記

日向市 康田産婦人科医院 <sup>やす だ あき てる</sup> 康 田 明 照

平戸は日本で初めて西洋と貿易した元祖「和洋同魂」な風土、かつて国際貿易港として栄えた。一度あの大航海時代の平戸へとタイムスリップしたくて家内と旅に出掛けました。その時に心に残った場所について二、三述べたいと思います。

「田平天主堂」は赤煉瓦造りの教会でそこからは平戸瀬戸とそこに架かる平戸大橋が望め、景色が素晴らしく、写真や絵画の題材としてよく用いられており、長崎の教会群とキリスト教関連遺産の一つとして世界遺産暫定リストに登録されています。教会隣接のお墓には「十字墓」が数多く見受けられ、信仰心の強さが伺われます。

「無窮洞<sup>むきゅうどう</sup>」は戦時中に宮国民学校の先生と子供達によって掘られた防空壕です。無窮とは「きわまりのないこと」「かぎりないこと」で日本と子供達の将来がいつまでも栄えることの願いを込めて書かれているのでしょう。戦時下、4年生以上の児童がツルハシで掘り進み、女子生徒がノミで仕上げたといわれ、天井は小学生の手によるものとは思えないほど美しいアーチを描き、平和の祈りが聞こえそうです。全校生600人が入れるような広い地下壕は子供達の労力で完成させたとは見えないような立派なものです。



無窮洞

「呼子<sup>よぶこ</sup>」では江戸時代に巨万の富を築いた鯨組<sup>くじらぐみ</sup>主の中尾家屋敷を見学しました。中尾家は八代百七十年間捕鯨業を営んでいた捕鯨主<sup>ほげいぬし</sup>で唐津市の重要文化財に指定されており、捕鯨の歴史と文化を伝える資料館として開館しました。呼子朝市は江戸時代に鯨肉や水揚げされた鮮魚などと、近隣農家の農産物との物々交換がその始まりで今は日本三大朝市の一つとなりました。呼子のイカ漁は網を使わない、一本釣りが主流で傷つけないよう一杯ずつ丁寧に引き上げられ、そんな愛情のこもったイカは透明でとろけるようで甘みもたっぷり。そんなイカの活き造りは

目と舌を楽しませてくれ、下<sup>げ</sup>足の塩焼きや天ぷらにして美味しさを二度楽しめます。殻つきの生ウニをその場で食べました。新鮮で甘みがあって美味しかったです。

## 私の文化的趣味：

### これはトマトですか？

日向市 千代田病院 松<sup>まつ</sup> 倉<sup>くら</sup> 茂<sup>しげる</sup>

私は何事も広く、浅くやるを好む性格のためか、趣味もその道を極める迄には中々至らない。子供の頃から本好きで、若い頃には日本や西欧の古典文学の全集を買いそろえて読破したりもした。大学受験で古文の勉強も古事記から始まり、平安・鎌倉・室町・江戸の日本の古典文学も岩波文庫等で親しみ、高校の国語の教師を質問で困らせた程の実力(?)がつき、大学の進路としての国文科も考えた事もあった。

一方、音楽に関しては歌う方は音痴であるがクラシック音楽を中心に聴くのは大好きである。ただ残念ながら不器用のため、下手なハーモニカ以外は楽器の演奏は出来ない。若い頃、ギターと尺八はちょっと囁<sup>かじ</sup>ったが物にならなかった。

日向市に来てから病院の会長先生に誘われて

始めた<sup>かんぜりゅう</sup>観世流の謡いを、美辞麗句も気に入り、始めたが、先生がお辞めになったので途中で辞めてしまった。

絵画の方はオランダに留学したのでレンブラント、ルーベンス、フランス印象派の大ファンである。描く方は小・中学時代には学内コンテストで兄弟揃ってよく入賞していた。ある校内写生大会で4歳年下の弟が金賞を取り、私がそのひとつ下の1等賞をとったが、父が弟に<sup>ひいき</sup>偏見して金賞と1等賞とは特段の差があるとコメントしたので私は泣きながらそんなことはないと言った。見かねて母親が私を支援してくれた記憶がある。

医学の分野では外科系では自分の手術野のスケッチ等で画を描く事が多いが内科系ではスケッチを描く事はあまりない。そこで初心に帰り此からは画を再び描きたいと思うようになった。画には多種あるが昔取った杵柄で馴染みの水彩画の通信教育を受講する事にした。課題をこなしながら提出した作品の添削を受けているが、中々思ったような形や色にならずに悩んでいる

先輩医師である日曜画家の静物画の「柿」をみて「トマトですか?」と言い、先生が気分を害された事を思い出す。今、私も一生懸命トマトを画いている。

## 短歌

### 不死身なりけり

宮崎市 長嶺内科クリニック 長嶺元久<sup>ながの もとひさ</sup>

はるかなる昭和の<sup>ひび</sup>日に東映の時代劇をばあまた観たりき

柳太朗、橋蔵、新伍、錦之助いまや何れもこの世に居らず

悪役は不死身なりけり危められ次の映画にまた斬られをり

悪役といへば進藤英太郎、山形勲のおもざし浮かぶ

「曲者ぢや、であへ出会へ」といふ台詞映画、テレビに幾たび聞きし

※これらの歌は、短歌結社誌「心の花」平成二十五年五月号に掲載された作品を一部改変したものである。

## 千両役者

延岡市 ほうしやま子ども ほうしやま ひろし  
クリニック 宝珠山 弘

昔から“ドクターは千両役者たれ”と云はれている。

医学と教育は兄弟であり、又文学、哲学そして美学…のすべて人間完成、育成に必要である。

とくに近頃、イヂメ問題が大きくクローズアップされている。目前の対策ではだめである。

修身学、道德学がないからである。

“実る程頭の下る稲穂かな”にある如く人間哲学がないと頭が軽いような気がする。つい上から物を見て肩で風切って通る人も多い。そして弱い者をイヂメルのである。これに立ち向うには実力をつける必要がある。“人生まさに劣等感の克服でもある。”私も小学校時代イヂメをうけたことがある。波瀾万丈の人生だったと言う程の大きさではないが、自分なりに目的に向ってがんばった。おそれることはない。私はかつて教育者になろうと思った頃がある。教育と一医学は車の両輪でもある。と思っているからである。

さわやかな美しい心をもった人であれば～美しい友情、交友が産れ、しいては明るい社会、美しい日本が産れる。各人一人ひとりが自分の仕事に勇気と誇りをもち千両役者になるように励むことが大切である。歌の文句じゃないけど“ボロは着てても心の錦 どんな花よりきれいだぜ”“若い時は二度とない 人のやれない事をやれ”“行くぞこの道どこ迄も”の勇気こそイヂメに立ち向う手段である。イヂメをうけて泣くことはない、又死ぬこともない“京の五条の橋の上の牛若丸のような気持こそ必要である。”

日本は古くから日本の道徳がある。文部省よなぜなぜ、修身一道德教育を急がないのか今こそ実行あるのみと思う。

## 右も左もわからず

小林市 上田内科 うえ だ ため ひさ  
上 田 集 久

4～5歳の頃であつたろうか、「右って、どっちね?」と従兄に聞いた。五つ年上の従兄は「箸を持つ方が右」と教えるのではなく、「北を向いて東が右」と、得意げに教えてくれた。

私が、「北はどっちね?」と聞くと、従兄は「あっち」と指差し、「東はどっちね?」と聞くと、「あっち」と指を差した。

難しい説明を受けた私は、右左の判別には方位の知識が必要で、常々「方位磁石」を携帯すべきなのだろうと、子供心に思った。

小学校低学年の時、「上から三番目の右端」と言われ、しばしば他人様の靴箱に自分の靴を入れた。「右向け右」と言われ、自分一人、左を向いた。「左に曲がるのよ」と道を教えられ、恐らく右に曲がったのだろう、しばしば迷子になった。

免許証更新の視力検査時、輪の切れ目が上下位では検査官が頷いたが、輪の切れ目が横位では首を傾げた。検査官は怪訝な顔をしながらも通してくれて更新はなったが、恐らく、左右逆に答えていたのであろう。眼科医によれば、視力検査時に左右逆に答える患者さんは多いらし



い。だから「向かって右」「向かって左」との言葉もあるのだろう。今にして思えば、靴の入れ違いも、こちらを向いている「靴箱の立場に立って」左右の判断をしていたように思う。

仕事は体面位であり、常に「患者さんの立場に立って」話して来たので、戸惑いを感じることはなかった。

私の方向音痴や左右混乱は、従兄の教え方の拙さに起因するものと恨み続けて来たが、辞書で「右」と引くと、「北を向いて東」，「南を向いて西」とあり、従兄に罪はないことが、後々分った。

とすると、私の体内には「左右識別用方位磁石」が生来存在しないか、その性能が悪いのだろうか。

「右往左往」の果てに迎えた古希の身、肌身に更なる「磁気力低下」を覚え始めて「運転返上」を決意した。

## 眩 き

宮崎市 ながやま小児科  
アレルギークリニック なが 永 やま 山 たけ 武 のり 章

背を弓なりに曲げ頭を下げたままシルバーカーを押していく老女、時々頭をあげ前方を確かめては歩いていく。反対方向から杖を 2 本ついて跛行しながらゆっくり歩く老男、その傍ら 2～3 歩後を老女が付き添うように歩いていく。また老女を押し椅子にさせて老男がそれを押して歩

いていく老夫婦の最愛の光景。

ウォーキングの休憩で古びて塗り剥げた長椅子に私は座っていた。傍らに煙草の吸殻が落ちている。文化公園の中央草地は広々として白詰草の小さな花が島嶼状に咲き詰め、その中で子供達がボール投げに遊び興じている。周辺には幼児と戯れ遊びの母親もいた。30歳ぐらいの若夫婦、女が手を夫のまわりに伸ばし歩き、その後を幼児がついていく。突然手にしていたテニスラケットで子どもの頭を叩いた。2 度も。思わず私は溜息がでた。片や携帯を耳当てしたまま、子供は放りっぱなしの母親もいる。犬を 2～3 匹つれてのウォーキングの人かなり増えた。いや犬のウォーキングに付き添うといった感じである。子育てよりも犬育ての方が手がかゝらず楽しいというのか、少子化がここにも見え見えする。またベビーカーを押してくる中年女性がいた。段々近づいたら、ベビーではなくて、なんと小犬を乗せていた。小犬を降ろして暫く遊ばせまた乗せていった。次は中年女性が両肘を曲げ前後に大きく振り、急ぎ脚で歩いていく。広場で後ろ向きになって腕を振り歩く女性もいる。みな年相応の健康運動に懸命に努力している姿があった。私も周辺草地に移動し、白詰草の花を踏みながらも軽い自己流体操をした後、もう一周のウォーキング。時折り腕まげ前後振りして歩く。中央広場南西の窪地には菖蒲の花が紫、白と一斉に咲き揃い見事である。老健施設の人らしい数人が介護人に付き添われて椅子に座って眺めていた。

## カラダ言葉

### (気管、皮膚、直腸肛門の部)

延岡市 野村病院 <sup>の</sup> <sup>むら</sup> <sup>えい</sup> <sup>すけ</sup>  
野 村 英 輔

#### 気管—タンカを切る

追い詰められ、逃げようがないという状態の中で、見事タンカを切って、フン、どんなもんだいと、格好よくやり過ごす。いつでもそんなにたやすくタンカを切れるか否かは別として、タンカは漢方の方では痰火と書かれている。痰火とは、文字通り、のどに痰がひっかかって不快感をきたすことである。この痰さえ切れれば、のどがスーッと通って気分がよくなる。タンカを切るという短いフレーズの中で、この快気分を見事に表していますね。

#### 皮膚—毛嫌い

獣類は、交接の相手さえおれば、たやすく性欲を満たせるものと思いき勝ちであるが、意外にもそうではないという。獣医さんの話によると、例えば馬では、相手の毛の色によって交接のイエス、ノーが決まるものらしい。後年、馬

喰う達は、ノーのケースを文字通り毛嫌いと表現したようである。我々は、日常的に「毛頭ございません」とか、「一寸毛色が違うな」とか、「あいつは毛並みのいい奴だ」とか…とかく毛の色や形態へのこだわりを持っています。

#### 直腸肛門の部—おなら

語源については、色々な説がある。一説によると、ガス噴出時のあの妙音を「鳴らす」から「鳴らし」へと名詞化させ、それに接頭辞としての「お」が付いて出来たのがおならなんだと。更にもうひとつ、なじみの由来論は、こうである。高名な百人一首、伊勢大輔作「いにしえの奈良の都の八重桜 きょう九重ににおいぬるかな」の奈良がにょいとユナイトして屁を表現するようになった、というのである。いずれにせよ、音、或いは匂いのいずれかにウエイトをおいて表現されたものでありましょう。かく相成りまして、私の様な「ヤブ医者」の語源はと尋ねられますと、次のような一首が目にとまりました。“ 医者の頭に雀がとまる とまるはずだよ ヤブだもの ”

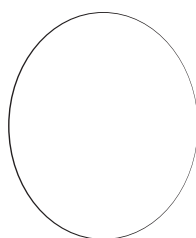
カット

## エコー・リレー

( 45 回 )

( 南から北へ北から南へ )

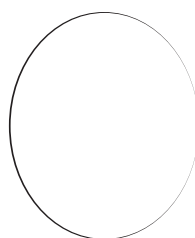
## 感性硬化症

延岡市 野村病院 <sup>の</sup> <sup>むら</sup> <sup>いく</sup> <sup>お</sup> 野 村 郁 夫

Facebook が切っ掛けで全国に散らばった中高の同級生が松山に集まり、昨年、卒業〇〇年目で初の同窓会が開催された。高校時代はバンドブームで、ギターやベースを寮に隠し持ち、舎監に「親と外泊」

と申告して土曜夜の高尚な音楽活動に勤しんだ仲間とも再会した。しかし皆、したり顔で「25〜6 歳頃から聴く音楽変われへんなあ」と爺臭いことを言う。まあ自分もご多分に漏れず、手元のヘビロテには高校時代に聴いていた Jam iroquai、近藤房之助、P.メセニー、レッチリ、ノーマンクック etc が堂々現役でランクイン。10 年前から買う音は 70 年代か 2000 年前後の FUNK /R&B /JAZZ /AOR ばかりで、好みのジャンルをマニアックに掘り下げているだけだ。FB では、10 代にメタル好きだった友人は未だにメタリカの YouTube クリップをシェアしている。歌謡曲好きは渡辺美里。ブライアンアダムス好きだった友人は今も車で聴いていると言う。君の髪、ブライアン通り越してフィルコリンズになってんのに感性はまるで進化してないやん。…とはいえ自分にも、AKB ともクロの音楽的区別ができない、売れている日米英 POPs が全て同じ音に聞こえる等の自覚症状を認める。少しいい感じの新人を聴いても「これフェイゲンのパクリ？」等の不穏言動を呈する。いかん。頭と成功体験で聴くんはオッサン道や。師曰く、Don't think. FEEL!!…いや、でも AKB と韓流は土台無理。〔次回は、小林市の園田 泰三先生にお願いします〕

## 終活

宮崎市 宮路医院 <sup>なか</sup> <sup>しま</sup> <sup>し</sup> <sup>おり</sup> 中 島 紫 織

“就活”“婚活”と世の中〇活ブームだが、マイ・ブームは“終活”だ。否、ブームと呼ぶには相応しくない。なぜならこの“終末期へ向けての活動”は、私に死が訪れるまで、折に触れて考え続けるであろうことだから。

ハナミズキが散る頃、以前同じ職場で働いた仲間の終末期を看取った。病状が厳しくなったころから、その方には「いまを生きる」ことについて話を振ることが多くなったが、ある日唐突に「先生、私は死ぬことが怖くなりました」と言われた時、私は動揺した。なぜなら、私自身がその方を見送る覚悟が出来ておらず、「どう逝きたいか」という話題を無意識に避けていた事実気付いたからだ。

「痛くないように、楽しい夢を見て逝きたい」その方の願いだった。だから私は、呼びかけに応じなくなっても、職場の楽しい思い出を傍で話した。やがて、愛情あふれるご家族にあたたく見守られ、旅立たれた。通夜の日、その方は自らが用意した死装束に身を包み、自らが決めた式次第で見送られた。お別れの時、私は“その方が書いた”手紙を受け取った。『…ある日どこかでふと私の事を思い出して下さい、うれしいです。ありがとう。さようなら。お別れの日』。ハナミズキの花のように上を向いて、精一杯終末期を駆け抜けた人。その終活の見事なる哉。

そして私は、真っ白な紙にこう書き込む。“My Bucket List”。

(ご遺族の了解を得て書きました)

〔次回は、延岡市の榎本 雄介先生にお願いします〕

## 宮崎県感染症発生動向 ～5月～

平成25年4月29日～平成25年6月2日(第18週～22週)

## ■全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類：結核 24例が報告された。保健所別報告数を【図1】に示した。患者が16例、疑似症患者が1例、無症状病原体保有者が7例で、患者は肺結核が1例、その他の結核(結核性胸膜炎、腸結核)が5例であった【表1】。男性14例・女性10例で、年齢別報告数を【表2】に示した。
- 3 類：腸管出血性大腸菌感染症 2例が高鍋保健所管内で報告された。
- ・60歳代で無症状病原体保有者、原因菌のO血清型はO157vT1,2産生)。
  - ・70歳代で腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐、発熱がみられた。原因菌のO血清型はO157vT1,2産生)。
- 4 類：○A型肝炎：宮崎市保健所管内で1例報告された。患者は30歳代で、全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常がみられた。
- 重症熱性血小板減少症候群：宮崎市保健所管内で1例報告された。患者は60歳代で発熱、神経症状、下痢、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、消化管出血、刺し口がみられた。
- 日本紅斑熱：宮崎市保健所管内で2例報告された。患者は70歳代と80歳代で発熱、頭痛、刺し口、発しん、DIC、肝機能異常、血小板減少、ショック等がみられた。
- レジオネラ症：宮崎市保健所管内で2例報告された。患者は50歳代と60歳代でいずれも肺炎型。主な症状として発熱、肺炎、呼吸困難等がみられた。
- 5 類：○ウイルス性肝炎：宮崎市保健所管内で1例報告された。患者は30歳代でB型肝炎。肝機能異常、黄疸がみられた。
- 急性脳炎：日南保健所管内で1例報告された。患者は9歳で発熱、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加がみられた。原因病原体は不明。
- クロイツフェルト・ヤコブ病：宮崎市(1例)・都城(2例)保健所管内で報告された。
- ・60歳代の患者はゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病(GSS)。進行性認知症、小脳症状、臨床的に頑固な不眠がみられた。
  - ・70歳代、80歳代の患者は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)。進行性認知症、ミオクロヌス、小脳症状、無動性無言状態、記憶障害、精神・知能障害等がみられた。
- 梅毒：宮崎市保健所管内で1例報告された。患者は20歳代で無症候。
- 破傷風：宮崎市保健所管内で1例報告された。患者は70歳代で筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害がみられた。
- 風しん：宮崎市保健所管内で9例報告された。年齢別報告数を【表3】に示す。検査診断例が6例、臨床診断例が3例で、男性7例、女性2例であった。発しん、発熱、リンパ節腫脹、関節痛・関節炎などがみられた。ワクチン接種歴はなしが3例、不明が6例であった。

## ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は4,550人(定点あたり116.6で、前月比11.9%と増加した。また、例年と比べると78%と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患は

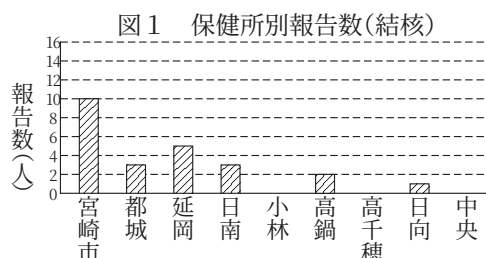


表1 結核の病型及び報告数(人)

|           |    |
|-----------|----|
| 肺結核       | 11 |
| その他の結核    | 5  |
| 無症状病原体保有者 | 7  |
| 疑似症患者     | 1  |

表2 結核の年齢別報告数(人)

| 1歳未満 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 90歳代 |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 2    | 2    | 3    | 6    | 4    | 6    | 1    |

表3 風しんの年齢別報告数(人)

| 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 |
|------|------|------|------|
| 1    | 2    | 4    | 2    |

前月との比較

|           | 2013年5月<br>報告数<br>(人) | 定点当<br>たり(人) | 2013年4月<br>報告数<br>(人) | 定点当<br>たり(人) | 例年<br>との<br>比較 |
|-----------|-----------------------|--------------|-----------------------|--------------|----------------|
| インフルエンザ   | 1,468                 | 24.9         | 1,525                 | 25.8         | ★              |
| RSウイルス感染症 | 61                    | 1.7          | 90                    | 2.5          | ★              |
| 咽頭結膜熱     | 196                   | 5.4          | 159                   | 4.4          | ★              |
| ※溶レン菌咽頭炎  | 399                   | 11.1         | 285                   | 7.9          |                |
| 感染性胃腸炎    | 1,499                 | 41.6         | 1,471                 | 40.9         |                |
| 水痘        | 537                   | 14.9         | 332                   | 9.2          |                |
| 手足口病      | 46                    | 1.3          | 11                    | 0.3          |                |
| 伝染性紅斑     | 2                     | 0.1          | 5                     | 0.1          |                |
| 突発性発しん    | 205                   | 5.7          | 133                   | 3.7          |                |
| 百日咳       | 0                     | 0.0          | 0                     | 0.0          |                |
| ヘルパンギーナ   | 23                    | 0.6          | 2                     | 0.1          |                |
| 流行性耳下腺炎   | 70                    | 1.9          | 62                    | 1.7          |                |
| 急性出血性結膜炎  | 1                     | 0.2          | 0                     | 0.0          |                |
| 流行性角結膜炎   | 41                    | 6.8          | 44                    | 7.3          |                |
| 細菌性髄膜炎    | 0                     | 0.0          | 0                     | 0.0          |                |
| 無菌性髄膜炎    | 0                     | 0.0          | 3                     | 0.4          |                |
| マイコプラズマ肺炎 | 2                     | 0.3          | 2                     | 0.3          |                |
| クラミジア肺炎   | 0                     | 0.0          | 1                     | 0.1          |                |

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



## ■病原体検出情報(微生物部)

| 検出病原体 |                                     | 件 | 臨床症状等                                                       |
|-------|-------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------|
| 細菌    | Legionella Pneumophila SG1          | 1 | ・肺炎, 発熱, 咳嗽, 呼吸困難                                           |
|       | Salmonella Manhattana(O8(O6):d:1,5) | 1 |                                                             |
|       | 腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT1,2)             | 1 | ・無症状                                                        |
| ウイルス  | アデノウイルス I 型                         | 1 | ・麻疹, 38.0℃, 上気道炎, 発疹                                        |
|       | ライノウイルス                             | 2 | ・急性肺炎, 下気道炎<br>・肺炎, 下気道炎, 呼吸困難                              |
|       | 風疹ウイルス                              | 2 | ・風疹, 麻疹疑い, 39.5℃, リンパ節腫脹<br>・麻疹疑い, 39.6℃, リンパ節腫脹, 上気道炎, 胃腸炎 |

RSウイルス感染症であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ, RSウイルス感染症, 咽頭結膜熱であった。

水痘の報告数は537人(14.9で前月の約1.6倍, 例年の約9割であった。日南(36.0), 高千穂(24.0保健所からの報告が多く, 年齢別では1~4歳が約7割を占めた。

インフルエンザの報告数は1,468人(24.9で前月と同程度, 例年の約2.2倍であった。延岡(65.3, 高千穂(62.0保健所からの報告が多く, 年齢別では5歳以下が全体の24%, 6~9歳が29%, 10~14歳が27%, 15~19歳が9%, 20歳代~50歳代が9%, 60歳以上が2%を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は61人(1.7で前月の約7割, 例年の約4倍であった。日向(8.5), 延岡(4.0保健所からの報告が多かった。

咽頭結膜熱の報告数は196人(5.4で前月の約1.2倍, 例年の約1.5倍であった。日南(13.3, 中央(10.0保健所からの報告が多く, 年齢別では6か月~4歳が全体の約8割を占めた。

## ■月報告対象疾患の発生動向〈5月〉

### □性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は45人(3.5で, 前月比102%と横ばいであった。また, 昨年5月(3.6と同程度であった。

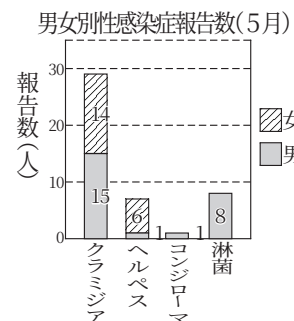
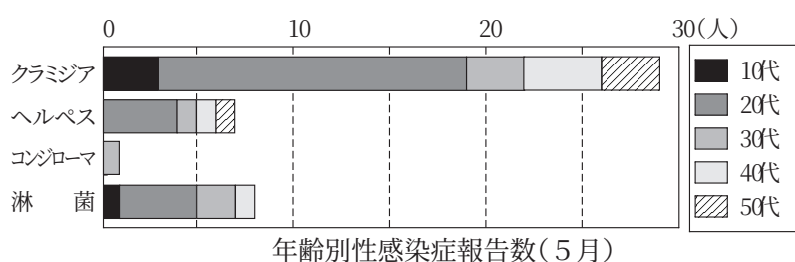
### 《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数29人(2.2で, 前月の約1.1倍, 前年と同程度であった。都城(5.5保健所からの報告が多く, 年齢別では20歳代が全体の約6割を占めた。

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54で, 前月及び前年の約8割であった。20歳代が全体の約6割を占めた。

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08で, 前年の約3割であった(前月は報告なし)。患者は30歳代であった。

○淋菌感染症：報告数8人(0.62で, 前月の約9割, 前年の約1.1倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。



### □薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は24人(3.4で前月比77%と減少した。また, 昨年5月(4.0の約9割であった。

### 《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数23人(3.3で, 前月の約9割, 前年と同程度であった。70歳以上が全体の約半数, 60歳代が約2割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14で, 前月の約2割, 前年の約半数であった。患者は5歳未満であった。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

○薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)



## 各郡市医師会だより

## 西都市西児湯医師会

1999年6月3日に開業して今年で14年目を無事迎えることができました。開業当時に銀行から借りた返済も終わり、大病もせずよくがんばってきたと自分をほめてやりたい今日この頃です。しかし、この安堵感と裏腹にモチベーションの低下に悩まされる日々で、そういうことを言うと諸先輩方に叱られるかもしれませんが、更年期と相まって意欲がわいてこないのが現状です。こういう時期を諸先輩方はどういった方法で乗り切って来られたのでしょうか？そこで自分なりに考えてみたところ以下のような方法が挙げられました。

- 1) 長期にリフレッシュ休暇をとる
  - 2) 何年かの期限をもって仕事を止める決心をする
  - 3) 新たに借金をする
  - 4) 何か仕事以外に打ち込める趣味を見つける
  - 5) 土曜日を休診にする
  - 6) 研修医の時を思い出し、病気みずして病人をみよ、の初心にかえる
- 自分としては上記のうち2), 4), 6)を選択し実行しようと思っています。(野口 英郎)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

## 南 那 珂 医 師 会

介護保険サービスにかかわる多職種が月に1回集う「在宅ケア研究会」が少しマンネリ化してきていたこともあり、「各事業所の発表とそれに対する質問」というこれまでの会のスタイルを変えて、グループディスカッション(グループワーク)を行ってみました。テーマはあえて「介護保険について」という大雑把なものにして、数人のテーブルに出来るだけ違う職種がつくように振り分けて10個ほどのテーブルを作って好きなことを言ってもらいました。そうすると、これまでの会の様相が一変し、あちこちで会話の花が咲き、笑い声も響き、終わってみると処理しきれないほど様々な意見や要望を集めることができました。医療と介護の連携の重要さが叫ばれる昨今ですが、ちょっとした工夫の中に解決・改善の糸口が隠されていることに気づきました。

(川越 勝秀)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

## 西 諸 医 師 会

看護医療専門学校の平成2年の開校に向けて、西諸医師会と学校法人宮崎総合学院による意見交換会が行われました。

ひとくちに学校を作るといっても、さすがにシムシティのようにハコをドンと建てればすぐに学校が始まるといった簡単なものではないようです。スタッフの確保など、まだまだ乗り越えなければならない多くの課題が山積していました。

西諸弁を自在にこなせるたくさんの若い看護師さんが地元で誕生し、地元で活躍してくれることを心待ちにしております。(河内 謙介)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

## 宮 崎 市 郡 医 師 会

平成 26 年 4 月、次期診療報酬改定と同時に消費税が 8 % に増税されます。さらに翌年の 10 月には 10 % への増税が予定されています。宮崎市郡医師会病院の平成 24 年度の控除対象外消費税は約 1 億 6,000 万円で、1 % 増で 3,200 万円増の見込みです。第 23 回参議院選挙の日程は 7 月 4 日告示、7 月 21 日投票です。会員の皆様の行動に期待します。(尾田 朋樹)

◇ ◇ ◇ ◇

## 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

看護学校担当理事になり、毎年、中四九地区医師会看護学校協議会本協議会に参加しています。中国・四国・九州地区の医師会看護学校 34 校が加盟しており、昭和 45 年より年 1 回、開催されている伝統がある会です。去年は、鹿児島で行われ、日本医師会長、副会長、厚生労働省の岩澤和子看護課長も参加され、活発な議論がおこなわれました。議論の中心になるのは、やはり准看護師育成の問題です。高齢化社会の中で、全国で数万人の看護職員の不足というデータもあるようです。日本の医療は、医師、看護師、准看護師、コメディカルの方、救急隊の方々、保健婦の方、行政の方、ここに書き切れない沢山の方々が支えています。立場は違いますが、良い医療を行っていききたいと思う気持ちはみなさん一緒だと思います。准看護師育成の問題も、看護を待っている沢山の患者さんのことを思い、自分も考えていききたいと思います。

(野田 俊一)

◇ ◇ ◇ ◇

## 延 岡 市 医 師 会

今頃の時期になるとどの医師会でも同じなのでしょうが、当医師会でも各種委員会等で決算

や予算の作成、総会の準備で忙しく過ごしています。

例年と違い今年は参議院選挙を控えています。医師会事務局に行くと羽生田たかし先生のポスターが所狭しと見られます。法規制を含め選挙の事は判りませんが、ポスターも室内用・室外用と分けられており、その取扱いには注意が必要のようです。何はともあれ、羽生田たかし先生の参院選でのトップ当選を祈願しています。

(板野 晃也)

◇ ◇ ◇ ◇

## 日 向 市 東 白 杵 郡 医 師 会

看護学校の入学案内を作成する時期になりました。本校は入学者の定員確保のため平成 18 年度から推薦入試制度を導入しております。推薦入学生の学業成績は一般入学生と比較して良くなく、選任教員も苦慮している状況があります。本年度から推薦入試に学力試験を課すことになりました。8 月に予定している高校進路指導担当者との情報交換会の席で、看護師としての適正と資質をもった生徒の推薦をお願いしようと考えています。推薦受験希望者の動向が気になるところです。(渡邊 康久)

◇ ◇ ◇ ◇

## 児 湯 医 師 会

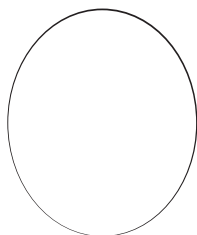
うっとうしい梅雨の時期を迎えました。今年 4 月に児湯医師会は一般社団法人としての認可を受け、この 6 月に初めての総会を行います。救急医療、准看護学校問題など蓄積する課題は山積みですが、新たな気分で全会員一丸となって取り組んで行きたいと考えております。

(内田 俊浩)

◇ ◇ ◇ ◇

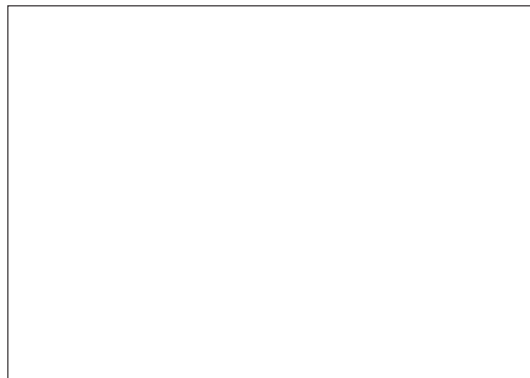
## 国公立病院だより

## 宮崎市小児診療所

かわな たかし  
川名 隆司 所長

宮崎市小児診療所は、宮崎市郡医師会が市から運営を委託され、小児の2次救急医療機関として平成16年6月にスタートしました。

スタッフは宮崎大学医学部小児科から派遣された医師3名と医師会病院の看護師12～15名、他で構成され、主に会員医療機関からの紹介と宮崎市夜間急病センター小児科の要入院患者の受皿として、24時間36日稼働しています。12室16床を擁し、平成24年度は、入院患者延数3,476名(図)、1日平均在院患者数7.8名、一般病床利用率48.6%、平均在院日数4.4日でした。肺炎や喘息などの呼吸器疾患、感染性胃腸炎、脱水、けいれん、川崎病、腸重積など様々な疾患、病態に幅広く対応し、また、隣接する宮崎歯科福祉センター



における障がい児の歯科手術の際の麻酔・手術前評価にも係っています。なお、当診療所の運営経費は、宮崎市・国富町・綾町・西都市・高鍋町・新富町・川南町が負担しています。

これまで当診療所は、宮崎東諸県医療圏における小児の2次救急医療機関としての役割を果たしてきましたが、昨今の医療情勢の変化は、当診療所の存続に少なからず影響を与えるようになってきました。平成18年12月末における「15歳未満人口10万人対小児科従事医師数」の調査では、本県の小児科医は全国平均177.9人を大きく下回る132.7人であり、これは全国ワースト2です。平成25年3月に策定された宮崎県医療計画

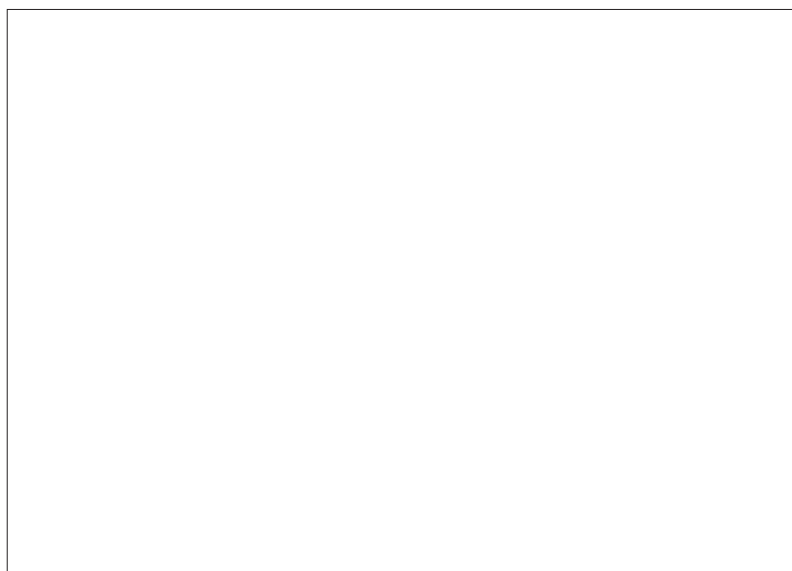
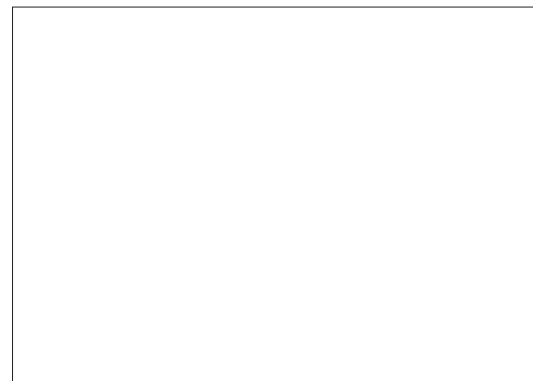


図. 年度別入院患者延数

の“小児医療”の項でも「全国と比較すると依然低い状況にある。県内の 129 人の小児科医のうち 11 人(8.5%)が 70 歳以上の高齢医師、…実働可能な医師が減少するなど、小児科医不足が益々深刻化していくことが懸念される」と指摘しています。

県は、今回の医療計画から“こども医療圏”を 4 地域(県北・県央・県南・県西)に設定しました。加えて、日本小児科学会の「我が国の小児医療提供体制の構想」に基づき、中核病院小児科(3 次医療を担う大学病院小児科等)、地域小児科センター(原則として地域小児医療圏に 1 か所、小児 2 次医療を担当)の登録を推進し、質の高い医療体制構築を目指す方針を打ち出しました。蛇足ですが、地域小児科センターがない地域においては、1 次・2 次医療を提供する“地域振興小児科”を整備します。以上のような経緯から、県央地区においては、県立宮崎病院小児科が地域小児科センターとして、2 次(ないし 3 次)医療を担うことになりました。従いまして、宮崎市小児診療所の役割とオーバーラップすることもあり、当診療所は平成 26 年 4 月から県立宮崎病院小児科に統合され、マンパワーを集約することで 10 数名の小児科医による研修指導体制も整った小児救急の拠点を構築することとなりました。この構想は、故佐藤雄一前宮崎県小児科医会長が温めていた創案でもあり、本県の小児救急医療の現状を勘案した時、極めて合理的と思われる。

また同時に、宮崎市夜間急病センターの小児

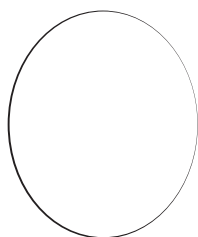


科部門も、県立宮崎病院の敷地内に移転いたします。これにより、小児の急患は初期救急から高次救急まで、同じ病院敷地内で対応できるようになります。来院者の利便性も高まりますし、何より小児科の医師が少ない宮崎にとって、マンパワーを含めた医療資源の効率化にも繋がってくるものと思います。こちらの方も、宮崎市や県立宮崎病院、市郡薬剤師会等と綿密な協議を重ね、円滑な移行を果たしたいと思っています。

当診療所は、来年 3 月末をもって県立宮崎病院小児科に統合され発展的解消となりますが、これまでに宮崎東諸県圏域における小児救急の分野で果たしてきた役割は多大であります。宮崎大学医学部小児科学教室と運営をサポートしていただいた宮崎市はじめ周辺市町村に感謝申し上げ、残された期間もしっかりと使命を果たしていきたいと考えています。

(川名 隆司)

## 宮崎大学医学部だより

外科学講座  
一循環呼吸・総合外科学分野一なかむら くにひで 教授  
中村 都英 教授

【教室の近況】「宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野」は、第3代鬼塚敏男教授が平成24年3月で退官し、平成24年7月1日から第4代教授として中村都英が就任しました。現在中村教授による新

体制のもと医局員一丸となって研鑽を積んでいます。今回は新体制以降の内容のみを紹介いたします。

【診療】 大学での診療は、以前と同様に臓器別に、呼吸・縦隔・乳腺・食道外科(1グループ)、心臓血管外科(2グループ)、消化器・内分泌・一般外科(3グループ)の3グループで診療を行っています。最近の手術症例数は、年間約600例に及び、手術成績も年々向上しております。慢性的な人員不足が続いていますが、少ない人員がフル回転の状態で充実した日々を過ごしております。

【教育】 診療などの日常業務で手一杯ではありますが、新入医局員は医局員全員で大切に育てるようにし、最速で認定の取得ができるように努力しています。学生教育も膝をつき合わせた教育をモットーにしています。

【教室運営】 新生循環呼吸・総合外科の医局運営については、中村教授が昨年医局規約を作成し、また全医局員を対象とした拡大医局会の定期的開催と毎年の医局通信発行を始めました。本年3月に医局通信第一号を医局員へ配布いたしました。その冒頭の文章に教授の考えが記されていますので、以下原文のまま抜粋させていただきます。

『医局運営の大前提は医局員が気持ち良く仕事ができるようにすることと考えております。このことは医局員のみならず、医局受付も同様で

すし、第2外科病棟にも協力をお願いする場合があります。そのようにして医局員が医療に専念することが出来る環境を整えたいと思っております。医局員の皆様には雑務から解放された暁には、医師としての仕事をしっかり行っていたきたいと思っております。患者さんを元気にして自宅に帰し、患者さんの貴重なデータを利用して専門家集団すなわち学会で発表して自己を磨き、その仕事を放りっぱなしにしないできちんと紙として残す、すなわち論文を書くこと、これを持続することが外科のプロになる道だと信じますし、第2外科のモットーである“自己の研鑽”のために必要なことと思っております。

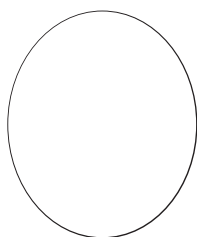
皆が誇れる第2外科を作り上げるためには井の中の蛙ではなく、中央に向かって挑戦していく集団でなければならないと考えています。第2外科が挑戦者の集団となり、皆が同じ方向を向いて戦わないと2外科の発展はなく、尻すばみになって消滅してしまいます。個々人にはいろんな考えや性格があります。それを変えることは困難ですが、皆が同じ方向を向けば多少の困難は乗り越えられると思います。外科はチーム医療です。チーム医療では $1+1=2$ ではなく $3$ になることも十分可能であり、協力関係が得られなければマイナスになる危険性もあります。“医局は家族の次に大切なものである”との2外科のモットーを大切に、仲間を思いやり、 $1+1=3$ とすれば心にも仕事にも余裕ができて、安定した精神も得られると考えます。』

【今後の展望】 全国的に外科の人手不足が叫ばれる中、当科もマンパワー不足が最大の問題です。中村教授の方針により、これまで当科では行われていなかった定期的な学生や研修医との懇親会も再開し、情報交換を行いながら外科の魅力が少しでも多く伝えるようにしています。慢性的な人員不足は続いていますが、今後さらに積極的に学生や研修医に熱く外科の魅力を語りかけていながら、医師確保に邁進する所存です。皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。  
(医局長 富田 雅樹)



## 専 門 分 科 医 会 だ よ り

## (整 形 外 科 医 会)

たじま なおや 会長  
田島 直也

整形外科医会の最近の動向について報告いたします。

## 会員の推移

平成 24 年 4 月 1 日現在、A 会員 7 名、B 会員 120 名、合計 196 名で、前回(平成 23 年 9 月日州医事)ではそれぞれ 72 名、123 名、195 名で総計としてはほぼ同数である。しかし、今回 2 名が退会(死去)、B→A への変更 4 名、A→B が 1 名であった。ほぼ一定数の整形外科医が県下の整形外科診療を受け持っているといえる。

## 活動内容

整形外科特有のものとして、日本整形外科学会、日本臨床整形外科学会等が主催する全国整形外科保険審査員会議が開催され本会からも県の国保、社保の審査員に出席してもらい毎年報告会を開催している。これは全国の保険診療の大略の傾向が分かり、本県の整形外科医にとり非常に有用なものである。昨年度は第 11 回九州医師会連合会総会・医学会の第 4 分科会として整形外科分科会を開催し、特別講演の 1 つに熊本市の成尾整形外科病院副院長の浦門操先生に“一体改革と医療改革の方向性及び診療報酬算定の基本・留意点”の講演をして頂き、前述の保険審査会の報告と共に会員にとり非常に有益だったと思われる。

また、同学会のもう 1 つの演題は、宮崎大学整形外科学教室形帖佐悦男教授による“整形外科にとって必要な運動器検診から 宮崎県の取

組み—学童期・ロコモ・スポーツ検診—”であった。

これは現在宮崎大学整形外科学教室が推進している、学童期の運動器検診と中高年に対するロコモ検診とスポーツ障害の予防に結びつくスポーツ検診の内容であり、会員にとって現在必要な内容であった。

その他整形外科医会としては外科医会との合同学会、宮崎県医師会医学会等への協力、県医師会から依頼の各種委員会への委員の推薦、行政関係団体への活動の協力を行っている。

## 今後の課題

県下整形外科医数がここ数年ほぼ一定であることは前述したが、最近の傾向としてクリニックの開業医が増えて、相対的に病院勤務医の減少傾向がみられる。現在のところ外来患者数はある程度多いと考えられるが、今後はコ・メディカルの増加も考えられる。従って、運動器疾患の患者さんを分けあうことになる。その他従来整形外科疾患として取り扱ってきた関節リウマチ、骨粗鬆症、疼痛性疾患も他科との競合も考えられる。今後一人ひとりが整形外科領域全体を診て、且つ専門性を持つ医師が要求される。一方勤務医の方も手術に熟練した医師が開業し手術から離れる事は大きな損失である。勤務医として生きがいを持ち、満足出来る環境づくりが必要である。

また、今後開業医と勤務医の数の調整、勤務病院間のスペシャリティの調整等が課題である。

(田島 直也)



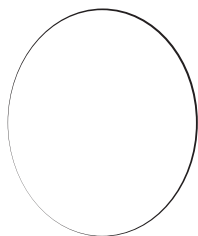
## あなたできますか？

— 平成 24 年度 医師国家試験問題より —

(解答は 77 ページ)

1. 肺炎の原因菌で尿中抗原検査が診断に有用なのはどれか。2 つ選べ。
  - a Streptococcus pneumoniae
  - b Pseudomonas aeruginosa
  - c Mycoplasma pneumoniae
  - d Legionella pneumophila
  - e Haemophilus influenzae
2. 30 歳の男性。腹痛と下痢とを主訴に来院した。トレッキング旅行の途中で、自炊していたという。3 日前に砂利道で転倒し、左母指と左示指とに挫創を生じた。昨日の夕食は、食事直前に開けた缶詰の牛肉、自分で採取した山菜の炒め物、自分で釣った川魚の塩焼き、自分で作ったおにぎり及び日本酒 1 合だったという。夕食の直後には異常はなかったが、約 4 時間後に急激に腹痛と下痢とを発症した。発症後、約 3 時間経過して症状は徐々に改善しつつあるという。アレルギー歴はない。意識は清明。体温 37.0℃。脈拍 72/分、整。血圧 116/76mmHg。呼吸数 14/分。臍周囲に圧痛を認める。腸雑音は亢進している。腹膜刺激症状を認めない。  
診断として最も考えられるのはどれか。
  - a 亜鉛中毒
  - b 農薬中毒
  - c アニサキス症
  - d 細菌性食中毒
  - e 急性アルコール中毒
3. 疾患と呼吸機能の異常との組合せで正しいのはどれか。
  - a 肺気腫 ——— 残気量の減少
  - b 肺線維症 ——— 肺コンプライアンスの低下
  - c 肺動静脈瘻 ——— 肺拡散能の低下
  - d 呼吸筋麻痺 ——— 換気血流不均等分布
  - e 肺血栓塞栓症 ——— 1 秒率の低下
4. 子宮内膜症にみられないのはどれか。
  - a 不妊
  - b 排便痛
  - c 希発月経
  - d 月経困難症
  - e 卵巣チョコレート嚢胞
5. 抗甲状腺薬の副作用でないのはどれか。
  - a ANCA 関連血管炎
  - b 悪性高熱症
  - c 肝機能障害
  - d 皮膚掻痒症
  - e 無顆粒球症
6. 1 か月の乳児。陰嚢内に左精巣を触れないことを主訴に母親に伴われて来院した。1 か月健康診査で陰嚢内に左精巣が触れないことを指摘された。身長 70cm、体重 7.5kg。右精巣は陰嚢内に認め、左鼠径管内に可動性のある小指頭大の柔らかい腫瘤を認める。既往歴と家族歴とに特記すべきことはない。  
この疾患について母親へ説明する内容として適切でないのはどれか。
  - a 片側性のことが多い。
  - b 精子形成障害をきたす。
  - c 悪性化する可能性が高い。
  - d 精巣の発育障害をきたす。
  - e 小学生になってから手術を行う。
7. 我が国において予防に生ワクチンが使われているのはどれか。2 つ選べ。
  - a 結核
  - b 風疹
  - c 日本脳炎
  - d 細菌性髄膜炎
  - e 肺炎球菌性肺炎
8. ウイルスが原因となるのはどれか。2 つ選べ。
  - a 咽頭結膜熱
  - b 春季カタル
  - c 封入体結膜炎
  - d 巨大乳頭結膜炎
  - e 急性出血性結膜炎
9. 圧痕を残さない浮腫の原因となるのはどれか。
  - a 心不全
  - b 塩分過剰摂取
  - c 深部静脈血栓
  - d 甲状腺機能低下症
  - e ネフローゼ症候群
10. 無尿をきたすのはどれか。
  - a 大腸癌
  - b 膀胱癌
  - c 子宮筋腫
  - d 前立腺肥大症
  - e 両側尿管結石

## メディアの目



## 夢のような技術

MRT 宮崎放送 取締役

はらぐちとしゆき  
原 口 俊 幸

近頃話題になったが、クモの糸の量産化が可能になったそうだ。実はこれが大変なことらしい。クモの糸というと小説「蜘蛛の糸」を思い出すかもしれない。しかし、実際には人間が蜘蛛の糸を上れるはずもないと思いきや、クモの糸の強度は同じ太さの鋼鉄の 5 倍、伸縮率はナイロンの 2 倍もあり、鉛筆程度の太さの糸で作られた巣を用いれば、理論上は飛行機を受け止めることができるという。そこで世界中でクモの糸を合成しようと試みたが、コストと安全性の問題で量産が困難だった。それをなんと日本のバイオベンチャー企業が、量産化技術確立したというのだ。記事によれば、微生物の遺伝子に手を加えることにより短時間で多くのタンパク質を合成することに成功。これまで使われてきた高価で毒性の強い薬品を用いずに糸に加工する技術も開発したとのこと、開発企業の社長は「クモの糸は世界で最も強靱な繊維だ。自動車や医療などさまざまな産業に応用できる」と話している。まさに夢のような技術だ。

宮崎県内でも、夢のような技術の開発が進められている。「Mg(マグネシウム)燃料電池」だ。Mg が酸化する際に発電する性質を利用し、Mg を塩水(海水)につけて空気中の酸素と反応させ電気を作り出す。Mg は地球上に多く存在する物質で、資源の少ない日本には素晴らしい話であ

る。ただ、Mg は発火しやすく電解液に溶けやすいため、燃料電池の大容量化は不可能とされてきた。それを克服したのが、東北大学の未来科学技術共同研究センター小濱泰昭教授らだ。

実は小濱教授の専門は流体力学。高速輸送が可能な乗り物「エアロトレイン」の実験を日向市美々津の鉄道総合技術研究所(旧リニアモーターカー実験施設)で続けてきた。産業技術総合研究所九州センターと協力し難燃性 Mg 合金を使った車体で、2011 年に新幹線の半分以下、リニアの 1/5 以下の優れた燃料消費量で時速 200km の浮上走行実験に成功したが、さらにこの難燃性 Mg 合金が燃料電池の材料として優れていることを発見。これで安くて小さくて高性能な Mg 燃料電池が開発できそうだ。また小濱教授は、マグネシウム燃料電池として使用済みとなった酸化マグネシウムを太陽光の熱で精錬し、再びマグネシウムとして再生して燃料電池に使う究極の「エネルギー循環社会」を作り出す研究を日向市で進めている。それができれば、本当に夢のような技術だ。

次世代エネルギーとして期待が高まるメタンハイドレートも日向灘深く眠っている。エネルギー源確保に涙ぐましい努力をされてきた先人に思いを馳せ、この日向の地から日本の明るい未来が切り拓かれんことをひたすら願いたい。

## 社会保険診療報酬支払基金宮崎支部審査委員名簿（医科）

（任期 平成25年6月1日～25年5月31日）

（○印は新任）

| 科 名   | 氏 名       | 科 名       | 氏 名       |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 内 科   | 石 川 正     | 外 科       | 岩 村 威 志   |
| 〃     | 上 田 章     | 〃         | 呉 屋 朝 和   |
| 〃     | 大 岐 照 彦   | 〃         | 白 尾 一 定   |
| 〃     | 大 西 雄 二   | 〃         | 田 中 俊 正   |
| 〃     | 岡 留 敏 秀   | 〃         | 福 元 廣 次   |
| 〃（放射） | 杜 若 陽 祐   | 〃         | 元 村 祐 三   |
| 〃     | 栗 林 忠 信   | 〃         | 吉 岡 誠     |
| 〃     | 澤 野 文 俊   | 〃         | 吉 松 正 明   |
| 〃     | 塩 見 一 剛   | 整 形 外 科   | 川 越 正 一   |
| 〃     | 中津留 邦 展   | 〃         | 河 野 雅 行   |
| 〃     | ○ 名 越 敏 郎 | 〃         | ○ 濱 中 秀 昭 |
| 〃     | 野 本 浩 一   | 皮 膚 科     | 天 野 正 宏   |
| 〃     | 原 口 靖 昭   | 〃         | 田 尻 明 彦   |
| 〃     | 比 嘉 利 信   | 泌 尿 器 科   | 福 田 聡一郎   |
| 〃     | 松 岡 均     | 〃         | ○ 南 口 尚 紀 |
| 〃     | ○ 村 田 光 宏 | 産 婦 人 科   | 神 尊 敏 彦   |
| 〃     | 山 口 哲 朗   | 〃         | 嶋 本 富 博   |
| 〃（東洋） | 済 陽 英 道   | 〃         | 本 田 正 之   |
| 精 神 科 | 鮫 島 哲 郎   | 眼 科       | 出 水 誠 二   |
| 〃     | 谷 口 浩     | 〃         | 森 山 重 人   |
| 小 児 科 | 先 成 英 一   | 耳 鼻 咽 喉 科 | 高 木 誠 治   |
| 〃     | 高 木 純 一   | 〃         | 外 山 勝 浩   |

（50音順）

## 宮崎県医師会医学会役員会

と き 平成 25 年 6 月 6 日(木)

ところ 県医師会館

上田理事より開会、稲倉学会長の挨拶に続き、報告、協議が行われた。

### 報 告

平成 23 年度宮崎県医師会医学会について

平成 23 年 9 月 3 日に「原子力発電事故・放射線障害」をテーマとし開催した。特別講演 2 題を、「東電福島第一原発事故の概要と教訓」と題し、東京工業大学大学院教授の二ノ方壽先生に、「低線量放射線の発がんリスク」と題し、彩都友誼会病院長の中村仁信先生にご講演いただき、出席者は 94 名であった。

なお、平成 24 年度については九州医師会医学会宮崎開催のため開催していない。

### 協 議

平成 25 年度宮崎県医師会医学会の開催について

9 月 7 日(土)に県医師会館で開催する医学会について、テーマ等の検討を行った。様々な案が出されたが、TPP と医療について、iPS 細胞と再生医療、マダニ・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)についての中から、執行部に一任し最終的に 2 つのテーマと講師を選定することとなった。

出席者—稲倉学会長、富田・中山副学会長、小牧・豊田・田尻・出水・安達・後藤・杜若・蓑田・上田・直井幹事、久永課長、高山主事

## 第 4 回宮崎の医療を考える会(若手記者との勉強会)

と き 平成 25 年 6 月 17 日(月)

ところ 県医師会館

広報委員会では平成 19 年から若手記者と、その時に問題になっている医療関係の話題についての勉強会(宮崎の医療を考える会)を行っています。今回は 4 回目で、消費税について話し合いました。

テーマ：消費税制度の落とし穴が招く医療崩壊—非課税なのになぜ病院が倒産するのか—

### 過去のテーマ

- 第 1 回 宮崎県の産科事情、看護師の内診問題、医療問題の国民意識アンケートについて
- 第 2 回 医師不足について—医師は増加しているのに、なぜ医師不足なのか？—
- 第 3 回 輪番制のもたらした影響、および救急医療を担っている医師の現況について

出席者—(報道機関) 夕刊デイリー新聞社、宮崎日日新聞社、朝日新聞宮崎総局、MRT 宮崎放送、毎日新聞、UMK テレビ宮崎、共同通信社(申込順)  
(広報委員会) 尾田委員長、上野・黒川副委員長、篠原・明里・川上・釜付・沖田・陣門・原尾委員  
(県医) 富田副会長、荒木常任理事、青木理事、久永課長、瀬戸山



## 九州医師会連合会第 33 回常任委員会

と き 平成 25 年 5 月 25 日(土)

ところ ANA クラウンプラザホテル  
沖縄ハーバービュー(沖縄県那覇市)

### 1. 開 会

### 2. 挨 拶

九州医師会連合会長

沖縄県医師会宮城会長

### 3. 報 告

1) 九州医師会連合会事務引継について(沖縄)  
平成 25 年 4 月 20 日(土)に宮崎県医師会館  
で実施した。

2) 第 105 回定例委員総会について(沖縄)  
このあと同ホテルで開催される委員総  
会の次第を報告した。

3) 春の叙勲等受章者への慶祝について(沖縄)  
下記 3 名の受章が報告された。

旭日大綬章 植松治雄先生

(元日本医師会会長)

旭日小綬章 北野邦俊先生

(元熊本県医師会会長・元九医連常任委員)

旭日双光章 長崎省吾先生

(九州医師会連合会委員・

元大村市医師会長)

### 4. 議 事

下記議案全て提案どおり承認された。

第 1 号議案 平成 24 年度九州医師会連合会  
歳入歳出決算に関する件

第 2 号議案 平成 25 年度九州医師会連合会  
事業計画に関する件

第 3 号議案 平成 25 年度九州医師会連合会  
負担金賦課に関する件

第 4 号議案 平成 25 年度九州医師会連合会  
歳入歳出予算に関する件

第 5 号議案 平成 25 年度九州医師会連合会  
監事(2 名)の選定に関する件

第 6 号議案 平成 25 年度第 113 回九州医師会  
医学会事業計画に関する件

第 7 号議案 平成 25 年度第 113 回九州医師会  
連合会会費賦課に関する件

第 8 号議案 次回第 114 回(平成 26 年度)九州医  
師会医学会開催担当県の決定並  
びに次々回第 115 回(平成 27 年度)  
同学会開催担当県の内定に関す  
る件

### 5. 協 議

1) 第 129 回日本医師会定例代議員会(6 月 23  
日(日)日医)について

代表質問は福岡県蓮澤浩明先生に、個  
人質問は 3 題提出の長崎県医師会で調整  
することとされた。

2) 第 335 回常任委員会の開催(8 月 3 日(土)那  
覇市)について

提案通り承認された。

3) 第 336 回常任委員会並びに第 1 回各種協議  
会の開催(9 月 28 日(土)那覇市)について

提案通り承認された。

出席者一稲倉会長, 富田副会長, 大重事務局長

## 九州医師会連合会第 105 回定例委員総会

と き 平成 25 年 5 月 25 日(土)

ところ ANA クラウンプラザホテル  
沖縄ハーバービュー

前担当県の宮崎県稲倉会長が、昨年度一年間のご協力に対する御礼の挨拶を行った後、九州医師会連合会長の沖縄県宮城会長の挨拶に続き、日医横倉会長が祝辞を述べ、報告・議事に入った。

日医横倉会長祝辞(要旨)

九州医師会連合会第 105 回定例委員総会の開催にあたり、日本医師会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

はじめに、我々日本医師会執行部が船出をしてから早一年が経過した。九州医師会連合会の先生方におかれては、執行部発足以前から、多大なるご支援を賜わりあらためて厚く御礼申し上げます。

この一年間を振り返っても色々な問題が山積しており、特に日本医学会の独立、専門医制度の問題、医師の地域偏在や診療科偏在の解決が地域医療の再興の大きな壁となっている。その中で会員の先生方がどのようにしたら安心して診療に臨めるか、そしてどのような医療提供体制が求められるかが喫緊の課題である。

さて、日本医師会は去る 4 月 1 日付で公益社団法人への移行を果たした。今後は、さまざまな公益的活動を深化させていく中で、「国民の健康を守る専門家集団としての医師会」であるとの自覚のもとに、より一層国民に求められる保健・医療・福祉の実現に向けて努力していくので、よろしくをお願いしたい。

先日、記者クラブでこの一年間を振り返ってということで約一時間講演を行った。その内容は、いかに国民皆保険体制を堅持していくか、

そして、医学医療の進歩が早いなかで安全で有効な医療技術や薬をいかに国民に安定して提供できる体制を作っていくか、様々な苦勞をしている状況をお話した。そして、地域医療の再生については、現在各地域で様々な取組みが行われており、全国で 200 以上の地域連携ができていることをお話した。特に長崎で実施されているあじさいネットについては多くの関心を記者の方々に持っていただいた。九州はそれぞれの住民の医療に重点をおいた取組みをしていたに心から感謝申し上げます。

さて、昨年末の総選挙では自民党が圧勝し、安倍新政権が発足した。少子高齢化の進行、低迷する経済、東北の振興等さまざまな問題を抱える中、安倍政権はデフレからの脱却を目指し経済再生を第一の政策課題に掲げ、「アベノミクス」という名の経済政策を打ち出した。その甲斐もあり、円安の進行、金融緩和、株価の上昇など、心理的な要因で急激に景気回復が図られているところである。しかし、一昨日には株式市場で波乱があり、また円や金利市場でも変動が激しく、まだまだ落ち着いた経済状況といえないところである。経済の発展は国民生活には必要なことであり、また医療を行う上で社会保障財源という意味では日本経済が立ち直ることが不可欠なので、政府の各種政策に対しては、是々非々の姿勢で国民にとって必要なものについて主張しているところである。

こうした状況にあって、我々は政策判断において二つの基本的な姿勢を基準としている。一つは国民に対し安全医療を提供できる内容であ

るか、二つ目は公的医療保険による国民皆保険体制を維持できる内容であるかということである。そうした中で、一つの大きな課題としてTPPの問題が目前に迫っている。7月のペルーで開催される3日間の会合の中でしっかりとした外交交渉ができるのか見極めて、判断していかなければならないと考えている。

医療をとりまくこの厳しい環境の中で、次の世代の国民医療を確保するためにも、我々は一致団結して取り組まなければならない。その一つの過程として、今こそ、我々医師の組織を代表する国会議員を、政権与党から出さなくてはならないとの思いから、日本医師連盟では、夏の参議院選挙において、羽生田たかし日本医師会副会長を自由民主党参議院比例区代表立候補とすることを機関決定した。日本医師会としても、医療を取り巻く諸問題の解決を目指し、羽生田たかし副会長を全面的に援助することとしている。九州医師会連合会の先生方におかれても、ご理解をいただきますとともに、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜わるよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。

結びに、本日の総会開催にあたり、ご尽力いただいた九州医師会連合会長の宮城信雄沖縄県医師会長をはじめ、役職員、関係者の皆様に心より御礼を申し上げますとともに、本日ご参集の皆様方のご健勝と、九州医師会連合会の今後ますますのご発展を祈念し、お祝いの言葉とする。

議事・協議に入った。

## 報 告

### 1. 第 33 回常任委員会について

宮城会長から、定例委員総会に先立ち開催された第 33 回常任委員会において、本委員総会へ提出する議事(第 1 号議案～第 7 号議案)等について協議を行い了承されたことが報告された。

また、次回 114 回(平成 26 年度)の九医学会担

当県が大分県に、次々回第 115 回(平成 27 年度)の九医学会担当県が長崎県に内定したことが報告された。

### 2. 平成 24 年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について

宮崎県河野委員より平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの庶務並びに事業について、資料に沿って報告された。

### 3. 春の叙勲等受章者への慶祝について

宮城会長から、元日本医師会長の植松治雄先生が旭日大綬章を、元熊本県医師会長の北野邦俊先生が旭日小綬章を、長崎県・九医連委員の長崎省吾先生が旭日双光章を受章され、祝意を表した旨報告があった。

## 議 事

### 第 1 号議案 平成 24 年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

宮崎県富田委員から、平成 24 年度の決算は、歳入合計 68,662,145 円、歳出合計 37,241,153 円となり、差引 31,420,992 円を 25 年度に繰越す旨の説明が行われた後、監事の県大分県支部委員より監査報告があり、採決の結果、承認された。

### 第 2 号議案 平成 25 年度九州医師会連合会事業計画に関する件

沖縄県玉城委員から、平成 25 年度に予定される定例諸会議、支援事業、総会・医学会等からなる事業計画案の説明が行われ、採決の結果、承認された。

### 第 3 号議案 平成 25 年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

### 第 4 号議案 平成 25 年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

第 3 号議案と 4 号議案は一括審議され、沖縄県真栄田委員から、負担金は、会員 1 人年額 1,500 円(前年度と同額)、研修医は 1 人年額 500 円(同)とする案の説明があり、続いて今年度予定される事業と例年の予算を参考に、総額 67,313,992 円の予算案について説明が行われ、採決の結果、

両議案ともに承認された。

第 5 号議案 平成 25年度九州医師会連合会  
監事(2 名)の選定に関する件

宮城会長から、4 月の常任理事会の決定により、前もって鹿児島県から野村秀洋委員、熊本県から前田利為委員を推薦いただいている旨の説明があり、採決の結果、2 名を監事として選定することが承認された。

第 6 号議案 平成 25年度第 113回九州医師会  
医学会事業計画に関する件

沖縄県玉城委員から、11月 15日(金)の九医連関係前日諸行事と 11月 16日(土)～ 11月 17日(日)総会・医学会等について説明が行われ、採決の結果、

承認された。

第 7 号議案 平成 25年度第 113回九州医師会  
医学会会費賦課に関する件

沖縄県真栄田委員から、会費を会員 1 人年額 2,500円(前年度と同額)、研修医は 1 人年額 1,500 円(同)とする案の説明が行われ、採決の結果、承認された。

出席者一稲倉会長、河野・富田副会長、

立元常任理事・吉田常任理事・

池井常任理事、大重事務局長、

與・竹崎課長、松本係長、喜入主事

## お知らせ

# 平成 25年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内 3 教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

(平成 25年 6 月 30日現在)

|                                                              |                                                     |                                                                     |
|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 宮崎学園短期大学<br>(宮崎市)                                            | 宮崎医療管理専門学校<br>(宮崎市)                                 | 都城コアカレッジ<br>(都城市)                                                   |
| 就職希望者 20名<br>(女 20名)                                         | 就職希望者 28名<br>(男 4 名, 女 24名)                         | 就職希望者 13名<br>(女 13名)                                                |
| 連絡先: TEL 0985-85-0146<br>宮崎市清武町加納 1415<br>担当: 佐土原 敦<br>谷口 和子 | 連絡先: TEL 0985-86-2271<br>宮崎市田野町甲 1556-1<br>担当: 福元 進 | 連絡先: TEL 0986-38-4811<br>都城市吉尾町 77-8<br>担当: 原口桂一郎<br>中山さおり<br>吉原真由美 |





## 薬事情報センターだより (314)

## 新薬紹介(その 63)

今回は 5 月に薬価収載されたアルコール依存症断酒補助剤レグテクト錠 333mg(一般名:アカンプロサートカルシウム)とアデノシン A<sub>2A</sub> 受容体拮抗薬ノウリアスト錠 20mg(一般名:イストラデフィリン)について紹介いたします。

レグテクト錠 333mg(一般名:アカンプロサートカルシウム)

アカンプロサートカルシウムはアセチルホモタウリンのカルシウム塩であり、フランスのメラム社で新規に合成されたホモタウリンの誘導体です。中枢神経系に作用し、アルコール依存で亢進したグルタミン酸作動性神経活動を抑制することで、神経伝達の均衡を回復し、飲酒欲求を抑制すると推察されています。本剤は、断酒の意志があり、離脱症状に対する治療の後に心理社会的治療と併用して服用する医薬品です。また、空腹時に投与すると、食後投与と比較して血中濃度が上昇するおそれがある等、本剤の吸収は食事の影響を受けやすく、有効性及び安全性が確認されている食後に服用します。

世界で初めてフランスで、198 年にアルコール依存症患者における断酒維持を適応として承認された以後、2012 年 10 月現在、世界の 28 か国で承認され、24 か国で販売されています。本邦においては、2010 年 5 月に医療上の必要性の高い未承認薬として厚生労働省から開発要請されました。2013 年 3 月に「アルコール依存症患者における断酒維持の補助」を効能・効果として承認され、5 月に発売されました。

アルコール依存症患者を対象とした国内臨床試験において、安全性評価対象症例 199 例中 37 例(18.6%)に副作用が認められました。主な副作用は下痢 28 例(14.1%)、傾眠、腹部膨満、嘔吐各 2 例(1.0%)でした(承認時)。なお、重大な副作用としてはアナフィラキシー(頻度不明)、血管浮腫(頻度不明)が報告されています。

ノウリアスト錠 20mg(一般名:イストラデフィリン)

イストラデフィリンは、協和発酵キリン株式会社で創製されたアデノシン A<sub>2A</sub> 受容体拮抗薬です。大脳基底核回路内の線条体-淡蒼球経路(間接経路)に特異的に発現しているアデノシン A<sub>2A</sub> 受容体へのアデノシンの結合を阻害し、M SN (GABA 神経)の活性を抑制します。そして、ドパミン神経の変性・脱落によりアンバランスになった神経のシグナル伝達を正常な状態に近づけ、運動症状を改善します。ドパミン受容体やドパミン代謝酵素に対して作用しないため、ドパミン系抗パーキンソン病薬を用いた治療と組み合わせることで相加的な効果を示し、また、ドパミン系の薬物療法で問題が生じた場合にも、この非ドパミン系の機序により効果を示すことで、パーキンソン病治療の選択肢を広げることが期待されます。

本剤は、国内で実施されたレボドパ製剤治療下のパーキンソン病を対象とした臨床試験において、ウェアリングオフ現象の改善及び忍容性が確認され、2013 年 3 月に「レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるウェアリングオフ現象の改善」を効能・効果として承認され、5 月に発売されました。

国内臨床試験において、臨床検査値異常を含む副作用は 649 例中 322 例(49.6%)に認められました。主な副作用は、ジスキネジー 110 例(16.9%)、便秘 33 例(5.1%)、幻視 29 例(4.5%)等でした〔承認時〕。また、重大な副作用として、幻視(4.5%)、幻覚(3.2%)、妄想(0.8%)、せん妄(0.6%)、不安障害(0.5%)、うつ病の悪化・抑うつ(0.5%)、被害妄想(0.3%)、幻聴(0.2%)、体感幻覚(0.2%)、躁病(0.2%)、激越(0.2%)、衝動制御障害(0.2%)等の精神障害が報告されています。

## 〈参考資料〉

レグテクト錠 333mg、ノウリアスト錠 20mg  
各添付文書・インタビューフォーム  
(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 日医インターネットニュースから

### ■医薬分業「是非を考え直すべき」

— 日医総研 W P —

日医総研はこのほど、医師と薬局、薬剤師の業務を検証したワーキングペーパー(W P)を公表した。医薬分業が十分に全国的な広がりを見せず、いまだに地域差があることなどを挙げ、分業の是非を考える必要性を訴えた。

W Pは院外処方(医薬分業)について「(院内処方と比べて)二度手間や患者負担増を踏まえても、対価として適当なのかが重要だ」と指摘。医薬分業率は北海道・東北や関東、中国、九州の各地域で高い一方、中部、近畿、四国は低い「地域差」に関連して「全国1つの公的医療保険制度の下であるにもかかわらず、患者負担で地域差が出ている。全国展開せず、地域差があるのは分業が必ずしも期待される方向ではないと示唆している」と分析。特に近畿の医薬分業率は52.4%、四国は52.3%で、院外処方・院内処方の割合がほぼ半々となっていることも根拠に挙げ「今からでも医薬分業の是非を考え直すべきだ」と求めた。

また、医療法は病院や診療所の営利目的の開設を認めていない一方、法律上は同じ医療提供施設に位置付けられる薬局のほとんどが営利企業だと指摘し「業務が病院・診療所から薬局に移ることは、非営利法人から営利企業に業務移転することを意味している」と表現。薬局が営利企業である以上、診療(調剤)報酬を獲得しようとする傾向が出るのは当然のことで、結果的に非営利としての医療行為そのものの医療費が圧迫され、相対的に医療本体の給付範囲が縮小する構図になると分析した。(平成25年6月7日)

### ■非課税維持で還付も「選択肢」

— 消費税問題で今村副会長 —

今村聡副会長は6月12日、メディファクスの取材に応じ、消費税率10%時点の控除対象外消費税問題の対応について「医療機関が抱えている負担を解消し、患者らの負担を増やさないことが重要。仮に非課税措置を維持したまま、負担分を申告・還付できる手法が実現可能だとすれば、目的の達成に向けた大きな選択肢の一つになり得るのではないかと述べ、これまで主張してきたゼロ税率課税とともに、有力な選択肢になり得るとの認識を示した。

### ●解決へ複数ルートあってよい

「課税化しゼロ税率の適用」というこれまでの主張との優先順位については「どちらを望むのか、ではない」として優劣を付けるべきではないと強調。「医療機関の負担解消を山頂に例えれば、そこを目指すために複数のルートがあってもよいのではないかと述べ、日医が指摘してきた課題

の解決を前提に、さまざまな発想を検討することが大切との見方を示した。

「非課税のまま申告・還付」を導入するにも法改正が必要になる。実現までのイメージについては「現時点で具体的なものは持っていない」と前置きした上で、ゼロ税率課税と比べて難易度は大きく変わらないのではないかと推測した。

こうした“複数ルート”に関する考え方は今後、与党が実施するヒアリングなどを通じて明らかにしていく方針という。(平成25年6月14日)

### ■MRワクチン、妊娠希望者など優先に

— 厚労省 —

厚生労働省健康局結核感染症課は6月14日付で、風疹の任意の予防接種者数の急増で、乾燥弱毒生麻疹風疹混合ワクチン(MRワクチン)の不足が予測されるとして、妊娠希望者らが優先的に接種できるように求める課長通知を各都道府県に送付した。風疹ワクチンの品薄を補ってきたMRワクチンの供給が追いつかなくなるのを防ぐのが狙い。

通知によると、例年、年間30万回程度で推移してきた風疹の任意予防接種の接種者数が今年5月だけで月間約32万回と急増している。

すでにMRワクチンの製造販売業者3社に対して、予定前倒しの出荷、増産対応を依頼しているとしたが、現在の接種者数の水準がこのまま続くと、「今夏以降にMRワクチンが一時的に不足することが懸念される」と明記した。

その上で安定供給のめどが付くまでの間、妊娠希望者または妊娠する可能性が高い人、妊婦の周囲の人が優先的に接種を受けることができるよう協力を要請している。参考資料として、今年6月以降の在庫シミュレーションも併せて示した。

### ●日医等にも協力依頼

また同日付で厚労省は、日本医師会等に対して協力依頼の通知を発出した。日本医師会には特定の医療機関にワクチンが偏ることがないよう、予約状況などを勘案した上で必要最低限の量を発注するよう要請した。(平成25年6月18日)

### ■PTPシート誤飲などで注意喚起

— 医療機能評価機構 —

日本医療機能評価機構は6月17日、医療安全情報として2006年から1年に情報提供した事例のうち、12年にも類似事例の報告があった事例について、あらためて医療安全情報で注意喚起した。

12年にも類似事例が発生したのは▽PTPシートの誤飲が13件▽小児の輸液の血管外漏出が9件▽抜歯部位の取り違えが9件▽アレルギーの

既往が分かっている薬剤の投与が 6 件▽持参薬の確認不十分が 6 件▽皮下用ポートおよびカテーテルの断裂が 6 件—など全 34 項目。

PTP シートに関しては、弱視の患者が薬を内服する際、通常は薬を PTP シートから出していたものの、看護師が PTP シートから出さずに渡したため、患者が誤飲する事例があった。薬剤の投与では、診療録の決められた欄に薬物アレルギー情報を登録しなかったため、禁忌薬剤を投与したケースがあった。

(平成 25 年 6 月 21 日)

## ■ T P P はじめ規制改革を不安視

— 日医代議員ら「強い日医を」—

6 月 23 日に開かれた日本医師会の定例代議員会では、26 日で発足から半年となる第 2 次安倍内閣に対して、環太平洋連携協定(TPP)をはじめ規制改革に関する政策を不安視する意見が相次いだ。一方、国への要望や提言を確実に実現させるために「強い医師会」を求める意見もあった。

TPP をめぐっては、関連質問も含めて多くの代議員が質問に立ち、7 月の交渉入りを目前に関心の高さをうかがわせた。

## ● 最終的には国民運動に

大阪府医の茂松茂人代議員が「TPP 参加の流れになれば、国民運動の手法も取らなければいけないのではないか」と質問すると、羽生田俊副会長が「現段階で関連情報が乏しいので具体的な案は提示できないが、最終的には国民運動をしなければならない」と応じる場面もあった。

政府で検討が進む医療関連施策では、兵庫県医の足立光平代議員が「成長戦略や骨太の方針などで国民の命を守れるのか」と危険視。「社会保障制度改革国民会議などに見られる公的医療の制限と管理医療への転換」「行政主導による ICT 化」など、規制緩和が誤った方向に進まないよう注意するべきとの意見が出た。

(平成 25 年 6 月 25 日)

## ■ 法人化しても日医と連携「定款に明記」

— 日本医学会・高久会長 —

日本医学会の高久史磨会長は 6 月 23 日、日本医師会の定例代議員会に出席し、医学会の法人化をめぐり「日医と仲間割れするような印象を与えたくない」と述べ、日医執行部と歩調を合わせ、慎重な検討を進める考えを示した。

高久会長は、分科会に所属する医師以外の会員の中に日医の下に日本医学会があることに不満があること、各分科会は法人化しており日本医学会も法人化すべきだとの見方も出ているとの現状を説明。仮に法人化にかじを切っても「日医と連携して日本の医療の進歩のために尽くすことを定款に明記するつもり。日医と医学会が仲間割れするような印象を世間に与えたくないのが私の信念だ」と訴えた。

医学会の法人化によって勤務医の多くが医師会に加入しなくなることを不安視する見方が根強いが、高久会長は病院団体と医師会の双方に加入している会員がいることなどを挙げて「それはない」と否定。「日医の執行部とよく相談し、分離・独立の印象を絶対に与えないようにしたい」と訴え、代議員に理解を求めた。

(平成 25 年 6 月 25 日)

## ■ 初・再診料に関する日刊紙報道を否定

— 厚労省保険局 —

厚生労働省は 6 月 27 日、同日付の日本経済新聞朝刊が報じた「2014 年 4 月から消費税率が 8 % に引き上がることに合わせ、厚生労働省は病院・診療所での初・再診料や入院基本料を引き上げる方針を固めた」という記事について「現段階では、いかなる結論にも至っていない」という見解を示した。メディファックスの取材に応じた。

消費税率 8 % 時の対応は、中医協の消費税に関する分科会で検討している。厚労省保険局は「2 日の同分科会では複数の選択肢の一つとして、基本診療料に上乗せする案を提示したが、現段階ではいかなる結論にも至っていない。同分科会で引き続き検討する」としている。

(平成 25 年 6 月 28 日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)にアクセス

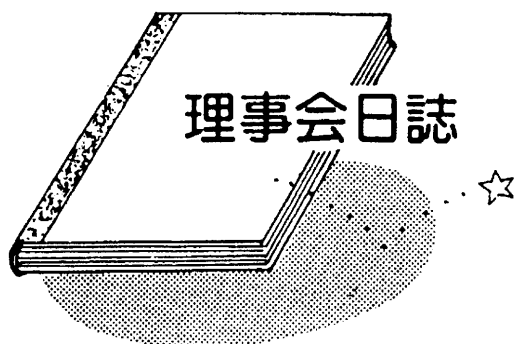
日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID : 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている 10 桁の数字)を 0 も含め、全て半角で入力

パスワード : 先生の生年月日の 6 桁の数字を半角で入力  
例) 1964 年 5 月 1 日生まれの場合、610501





平成 25 年 5 月 21 日(火)第 6 回常任理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

1. 7/23(火)(日医)平成 25 年度第 1 回都道府県医師会長協議会の開催について

会長は日医役員となることから、河野副会長が代理出席することが承認された。また提出議題については、稲倉会長並びに河野副会長に一任することとなった。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①「骨髄バンク普及映画」後援のお願いについて(骨髄バンク普及映画を作る会代表者より)【再】

→劇場映画の公開を通じて骨髄バンクの普及と啓発を図り、映画による収益を骨髄移植振興財団に寄付することを目的に制作されるもので、名義後援を行うことが承認された。

② 11/2(土)～3(日)(シーガイア)九州医療ソーシャルワーカー研修会第 50 回記念みやざき大会に関する名義後援と広告協賛について

→「語り継ぐ 50 年ソーシャルワーカーの歴史と未来～よっちみろ宮崎やっちみろやソーシャルワーク～」を大会テーマに開催される九州ブロックの研修会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 世界医師会準会員の更新について

稲倉会長は、日医役員のため、日医で手続を行うことから、本会として、河野・富田副会長について更新手続を行うことが承認された。

4. 7/9(火)(宮観ホテル)新研修医保険診療等説明会及び祝賀会について

プログラム及び案内先(一部追加)等の確認が行われ、例年通り 19:00 から保険診療等説明会、19:30 から祝賀会を開催することが承認された。

5. 平成 24 年度宮崎県医師会事業報告(案)について【再】

先週の常任理事協議会に引き続き、各担当理事による事業報告の確認が行われ、5 月 24 日の監査及び 5 月 28 日の理事会に提出することが承認された。

6. 平成 24 年度宮崎県医師会収入支出決算(案)について【再】

収益事業に案分される管理費、公益事業への繰入額、減価償却費の取扱い等の説明が行われ、5 月 24 日の監査及び 5 月 28 日の理事会に提出することが承認された。

7. 6/2(木)(日医)都道府県医師会救急災害医療担当理事連絡協議会について

「日医 ACLS(二次救命処置)研修」の活性化や救急搬送・救急医療体制及び災害時救急体制について検討する協議会で、古賀常任理事が出席することが承認された。

8. その他

① 6/14(金)(JA A&M ホール)「食・農・環境宮崎県民フォーラム」第 12 回学習会の開催について

→JA が主催し一般県民を対象に開催される学習会で、アメリカの医療制度を取り上げた映画「シッコ(SICKO)」を放映することから、本会役員が出席することが提案され、稲倉会長及び荒木常任理事で調整することが承認された。

## (報告事項)

1. 週間報告について
2. 5 / 8 (木) (支払基金) 支払基金幹事会について
3. 5 / 14 (火) (日医) 日医理事会について
4. 5 / 14 (火) (東京) 日医・公益社団法人移行記念祝賀会について
5. 5 / 1 (金) (宮観ホテル) 西日本シティ銀行特別講演会・記念パーティーについて
6. 5 / 2 (明) (宮大) 宮大学長選考会議について
7. 5 / 2 (火) (県医) 県学校保健会理事・評議員会について
8. 5 / 2 (火) (県医) 学校保健・学校安全に関する文部科学大臣表彰及び県教育長表彰推薦審査会について
9. 5 / 2 (火) (県庁) 県腎臓バンク理事会について
10. 5 / 2 (明) (県立看護大学) 県立看護大学参与会について
11. 5 / 2 (明) (県医) 宮大救命救急センター逆搬送体制構築協議会について
12. 5 / 2 (火) (宮観ホテル) 県ドクターヘリ運行調整委員会について
13. 5 / 1 (木) (ひまわり荘) 社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
14. 5 / 1 (金) ~ 19 (日) (宮城) 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

1. 平成 24 年度宮崎県医師連盟事業報告(案)について  
昨年度 1 年間の医師連盟に関わる諸事業の説明が行われ承認された。
2. 平成 24 年度宮崎県医師連盟決算(案)について  
事業活動収入及び支出、該当項目の説明等が行われ承認された。
3. 6 / 9 (日) (宮観ホテル) 国政報告会・懇親会について

太田昭宏国土交通大臣らを招き開催される国政報告会で、協力を行うことが承認された。

4. 第 23 回参議院議員通常選挙宮崎県選挙区推薦候補者について

現時点における推薦願い提出者の説明があり、本役員会として、比例代表の羽生田たかし先生の関係からも、政権与党の長峯誠候補を推薦する方針であることを確認し、6 月 15 日に開催する執行委員会で最終決定することが承認された。

5. 羽生田たかし候補の支援活動について

## ① 公示前・選挙期間中の活動について

→ 各期間中において、“できる活動” 又 “できない活動” について説明が行われ、一部記載方法に修正を加えた上で、近日中にサポーター名簿提出依頼等と合わせ、各医療機関に配布することが承認された。

## ② サポーター名簿の回収状況等について

→ 5 月 20 日現在における各都市医師連盟の回収状況(獲得数 9,757 名, 達成率 33.9%)の報告が行われ、この情報を各都市医師連盟及び各専門分科医会に情報提供すると共に、引き続き各医療機関に対し協力依頼を行うことが承認された。

平成 25 年 5 月 28 日(火) 第 1 回理事会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 平成 24 年度宮崎県医師会事業報告に関する件  
立元常任理事から、平成 24 年 4 月の公益法人化に伴い、4 つの公益事業と収益事業を含むその他の事業に分け、事業計画そつた形で、文字の羅列ではなく箇条書きを用



い、目次及びページの見出しを設置する等の変更を行った上で事業報告を作成したとの説明があり、審議の結果、軽微な変更は会長一任として、出席者全員の賛成をもって原案通り可決承認された。

2. 平成24年度宮崎県医師会収支決算に関する件

吉田常任理事から、経常収益計4億3,025万6,655円、経常費用計5億8,339万4,729円で、当期一般正味財産増減額は4,679万926円となり、収益事業に案分する管理費、収益事業から公益事業に繰入する50%の繰入金等の説明が行われた。続いて赤須監事から、証憑書類も整備され適正妥当であるとの監査報告があり、審議の結果、出席者全員の賛成をもって原案通り可決承認された。

3. 役員選挙に関する件

立元常任理事から、4月23日の全理事協議会で、佐藤雄一先生と石坂公夫先生の逝去に伴う理事・裁定委員・日医代議員の補欠選挙を、6月15日に実施することを決定し、定款及び選挙細則に則り準備を進め、6月7日(金)午後5時をもって締切られる各選挙の候補者を、代議員会に役員等選任の議案として提出するとの説明があり、審議の結果、出席者全員の賛成をもって、予定通り進めることが可決承認された。

4. 第158回宮崎県医師会定例代議員会の開催に関する件

立元常任理事から、4月23日の全理事協議会で、定例代議員会を6月15日に開催することを決定し、定款第61条、62条に規程されている事業報告、収支予算、事業計画等の報告及び決算、役員選挙の議案を提出する。今後、6月4日頃案内を発送し、その間開催される常任理事協議会等で、代議員からの質問、選挙候補者、進行等を最終

確認しながら準備を進めたいとの説明があり、審議の結果、出席者全員の賛成をもって、予定通り進めることが可決承認された。

(議決事項)

1. 社保審査委員会委員の推薦について【再】

内規で全理事協議会の承認を要するため再度提出されたもので、選任基準に従い選出された候補者について検討が行われ、原案通り承認された。

2. 6/20(木)(南那珂)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、上田理事を立会人として派遣することが承認された。

3. 「日本医師会テレビ健康講座」一ふれあい健康ネットワーク実施のお願いと後援の依頼について

地域医師会の活動と住民のニーズに応えた健康増進への取り組み等を紹介することを目的に、各都道府県医師会持ち回り(年7か所程度)で開催されるテレビ番組の企画で、協力することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

① 12/7(土)(宮崎市保健所)第7回東アジアグリーンケアセミナーについて

→周産期医療の諸問題について、患者側と医療者の相互理解を図ることを目的に開催されるセミナーで、名義後援を行うことが承認された。

5. 平成25年度産業医研修事業に関する業務の委託契約について

産業医学振興財団が策定した「産業医研修大綱」に基づき、産業医研修会及び連絡協議会等を実施する事業で、昨年同様、契約を締結することが承認された。

6. 小児科専門研修医症例研究事業に関する業務の委託契約について

県内の小児医療機関及び大学が共同で症例研究会を開催することで、小児科専門研修医の更なる資質向上及び小児医療の充実を図ることを目的に実施される事業で、昨年同様、契約を締結することが承認された。

7. 小児救急医療電話相談に関する業務の委託契約について

小児救急患者の保護者等の不安軽減と不要な受診を抑制することを目的に実施される電話相談事業で、昨年同様、契約を締結することが承認された。

8. 県立学校の児童・生徒を対象とする心臓検診について

主に県立高等学校の1年生を対象に行われる心臓検診の委託契約で、昨年同様、契約を締結することが承認された。

9. 8 / 3 (土)・4 (火) (沖縄) 第5回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに平成25年度九州学校検診協議会について

「健やかな子どもの未来—子どもたちとの絆を求めて—」をメインテーマに開催される協議会で、本会から稲倉会長、富田副会長、高村一志先生、宮田純一先生・澤田浩武先生が出席することが承認された。また眼科、耳鼻咽喉科、整形外科等への案内も行うこととなった。

10 6・7月の行事予定について

6月の追加行事と7月の行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 5 / 25 (土) (沖縄) 九医連常任委員会について
3. 5 / 27 (月) (県医) 県アイバンク協会理事会について
4. 5 / 25 (土) (沖縄) 九医連定例委員総会について
5. 5 / 24 (金) (県医) 県医会計監査について
6. 5 / 27 (月) (県医) 女性医師委員会について

7. 5 / 1 (水) (県医) 医家芸術展世話人会について

8. 5 / 13 (月) (県医) 勤務医部会理事会について

9. 5 / 18 (土) (県医) 勤務医部会理事会・総会・前期講演会について

10 5 / 1 (水) (県医) 広報委員会について

11 5 / 23 (木) (県医) 広報委員会について

医師国保組合関係

(報告事項)

1. 5 / 17 (金) (県医) 医師国保理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 「羽生田たかし」選挙における電子メールアドレスの収集について

インターネットを通じた候補者による投票依頼が可能になったことを受けた収集依頼ではあるが、サポーター名簿等にも記載が少ないことから、県医師会会員交流用メーリングリスト(M M A 通信：605名)に加入する方を対象に、電子メールアドレス提供の意思確認を行った上で対応することとなった。

(報告事項)

1. 5 / 24 (木) (延岡市医師会館) 延岡市医師連盟訪問について

2. 5 / 23 (木) (西都市西児湯医師会館) 西都市西児湯医師連盟訪問について

3. 5 / 25 (土) (沖縄) 九州医連連絡会執行委員会について

平成 25 年 6 月 4 日 (火) 第 7 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県精度管理専門委員の推薦について  
→衛生検査所における検査精度の質的向上を図るために設置される委員会で、任

- 期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き富田副会長を推薦することが承認された。
2. 日本医師会の委員会委員の推薦について  
日本医師会から、富田副会長を日本医師会医療情報システム協議会運営委員会の委員に委嘱することに対しての承認願いがあり、本会として承認することとなった。
3. 後援・共催名義等使用許可について
- ①認定アスレティックトレーナー養成講習会の名義後援申請について  
→コ・メディカルを対象に、宮崎県のスポーツ振興と健康管理等に当たるスタッフの養成を目的に実施される講習会で、名義後援を行うことが承認された。
- ② 11/13(水)・14(木)(福岡)「九州ホスピタルショウ 2013」後援名義使用のお願いについて  
→「九州発 多職種連携による健康・医療・福祉の展望」をテーマに、医療機器、設備等の展示を中心に開催されるイベントで、名義後援を行うことが承認された。
4. 平成 25 年度産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について  
多年にわたり産科医療に従事し、地域の産科医療の確保・推進に貢献してきた医師を表彰するもので、近年の診療状況も考慮し、1 名を推薦することが承認された。
5. 平成 25 年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について  
多年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した団体及び個人に対し贈られる表彰で、1 名を推薦することが承認された。
6. 6 /15(土)(県医)第 158 回宮崎県医師会定例代議員会について  
次第にそって進行及び役割分担の確認が行われた。なお、議事録署名人については、過去の依頼状況等を勘案の上、後日依頼することとなった。
7. 6 /15(土)(県医)第 70 回宮崎県医師会総会について  
来賓等の出欠状況の確認を行うと共に、次第にそって進行及び役割分担の確認が行われた。
8. 会費減免申請について  
疾病による会費減免 2 件が承認された。  
(報告事項)
1. 5 月末日現在の会員数について
2. 6 /1(土)(メディキット県民文化センター)置県 130 年記念式典について
3. 5 /29(木)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
4. 5 /31(金)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
5. 5 /31(金)(福岡)九州地方社会保険医療協議会総会について
6. 6 /4(火)(宮大)地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会について
7. 6 /3(月)(日医)都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会について
8. 6 /1(土)(県医)労災部会総会について
9. 6 /1(土)(県医)県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会について
10. 6 /4(火)(県医)治験審査委員会について
- 医師連盟関係  
(議決事項)
1. 6 /9(日)(宮観ホテル)太田国交大臣との懇談会について  
太田昭宏国土交通大臣が来県するのに合わせ開催される懇談会ではあるが、稲倉委員長は諸行事が重なっているため欠席とすることが承認された。
2. 羽生田たかし候補の支援活動について
- ① 6 /6(木)全国一周街宣車訪問への対応について  
→選挙公示前のため、羽生田たかし先生のお名前及びアナウンス等もできず、日

本医師連盟としての政策広報活動になることから、九州各県等の状況も勘案の上、同乗及び先導等の対応は行わないことを承認した。

- ②サポーター名簿の回収状況等について  
→ 5 月末の獲得数が 11,329名、目標の 39.3%であることが報告され、残り約 1 か月となってきたことから、関係者に再度連絡する等、サポーター名簿獲得に向け、働きかけを行うことを確認した。

(報告事項)

1. 5 /29(木)(都城市北諸県郡医師会館)都城市北諸県郡医師連盟訪問について
2. 5 /31(金)(南那珂医師会館)南那珂医師連盟訪問について

平成 25年 6 月 11日(火)第 8 回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 7 /28(日)(日医)「第 1 回日本医師会在宅医リーダー研修会」の開催について  
都道府県医師会や地域医師会で核になる在宅医療のリーダーの育成を目的に、「かかりつけ医の在宅医療・多職種協働で考える地域包括ケアシステム」をテーマに開催される研修会で、各都市医師会へ周知すると共に助成の在り方を含め調整を行うことが承認された。
2. 7 /6(土)(東京)平成 25年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会第 1 回常任委員会の開催について  
常任委員の富田副会長が出席することが承認された。
3. 6 /15(土)(県医)第 158回宮崎県医師会定例代議員会並びに第 70回総会について  
代議員からの質問状況及び選挙細則第 8

条に則り、候補者名簿を各都市医師会並びに代議員に通知したこと等の報告があり、最終的なスケジュールの確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 6 /5(木)(宮観ホテル)日本赤十字社宮崎県支部評議員会について
3. 6 /5(木)(県庁)県腎臓バンク評議員会について
4. 6 /7(金)(鹿児島)九医連常任委員会について
5. 6 /7(金)(鹿児島)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について
6. 6 /10(月)(宮日会館)宮日母子福祉事業団評議員会について
7. 6 /5(木)(総合保健センター)県健康づくり協会理事会について
8. 6 /7(金)(日医)日医地域医療対策委員会について
9. 6 /7(金)(日医)日医医療秘書試験委員会について
10. 6 /7(金)(宮大)宮大医学部附属病院マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病院説明会について
11. 6 /6(木)(JA A Z M 本館)社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導について
12. 6 /7(金)(宮観ホテル)病院部会・医療法人部会合同総会について
13. 6 /7(金)(日医)日本糖尿病対策推進会議総会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 6 /23(日)たけい俊輔衆議院議員国政報告会について  
特別講演講師に林芳正農林水産大臣等を招き開催される報告会で、協力することが承認された。なお、当日は、日医代議員会等と重なっているため事務局で対応するこ

ととなった。

## 2. 羽生田たかし候補の支援活動について

### ①「羽生田選挙ビラ及びポスター」配布計画について

→選挙期間中に活用できる広報物について、本県の割当てがビラ 500 枚、ポスター 380 枚との報告があり、ポスターは各郡市

医師連盟に会員数に応じて配布し、ビラについては、本会で開催される催し物に合わせ配布することが承認された。

### ②サポーター名簿の回収状況等について

→6 月 10 日現在の獲得数が 12,808 名、目標の 44.3%であることが報告され、引き続き働きかけを行うことを確認した。

## 6 月のベストセラー

|    |                                   |            |                 |
|----|-----------------------------------|------------|-----------------|
| 1  | 海賊とよばれた男(上)(下)                    | 百 田 尚 樹    | 講 談 社           |
| 2  | 野心のすすめ                            | 林 真 理 子    | 講 談 社           |
| 3  | 医者に殺されない 47 の心得                   | 近 藤 誠      | ア ス コ ム         |
| 4  | 島はぼくらと                            | 辻 村 深 月    | 講 談 社           |
| 5  | 教場                                | 長 岡 弘 樹    | 小 学 館           |
| 6  | 知らないで恥をかく世界の大問題 4<br>日本が対峙する大国の思惑 | 池 上 彰      | K A D O K A W A |
| 7  | 世界は宗教で動いている                       | 橋 爪 大 三 郎  | 光 文 社           |
| 8  | 日本国憲法                             | 「写 楽」編 集 部 | 小 学 館           |
| 9  | いつやるか？今でしょ！                       | 林 修        | 宝 島 社           |
| 10 | 世界から猫が消えたなら                       | 川 村 元 気    | マガジンハウス         |

宮脇書店本店調べ 提供：宮崎店（宮崎市青葉町）☎（0985）23-7077



# 県 医 の 動 き

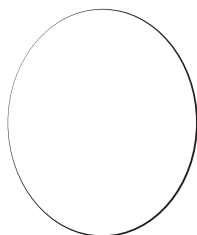
(6月)

|    |                                                                                                                                                                                                                               |    |                                                                                                                                       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 置県 130年記念式典(会長)<br>県整形外科医会役員・評議員会<br>県外科医会理事・評議員会<br>県整形外科医会総会<br>県外科医会総会<br>労災部会総会(河野副会長他)<br>県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学<br>会(河野副会長他)                                                                                             | 13 | 日医定款・諸規程検討委員会(日医)(立元常任理事)<br>全国国保組合協会通常総会(北海道)(秦理事長)<br>県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事<br>会(石川常任理事)<br>園医部会理事会(富田副会長他)<br>県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事) |
| 3  | 都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会<br>(日医)(池井常任理事他)<br>日産婦学会専門医制度委員会地方委員会<br>(濱田常任理事)                                                                                                                                                       | 14 | 「食・農・環境 宮崎県民フォーラム」学習会<br>(会長他)                                                                                                        |
| 4  | 地域医療現場における働きやすい環境を考える<br>会検討会(荒木常任理事)<br>産業医研修会(実地)(都城)<br>治験審査委員会(富田副会長他)<br>第7回常任理事協議会(会長他)<br>医師国保組合理事会(秦理事長他)                                                                                                             | 15 | 医師協同組合総代会(会長他)<br>県医連執行委員会(会長他)<br>県医定例代議員会(会長他)<br>県医総会(会長他)                                                                         |
| 5  | 日本赤十字社宮崎県支部評議員会(会長)<br>県健康づくり協会理事会(富田副会長)<br>県腎臓バンク評議員会(会長)                                                                                                                                                                   | 17 | 広報委員会(宮崎の医療を考える会)(富田副会長他)<br>医師国保組合定例事務監査(秦理事長他)                                                                                      |
| 6  | 社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導<br>(池井常任理事)<br>県医学会役員会(会長他)<br>県警察医会協議会<br>母体保護法に関する委員会(濱田常任理事)                                                                                                                                          | 18 | 母体保護法指定医師審査委員会(河野副会長他)<br>日医理事会(日医)(会長)<br>医協打合会(立元常任理事)<br>第9回常任理事協議会(河野副会長他)                                                        |
| 7  | 日本糖尿病対策推進会議総会(日医)<br>(金丸常任理事)<br>日医地域医療対策委員会(日医)(富田副会長)<br>日医医療秘書試験委員会(日医)(富田副会長)<br>九医連常任委員会(鹿児島)(会長)<br>九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師<br>会長合同会議(鹿児島)(会長)<br>宮大医学部附属病院マッチング説明会&県内基<br>幹型臨床研修病院説明会(古賀常任理事)<br>病院部会・医療法人部会合同総会(池井常任理事) | 19 | 産業医研修会<br>医家芸術展世話人会(河野副会長他)                                                                                                           |
| 8  | 県内科医会総会・特別講演会                                                                                                                                                                                                                 | 20 | 社会保険医療担当者(医科)の個別指導(南那珂)<br>(上田理事)<br>西都市西児湯医師会定時総会(西都)                                                                                |
| 10 | 宮日母子福祉事業団評議員会(会長)<br>宮崎の医療を考える会打合せ会(荒木常任理事他)                                                                                                                                                                                  | 21 | 西諸医師会定時総会(西諸)                                                                                                                         |
| 11 | 第8回常任理事協議会(会長他)                                                                                                                                                                                                               | 23 | 九州ブロック日医代議員連絡会議(日医)(会長他)<br>日医定例代議員会(日医)(会長他)<br>県小児科医会役員会(高村理事)                                                                      |
| 12 | 支払基金幹事会(会長)<br>日向市東臼杵郡医師連盟訪問(日向)(会長)                                                                                                                                                                                          | 24 | 宮大経営協議会・学長選考会議(会長)<br>広報委員会(荒木常任理事他)                                                                                                  |
|    |                                                                                                                                                                                                                               | 25 | 医協理事・運営委員合同協議会(会長他)<br>県感染症対策審議会(吉田常任理事)<br>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会(河野副会長)<br>医協理事会(会長他)<br>第2回全理事協議会(会長他)                                  |
|    |                                                                                                                                                                                                                               | 26 | 労災診療指導委員会(河野副会長他)<br>県内科医会医療保険委員会<br>延岡市医師会通常総会(延岡)                                                                                   |
|    |                                                                                                                                                                                                                               | 27 | 都道府県医師会救急災害医療担当理事連絡協議<br>会(日医)(古賀常任理事)<br>児湯医師会総会(ホテル四季亭)<br>県内科医会誌編集委員会(牛谷常任理事)                                                      |
|    |                                                                                                                                                                                                                               | 29 | 宮崎市郡医師会定時総会(会長)                                                                                                                       |
|    |                                                                                                                                                                                                                               | 30 | レジナビフェア(大阪)                                                                                                                           |

## ニューメンバー

宮崎市  
宮崎大学医学部皮膚科

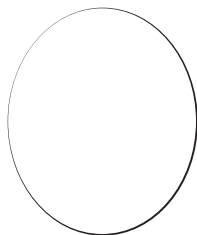
あま の まさ ひろ  
天 野 正 宏



|      |                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------|
| 住 所  | 宮崎市                                                       |
| 専門科目 | 皮膚科                                                       |
| 家族構成 | 妻, 長男(大学5年),<br>長女(大学3年),<br>次女(中3)                       |
| 略 歴  | 昭和53年 鹿児島県立志布志高等学校卒業<br>昭和61年 宮崎医科大学卒業<br>同 年 宮崎医科大学皮膚科入局 |
| 趣 味  | バドミントン, 筋トレ                                               |

**抱 負** 皮膚科入局後, 大学麻酔科, 宮崎県立宮崎病院皮膚科, 北里大学形成外科, 宮崎県立延岡病院皮膚科, 米国マイアミ大学皮膚科と勤務させていただきました。現在は成人T細胞白血病/リンパ腫(ATLL)と皮膚病変の関連を研究テーマとし, 大学での診療, 教育にも力をいれています。大学病院医師として医師会の諸先生方のご指導のもと, 地域医療に貢献していくつもりですので, よろしく願いたします。

宮崎市  
独立行政法人  
国立病院機構宮崎東病院  
いの うえ しのぶ  
井 上 忍

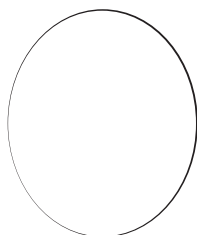


|      |                                                                                                                                                                             |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 住 所  | 宮崎市                                                                                                                                                                         |
| 専門科目 | 小児科                                                                                                                                                                         |
| 家族構成 | 内緒です                                                                                                                                                                        |
| 略 歴  | 昭和49年 愛知県立明和高等学校卒業<br>昭和57年 宮崎医科大学医学部医学科卒業<br>昭和61年 宮崎医科大学大学院<br>医学研究科博士課程修了<br>以後県内の公立病院勤務・文部教官等<br>を経て平成14年11月国立療養所宮崎東<br>病院小児科。平成16年4月独立行政法<br>人国立病院機構宮崎東病院に改組現在<br>に至る。 |
| 趣 味  | 散歩, ポタリング                                                                                                                                                                   |

**抱 負** 日頃は低身長や夜尿症の子ども達をゆっくりたっぷり時間をかけて診ております。今回医師会に入会したうえで某中学校の学校医を引き受けないかというお話がありました。ほぼ健康と考えられる集団を短時間で診察して種々の疾患をスクリーニングするということは, 私にとっては普段出来ない仕事であります。自分のスキルアップになるような気がして今回手を挙げさせて頂きました。先日日出向しましたが, 時間通りにはこなさきれず, また何か見落としはなかっただろうか(根っからの小心者なので)不安に苛まれその夜はなかなか寝付けませんでした。場数を踏めばもう少し効率よくできると思いますので県医師会の諸先生方にはどうか暖かく見守っていただけたらとお願い申し上げます。

宮崎市  
野崎病院

おち あい りゅう ぞう  
落 合 竜 三

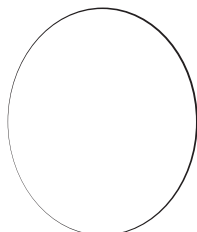


|      |                                                                                                       |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 住 所  | 宮崎市                                                                                                   |
| 専門科目 | 放射線科                                                                                                  |
| 家族構成 | 母, 妻, 長女(小5),<br>次女(小3), 三女(小1)                                                                       |
| 略 歴  | 平成7年 県立宮崎西高校卒業<br>平成14年 宮崎医科大学卒業<br>同 年 宮崎医科大学放射線科入局<br>平成16年 県立延岡病院放射線科<br>平成18年 宮崎大学医学部附属病院<br>放射線科 |

**抱 負** 平成25年4月より宮崎市の野崎病院画像センターに勤務しております。大学ではIVR・腹部画像診断を専門に仕事をしていましたが, 現在は健診・画像診断をしています。大変未熟者ではありますが, 御指導御鞭撻のほど宜しくお願い致します。

宮崎市  
宮崎市郡医師会病院

にし の しゅん  
西 野 峻



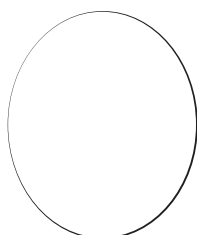
|      |                                                                          |
|------|--------------------------------------------------------------------------|
| 住 所  | 宮崎市                                                                      |
| 専門科目 | 循環器内科                                                                    |
| 家族構成 | 独身                                                                       |
| 略 歴  | 平成 23 年 北海道大学医学部医学科<br>卒業<br>同 年 砂川市立病院<br>(初期臨床研修)<br>平成 25 年 宮崎市郡医師会病院 |
| 趣 味  | ピアノ演奏                                                                    |

**抱 負** 生まれも育ちも北海道の札幌市です。初期臨床研修は札幌と旭川の間にある、砂川市立病院という地域中核病院で、救急科を始めとする多数の科で研修してきました。

道外の循環器が熱い病院を訪ねて、いきなり九州まで来てしまいました。この宮崎で働くことができて本当に良かったです。2 か月経ち、宮崎での生活にも慣れてきました。諸先生方のご指導の下、日々努力していきたいと思っています。よろしくお願いします。

宮崎市  
藤本医院

ふじ もと まさ き  
藤 本 正 樹

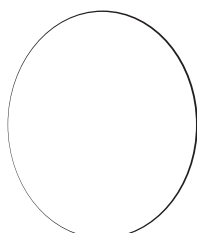


|      |                                                       |
|------|-------------------------------------------------------|
| 住 所  | 宮崎市                                                   |
| 専門科目 | 胃腸内科、内視鏡内科、<br>放射線診断科                                 |
| 家族構成 | 妻、長女(7 歳)、<br>長男(5 歳)、次女(3 歳)                         |
| 略 歴  | 平成 2 年 宮崎南高校卒業<br>平成 8 年 大分医科大学卒業<br>同 年 宮崎医科大学放射線科入局 |
| 趣 味  | バイク、車、<br>Harley-Davidson に<br>まつわる U.S.A. 諸事         |

**抱 負** 宮崎医科大学放射線科に入局して画像診断を志しました。その中で消化管の検査・診断学と内視鏡治療の楽しさ魅力に夢中になりました。医師 18 年目の四十路そろそろ「人生の午後 3 時」想うところあり、5 月に宮崎市桜町に開院しました。尊敬する先達、ご指導いただいた先輩、お世話になった同僚、同級生、後輩、メディカルスタッフ、様々なプロフェッショナルの方々、そして家族、皆様のおかげで実現しました。感謝の気持ちを忘れず、これから仕事で恩返ししたいと思います。当院の診療に関しましてよろしくご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

都城市  
国立病院機構都城病院

い ぐち あつ し  
井 口 厚 司



|      |                                                                                                                                                      |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 住 所  | 都城市                                                                                                                                                  |
| 専門科目 | 泌尿器科                                                                                                                                                 |
| 家族構成 | 妻                                                                                                                                                    |
| 略 歴  | 昭和 51 年 鹿児島大学医学部卒業<br>昭和 52 年 九州大学泌尿器科<br>昭和 53 年 県立宮崎病院<br>昭和 54 年 九州厚生年金病院<br>昭和 55 年 佐賀医科大学(現佐賀大学)<br>平成 8 年 国立病院機構九州医療センター<br>平成 25 年 国立病院機構都城病院 |
| 趣 味  | 囲碁・将棋                                                                                                                                                |

**抱 負** 鹿児島大学卒業後、1 年間泌尿器科で研修医生活を送りました。その後九州大学に入局しましたが、昭和 53 年に約 1 年間県立宮崎病院に勤務、当時の宮崎医科大学の研究生にもなっていました。本年 4 月より都城病院の院長として勤務しております。宮崎県内に住みながら久しぶりの鹿児島弁に接し、妻と二人で本場の芋焼酎を味わっています。地域の医療に貢献できるよう全力を尽くしたいと思っていますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

新 所得補償保険のご案内  
6 月から

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成 25 年 6 月 18 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 5 人

#### 1) 男性医師求職登録数 5 人 (人)

| 希 望 診 療 科 目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 4     | 2   | 2     |
| 外 科         | 1     | 1   | 0     |

### 2. 斡旋成立件数 46 人

|              | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|--------------|------|------|-----|
| 平 成 25 年 度   | 1    | 0    | 1   |
| 平成 16 年度から累計 | 34   | 12   | 46  |

### 3. 求人登録 92 件 344 人 (人)

| 募 集 診 療 科 目 | 求 人 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 101   | 71  | 30    |
| 外 科         | 34    | 25  | 9     |
| 整 形 外 科     | 29    | 22  | 7     |
| 精 神 科       | 21    | 17  | 4     |
| 循 環 器 科     | 16    | 16  | —     |
| 脳 神 経 外 科   | 11    | 10  | 1     |
| 消 化 器 内 科   | 17    | 14  | 3     |
| 麻 酔 科       | 10    | 8   | 2     |
| 眼 科         | 9     | 7   | 2     |
| 放 射 線 科     | 6     | 6   | —     |
| 小 児 科       | 6     | 4   | 2     |
| 呼 吸 器 内 科   | 11    | 9   | 2     |
| リハビリテーション科  | 4     | 4   | —     |
| 血 液 内 科     | 2     | 2   | —     |
| 神 経 内 科     | 11    | 10  | 1     |
| 救 命 救 急 科   | 6     | 6   | —     |
| 健 診         | 7     | 3   | 4     |
| 産 婦 人 科     | 4     | 4   | —     |
| 泌 尿 器 科     | 3     | 1   | 2     |
| 検 診         | 2     | —   | 2     |
| 皮 膚 科       | 3     | 2   | 1     |
| 人 工 透 析     | 1     | 1   | —     |
| 耳 鼻 咽 喉 科   | 1     | 1   | —     |
| そ の 他       | 29    | 24  | 5     |
| 合 計         | 344   | 267 | 77    |



## 求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                     | 所 在 地 | 募 集 診 療 科                    | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|---------------------------|-------|------------------------------|-----|---------|
| 150005 | 医)りっか会ピア・メンタル ささき病院       | 宮 崎 市 | 精                            | 2   | 常勤・非常勤  |
| 160011 | 赤十字血液センター                 | 宮 崎 市 | 検診                           | 2   | 非常勤     |
| 160013 | 医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮 崎 市 | 脳,整,放,麻,内                    | 9   | 常勤・非常勤  |
| 160017 | 医)プレストピア プレストピアなんば病院      | 宮 崎 市 | 乳腺,内                         | 3   | 常勤      |
| 160020 | 財)弘潤会 野崎病院                | 宮 崎 市 | 精,内                          | 2   | 常勤      |
| 160031 | 社医)同心会 古賀総合病院             | 宮 崎 市 | 呼,神内,眼,総診,呼外,<br>臨病,乳外,整外,麻酔 | 11  | 常勤      |
| 160033 | 医)如月会 若草病院                | 宮 崎 市 | 内,精                          | 3   | 非常勤     |
| 170046 | 医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮 崎 市 | 消内,内分泌糖内,呼,リウマチ,<br>神経内,健診   | 6   | 常勤・非常勤  |
| 170048 | 医)慶明会 けいめい記念病院            | 国 富 町 | 内,眼                          | 2   | 常勤      |
| 170052 | 医)春光会                     | 宮 崎 市 | 外,内                          | 6   | 常勤・非常勤  |
| 180061 | 医)あいクリニック                 | 宮 崎 市 | 精                            | 2   | 常勤・非常勤  |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院               | 宮 崎 市 | 内,神内,整                       | 5   | 常勤      |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                 | 宮 崎 市 | 消内                           | 3   | 常勤      |
| 190094 | 医)耕和会 迫田病院                | 宮 崎 市 | 内,外                          | 7   | 常勤・非常勤  |
| 190095 | 医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮 崎 市 | 眼                            | 2   | 常勤・非常勤  |
| 190096 | 医)晴緑会 宮崎医療センター病院          | 宮 崎 市 | 消化,麻,循,リハビリ                  | 5   | 常勤・非常勤  |
| 200104 | 医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮 崎 市 | 内,外,救急,呼外,婦人                 | 7   | 常勤      |
| 200105 | 医)誠友会 南部病院                | 宮 崎 市 | 内,外,放                        | 3   | 常勤      |
| 210110 | 医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮 崎 市 | 整                            | 1   | 常勤      |
| 210118 | 慈英病院                      | 宮 崎 市 | 内,外,整                        | 12  | 常勤・非常勤  |
| 220126 | 八代医院                      | 宮 崎 市 | 内                            | 1   | 非常勤     |
| 230128 | 医)真愛会 高宮病院                | 宮 崎 市 | 内                            | 1   | 常勤      |
| 230132 | 医)康友会 青島クリニック             | 宮 崎 市 | 内                            | 1   | 常勤      |
| 230134 | 医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮 崎 市 | 精                            | 2   | 常勤      |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラムみやざき       | 国 富 町 | 内,外                          | 2   | 常勤      |
| 230140 | 医)将優会 クリニックうしたに           | 宮 崎 市 | 外,内,整,家庭医,総合臨床               | 1   | 常勤      |
| 230141 | 医)博愛社 佐土原病院               | 宮 崎 市 | 内                            | 1   | 非常勤     |
| 230143 | 医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮 崎 市 | 脳外,内                         | 2   | 常勤      |
| 230144 | 宮崎生協病院                    | 宮 崎 市 | 総内,呼吸内,消化器内,<br>健診           | 8   | 常勤・非常勤  |
| 230145 | のぞみ医院                     | 宮 崎 市 | 内                            | 1   | 非常勤     |
| 230146 | 財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮 崎 市 | 内,神内,外,整外,脳外,<br>リハ,麻酔,救急    | 9   | 常勤      |
| 160008 | 医)正立会 黒松病院                | 都 城 市 | 泌                            | 1   | 非常勤     |
| 160010 | 特医)敬和会 戸嶋病院               | 都 城 市 | 内,消内,整,神内                    | 7   | 常勤・非常勤  |
| 160018 | 医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都 城 市 | 内,救急,放射,脳外,外,<br>総合,眼,透内     | 8   | 常勤      |
| 170056 | 医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック    | 都 城 市 | 循内,脳外,呼,神内                   | 5   | 常勤      |
| 170057 | 医)清陵会 隅病院                 | 都 城 市 | 内,外,整                        | 3   | 常勤      |
| 180064 | 国立病院機構都城病院                | 都 城 市 | 消内,血内,循,内,脳,産婦,<br>耳鼻        | 9   | 常勤      |
| 180069 | 大悟病院                      | 三 股 町 | 精,内                          | 2   | 常勤      |

| 登録番号   | 施 設 名               | 所 在 地 | 募 集 診 療 科               | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|---------------------|-------|-------------------------|-----|---------|
| 180081 | 医)恵心会 永田病院          | 都 城 市 | 精                       | 1   | 常勤      |
| 190092 | 都城市郡医師会病院           | 都 城 市 | 内,呼                     | 4   | 常勤      |
| 190093 | 一社)藤元総合病院附属総合健診センター | 都 城 市 | 内                       | 2   | 常勤・非常勤  |
| 210113 | 医)邦楽会 河村医院          | 都 城 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 210114 | 藤元総合病院              | 都 城 市 | 精                       | 2   | 常勤      |
| 230127 | 医)倫生会 三州病院          | 都 城 市 | 外,内,麻                   | 9   | 常勤・非常勤  |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑       | 都 城 市 | 不問                      | 1   | 常勤      |
| 230135 | 医)廣師会 信愛医院          | 都 城 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 230137 | 医)宏仁会 海老原内科         | 都 城 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 240142 | 医)魁成会 宮永病院          | 都 城 市 | 内,リハビリ                  | 2   | 常勤      |
| 160012 | 医)伸和会 共立病院          | 延 岡 市 | 外,整,皮,放,内,消外            | 6   | 常勤      |
| 160021 | 医)建悠会 吉田病院          | 延 岡 市 | 精                       | 2   | 常勤      |
| 160034 | 特医)健寿会 黒木病院         | 延 岡 市 | 外,内,緩ケア                 | 6   | 常勤・非常勤  |
| 160036 | 医)久康会 平田東九州病院       | 延 岡 市 | 内,外麻,精,神内,脳神経,<br>老施,心内 | 5   | 常勤・非常勤  |
| 190086 | 早田病院                | 延 岡 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 200100 | 医)育生会 井上病院          | 延 岡 市 | 産婦,内,小                  | 3   | 常勤      |
| 200102 | 延岡市医師会病院            | 延 岡 市 | 消内                      | 3   | 常勤      |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター         | 延 岡 市 | 内,小                     | 2   | 非常勤     |
| 210112 | 医)嘉祥会 岡村病院          | 延 岡 市 | 内                       | 3   | 常勤・非常勤  |
| 160039 | 医)誠和会 和田病院          | 日 向 市 | 外,内,整,神内                | 6   | 常勤      |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院         | 門 川 町 | 内                       | 3   | 常勤      |
| 230130 | 医)ラポール向洋            | 日 向 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 230131 | 医)向洋会 協和病院          | 日 向 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院       | 美 郷 町 | 内,整                     | 2   | 常勤      |
| 160006 | 都農町国保病院             | 都 農 町 | 内,放,外,小                 | 4   | 常勤      |
| 160023 | 医)宏仁会 海老原総合病院       | 高 鍋 町 | 整,内,心内,眼,健診,循,脳         | 16  | 常勤・非常勤  |
| 170058 | 国立病院機構宮崎病院          | 川 南 町 | 呼,循,消内,外                | 8   | 常勤      |
| 180077 | 医)聖山会 川南病院          | 川 南 町 | 眼,麻,脳                   | 13  | 常勤・非常勤  |
| 160024 | 医)隆徳会 鶴田病院          | 西 都 市 | 内,外                     | 2   | 常勤      |
| 150002 | 医)慶明会 おび中央病院        | 日 南 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 150003 | 医)同仁会 谷口病院          | 日 南 市 | 精,内,外                   | 4   | 常勤      |
| 160022 | 医)愛鍼会 山元病院          | 日 南 市 | 内,消内,神内                 | 3   | 常勤      |
| 160037 | 医)十善会 県南病院          | 串 間 市 | 精,内                     | 1   | 常勤      |
| 170047 | 日南市立中部病院            | 日 南 市 | 内,神内,整,リハビリ             | 4   | 常勤      |
| 180071 | 串間市民病院              | 串 間 市 | 腎内                      | 1   | 常勤      |
| 220124 | 医)月陽会 きよひで内科クリニック   | 日 南 市 | 内                       | 4   | 常勤・非常勤  |
| 230129 | 医)秀英会 英医院           | 串 間 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 230138 | 小玉共立外科              | 日 南 市 | 不問                      | 2   | 常勤・非常勤  |
| 160019 | 医)相愛会 桑原記念病院        | 小 林 市 | 内,整,皮膚                  | 5   | 常勤・非常勤  |
| 170043 | 医)和芳会 小林中央眼科        | 小 林 市 | 眼                       | 2   | 常勤・非常勤  |
| 180067 | 小林市立病院              | 小 林 市 | 循,救急,産婦,放,小             | 10  | 常勤      |
| 180076 | 医)友愛会 園田病院          | 小 林 市 | 外,内,整                   | 7   | 常勤・非常勤  |
| 190090 | 特医)浩然会 内村病院         | 小 林 市 | 精                       | 2   | 常勤      |
| 190091 | 医)友愛会 野尻中央病院        | 小 林 市 | 整,内                     | 4   | 常勤・非常勤  |
| 170049 | 五ヶ瀬町国保病院            | 五ヶ瀬町  | 整                       | 1   | 常勤      |
| 180070 | 高千穂町国保病院            | 高千穂町  | 内,神内,循内                 | 3   | 常勤      |
| 190088 | 日之影町国保病院            | 日之影町  | 内,整                     | 2   | 非常勤     |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 25 年 6 月 18 日現在

|         |                                                                                                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 譲渡物件 | ① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田 263 番, 263 番<br>土地のみ：593.5 坪 (2022.17m <sup>2</sup> )                                                   |
| 2. 賃貸物件 | ① 宮崎市曾師町 209-3 (旧 田川内科医院跡地)<br>建物：鉄筋コンクリート造 2 階建<br>1 階 183.35m <sup>2</sup> , 2 階 166.69m <sup>2</sup><br>※駐車場：10 台分 |
|         | ② 延岡市大門町 188-1 (旧 白坂内科医院跡地)<br>建物：鉄筋造平屋建 205m <sup>2</sup><br>※駐車場：10 台分                                              |

## ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前 9 時から 12 時及び 13 時から 17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m-iyazakim-ed.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 25年 6 月 25日現在

| 7  |   |                                                                     | 月  |   |                                                                                                                                                      |
|----|---|---------------------------------------------------------------------|----|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 月 |                                                                     |    |   | 9 : 10 全体課長会(事務局)<br>14: 00 産業医研修会<br>19: 00 病院部会・医療法人部会合同理事会<br>19: 30 日本消化器外科学会総会評議員拡大<br>プログラム委員会                                                 |
| 2  | 火 | 18: 00 治験審査委員会<br>19: 00 第 10回常任理事協議会                               | 17 | 水 |                                                                                                                                                      |
| 3  | 水 | 19: 00 県内科医会理事会<br>19: 00 公衆衛生・感染症委員会                               |    |   |                                                                                                                                                      |
| 4  | 木 | 13: 30 全国国民健康保険組合協会理事長・<br>役員研修会                                    | 18 | 木 | 19: 00 医療現場のワークライフ・バランス<br>セミナー                                                                                                                      |
| 5  | 金 |                                                                     | 19 | 金 | 14: 30 県ジェネリック医薬品安心使用<br>促進協議会                                                                                                                       |
| 6  | 土 | 11: 30 県認知症高齢者グループホーム連絡<br>協議会理事会                                   | 20 | 土 | 15: 00 日医生涯教育協力講座セミナー<br>(TV 会議)                                                                                                                     |
|    |   | 13: 30 県認知症高齢者グループホーム連絡<br>協議会総会・全体研修会                              |    |   | 15: 40 九州医師協同組合連合会購買・<br>保険部会                                                                                                                        |
|    |   | 15: 00 全国医師会医療秘書学院連絡協議会<br>常任委員会                                    | 21 | 日 |                                                                                                                                                      |
| 7  | 日 | 10: 30 全医協連広報部会                                                     | 22 | 月 |                                                                                                                                                      |
| 8  | 月 | 19: 00 県外科医会理事会                                                     |    |   |                                                                                                                                                      |
| 9  | 火 | 14: 00 産業医研修会<br>18: 30 第 3 回全理事協議会<br>19: 00 新研修医保険診療等説明会及び祝<br>賀会 | 23 | 火 | 12: 30 (日医)日医理事会<br>14: 20 (日医)都道府県医師会長協議会<br>16: 30 (日医)日医連執行委員会<br>17: 30 (日医)都道府県医師会長協議会<br>・日医連執行委員会合同懇親会<br>18: 20 医協打合会<br>19: 00 第 1 回常任理事協議会 |
|    |   |                                                                     |    |   |                                                                                                                                                      |
|    |   |                                                                     |    |   |                                                                                                                                                      |
| 10 | 水 | 13: 30 看護師等医療従事者の「雇用の質」向<br>上のための取組に関する企画委員会                        | 24 | 水 |                                                                                                                                                      |
|    |   | 15: 00 (日医)日医有床診療所に関する検討<br>委員会                                     |    |   |                                                                                                                                                      |
|    |   | 16: 00 支払基金幹事会<br>19: 00 県警察医会協議会                                   | 25 | 木 | 13: 30 産業医研修会<br>19: 00 広報委員会                                                                                                                        |
| 11 | 木 | 19: 00 産業医研修会(TV 会議)<br>19: 30 県産婦人科医会常任理事会                         | 26 | 金 | 18: 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎<br>部会<br>19: 00 医師国保組合通常組合会                                                                                                   |
|    |   |                                                                     |    |   |                                                                                                                                                      |
| 12 | 金 | 14: 30 (日医)日医地域医療対策委員会<br>19: 00 医師国保組合理事会<br>19: 30 広報委員会          | 27 | 土 | 13: 00 男女共同参画フォーラム<br>14: 30 産業医研修会(実地)                                                                                                              |
|    |   |                                                                     | 28 | 日 | 9 : 30 (日医)第 1 回日本医師会在宅医リー<br>ダー研修会                                                                                                                  |
| 13 | 土 | 19: 00 首都圏医師との交流会                                                   |    |   |                                                                                                                                                      |
| 14 | 日 | 10: 00 レジナビフェア                                                      | 29 | 月 | 19: 00 広報委員会                                                                                                                                         |
| 15 | 月 | (海の日)                                                               |    |   |                                                                                                                                                      |
| 16 | 火 | 18: 30 第 4 回全理事協議会<br>19: 00 県福祉保健部・病院局と県医師会と<br>の懇談会               | 30 | 火 | 18: 00 医協理事会<br>18: 30 第 5 回全理事協議会<br>終了後 医協理事・運営委員合同協議会<br>19: 20 各都市医師会長協議会                                                                        |
|    |   |                                                                     |    |   |                                                                                                                                                      |
|    |   |                                                                     | 31 | 水 | 15: 00 労災診療指導委員会                                                                                                                                     |

※都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 25 年 6 月 25 日現在

| 8 月 |   |                                                                                                                                              |                                                                                            |
|-----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 木 |                                                                                                                                              | 16 金 19:00 県内科医会医療保険委員会                                                                    |
| 2   | 金 |                                                                                                                                              | 17 土 14:30 産業医研修会(前期)<br>15:00 九州地区医師国保組合連合会<br>全体協議会<br>15:30 学校医部会総会                     |
| 3   | 土 | 13:00 全国有床診療所連絡協議会役員会<br>14:00 全国有床診療所連絡協議会総会<br>15:00 九州学校検診協議会専門委員会<br>16:00 九医連常任委員会<br>17:00 九州学校検診協議会幹事会<br>18:00 九州各県医師会学校保健担当理事<br>者会 | 18 日                                                                                       |
|     |   |                                                                                                                                              | 19 月                                                                                       |
|     |   | 9:00 全国有床診療所連絡協議会総会<br>9:00 九州学校検診協議会<br>11:30 九州医師会連合会学校医会評議員会<br>13:10 九州ブロック学校保健・学校医大会                                                    | 20 火 14:00 (日医)日医理事会<br>18:20 医協打合会<br>19:00 第 13 回常任理事協議会                                 |
|     |   |                                                                                                                                              | 21 水                                                                                       |
| 4   | 日 |                                                                                                                                              | 22 木 19:00 県内科医会会誌編集委員会                                                                    |
| 5   | 月 | 10:00 九州地区健康教育研究大会                                                                                                                           | 23 金                                                                                       |
| 6   | 火 | 18:00 治験審査委員会<br>19:00 第 12 回常任理事協議会                                                                                                         | 24 土 13:30 県プライマリ・ケア研究会世話人会<br>14:00 県プライマリ・ケア研究会総会<br>・講演会<br>16:40 中四九地区医師会看護学校協議会       |
| 7   | 水 | 16:00 支払基金幹事会                                                                                                                                | 25 日 9:30 中四九地区医師会看護学校協議会                                                                  |
| 8   | 木 | 15:30 (日医)日医医療情報システム協議会<br>運営委員会<br>19:00 損保ジャパンとの懇談会                                                                                        | 26 月 19:00 広報委員会                                                                           |
| 9   | 金 |                                                                                                                                              | 27 火 18:00 九州地方社会保険医療協議会<br>宮崎部会<br>18:15 医協理事会<br>19:00 第 6 回全理事協議会<br>終了後 医協理事・運営委員合同協議会 |
| 10  | 土 | 16:00 全国国保組合協会九州支部総会                                                                                                                         | 28 水 15:00 労災診療指導委員会                                                                       |
| 11  | 日 |                                                                                                                                              | 29 木                                                                                       |
| 12  | 月 |                                                                                                                                              | 30 金                                                                                       |
| 13  | 火 |                                                                                                                                              | 31 土 14:00 在宅医療協議会役員会・総会                                                                   |
| 14  | 水 |                                                                                                                                              |                                                                                            |
| 15  | 木 | 19:30 県産婦人科医会全理事会                                                                                                                            |                                                                                            |

※都合により、変更になることがあります。



# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん：各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

※アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                                | 演 題                                                                       | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                                 | 単位  | CC<br>・<br>がん        |
|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------|
| 第 80 回宮崎市郡医師会心臓病研究会<br>7 月 1 日(月)<br>19: 00～ 20: 30<br>宮崎観光ホテル          | 冠動脈硬化の病態と治療：OCT による検討<br>和歌山県立医科大学循環器内科教授<br>赤坂 隆史                        | ◇共催<br>※宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>大塚製薬(株)                                                                      | 1.5 | 2<br>9<br>11         |
| 宮崎小児感染症研究会<br>7 月 4 日(木)<br>19: 15～ 21: 00<br>M R T m i c c             | 小児下気道感染症の起炎菌について<br>新潟大学医歯学総合病院小児科助教<br>大石 智洋                             | ◇共催<br>宮崎小児感染症研究会<br>宮崎県小児科医会<br>宮崎県耳鼻咽喉科医会<br>宮崎県臨床衛生検査技師会<br>※ M e i j i S e i k a フ ァ<br>ルマ(株)<br>☎ 0985-25-6215 | 1.5 | 15<br>28<br>46       |
| 第 4 回宮崎県核医学研究会<br>7 月 5 日(金)<br>18: 30～ 20: 00<br>宮崎観光ホテル               | 婦人科領域における FDG-PET /CT の有用性<br>大阪府済生会中津病院 PET センター長<br>岡村 光英<br>参加費： 500 円 | ◇共催<br>宮崎県核医学研究会<br>※日本メジフィジックス(株)<br>☎ 099-805-2005                                                                | 1.5 | 1<br>2<br>15         |
| 平成 25 年度学童心臓検診第二次検討会(後期)<br>7 月 5 日(金)<br>19: 00～ 21: 00<br>日向市東臼杵郡医師会館 | 症例検討会                                                                     | ◇主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓検診班<br>◇後援<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222                                                      | 2   | 11<br>33<br>43<br>44 |

| 名称・日時・場所                                                          | 演 題                                                                                                                             | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                           | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん       |
|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--------|---------------------|
| 延岡医学会学術講演会<br>7月5日(金)<br>19:00～20:30<br>ホテルメリージュ<br>延岡            | 認知症のいろいろ<br>大悟病院老年期精神疾患センター<br>井上 輝彦                                                                                            | ◇共催<br>延岡医学会<br>※エーザイ(株)<br>☎0985-26-2676<br>◇後援<br>延岡内科医会    | 1      | 14<br>29            |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>7月9日(火)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                   | (8)有害業務管理<br>医療福祉施設の感染症対策<br>藤木病院理事長<br>生涯研修の専門研修会：2単位<br>藤木 浩                                                                  | ◇共催<br>宮崎産業保健推進連絡事務所<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118              | 2      | 9<br>11<br>13<br>14 |
| 第31回国立病院機構宮崎病院医療セミナー<br>7月9日(火)<br>19:00～20:00<br>ブライダルホール<br>竹乃屋 | 肺年齢と呼吸器疾患<br>宮崎大学医学部内科学講座<br>神経呼吸内分泌代謝学分野助教 松元 信弘                                                                               | ◇主催<br>国立病院機構宮崎病院<br>◇後援<br>※児湯医師会<br>☎0983-22-1641<br>児湯内科医会 | 1      | 45<br>46            |
| 第78回江南医療連携の会・症例検討会<br>7月11日(木)<br>19:00～20:30<br>社会保険宮崎江南病院       | 前額皮弁による外鼻再建の3例<br>社会保険宮崎江南病院形成外科医員<br>梅田 基子<br>橈骨神経損傷を合併した、上腕骨顆部粉碎骨折の1例<br>同病院整形外科部長 益山 松三<br>昨年度・消化器内視鏡検査総括<br>同病院放射線科部長 伊藤 泰教 | ◇主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>社会保険宮崎江南病院<br>☎0985-51-7575       | 1.5    | 53<br>57            |

| 名称・日時・場所                                                                                                | 演 題                                                                | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                       | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7 月 1日(木)<br>19: 00～ 21: 00<br>県医師会館<br>(TV 会議: 都城・<br>延岡・日向・西都・<br>南那珂・西諸・西<br>臼杵) | (4)メンタルヘルス対策<br>職場に潜む依存症<br>都城新生病院医師 前原 正法<br>生涯研修の専門研修会: 2 単位     | ◇共催<br>宮崎産業保健推進連絡事務所<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                           | 2      | 3<br>5<br>69<br>70   |
| 第 52回都城心臓血<br>管懇話会<br>7 月 12日(金)<br>19: 30～ 20: 30<br>都城ロイヤルホ<br>テル                                     | 最近の経口抗凝固療法<br>ーワーファリン, 新しい抗凝固薬も含めてー<br>東京女子医科大学循環器内科教授 上塚 芳郎       | ◇主催<br>都城心臓血管懇話会<br>◇共催<br>エーザイ(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711 | 1      | 8<br>73              |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7 月 17日(水)<br>14: 00～ 16: 00<br>県医師会館                                               | (4)メンタルヘルス対策<br>職場のストレスと対処<br>宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子<br>生涯研修の専門研修会: 2 単位 | ◇共催<br>宮崎産業保健推進連絡事務所<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                           | 2      | 11<br>13<br>69<br>70 |
| 宮崎市郡医師会 7<br>月例会特別講演会<br>しのめ医学会<br>7 月 17日(水)<br>19: 00～ 20: 00<br>宮崎観光ホテル                              | 税制改正の動向と医療機関における税務的課題の<br>検討<br>(株)日本経営病院事業部課長 矢野 弘樹               | ◇主催<br>※宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434                                           | 1      | 7<br>84              |

| 名称・日時・場所                                                                                                 | 演 題                                                                                                                                                                                                                                           | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                     | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------------------------|
| 西臼杵地区学術講演会<br>7月18日(木)<br>19:00～20:00<br>ホテル高千穂                                                          | 心筋梗塞二次予防のための戦略的薬物療法<br>済生会熊本病院心臓血管センター<br>循環器内科副部長 坂本 知浩                                                                                                                                                                                      | ◇主催<br>※西臼杵郡医師会<br>☎0982-73-2010<br>◇共催<br>延岡市・西臼杵郡薬剤師会<br>◇後援<br>大日本住友製薬(株)            | 1      | 74                            |
| 第26回日向地区急性期医療連携検討会<br>7月19日(金)<br>19:00～21:00<br>日向市東臼杵郡医師会館                                             | ヘリポートを屋上に持つ新救命救急センターの概要<br>県立延岡病院救命救急科部長 竹智 義臣                                                                                                                                                                                                | ◇共催<br>※日向市東臼杵郡内科医会<br>☎0982-52-0222<br>日向地区急性期医療連携検討会<br>ファイザー(株)<br>◇後援<br>日向市東臼杵郡医師会 | 2      | 10<br>13                      |
| 都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会<br>7月19日(金)<br>19:15～20:45<br>ホテル中山荘                                                 | なぜ、いま心臓リハビリテーションなのか<br>久留米大学医療センター循環器内科教授<br>池田 久雄                                                                                                                                                                                            | ◇主催<br>都城市北諸県郡医師会内科医会<br>◇共催<br>持田製薬(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711         | 1.5    | 19<br>62<br>75                |
| 日医生涯教育協力講座セミナー「家庭血圧測定的重要性－仮面高血圧の診療の実際－」<br>7月20日(土)<br>15:00～18:00<br>県医師会館<br>(TV会議：都城・延岡・児湯・西都・南那珂・西諸) | 高血圧治療は究極の目標へー夜間高血圧の重要性－<br>労働者健康福祉機構旭労災病院長<br>木村 玄次郎<br>当院における糖尿病合併高血圧治療の現状<br>矢野内科クリニック院長 矢野 伸樹<br>当院循環器科における高血圧治療の現状<br>社会保険宮崎江南病院内科主任部長<br>松尾 剛志<br>CKDの啓発と医療連携の実際<br>県立宮崎病院内科医長 上園 繁弘<br>当院における高齢者高血圧治療の現状<br>高千穂町国民健康保険病院内科主任医長<br>押方 慎弥 | ◇共催<br>日本医師会<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>第一三共(株)                                     | 3      | 1<br>2<br>5<br>73<br>74<br>82 |

| 名称・日時・場所                                                                     | 演 題                                                                                                  | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                        | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん        |
|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 平成 25年度学童心<br>臓検診第三次検討<br>会及び講演会<br>7 月 20日(土)<br>15: 00～ 18: 00<br>日向市中央公民館 | 症例検討会<br>「小児の心臓病について」(仮)<br>宮崎大学医学部附属病院教授 高木 純一                                                      | ◇主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓検診班<br>◇後援<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222                             | 3      | 11<br>33<br>43<br>44 |
| 第 18回宮崎県呼吸<br>ケア研究会<br>7 月 20日(土)<br>15: 00～ 17: 30<br>JA A ZM ホール           | COPDにおけるHOTの進歩と問題点<br>日本医科大学呼吸ケアクリニック所長 木田 厚瑞<br>参加費: 500円                                           | ◇共催<br>宮崎県呼吸ケア研究会<br>※帝人在宅医療(株)<br>☎ 0985-25-6613<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>宮崎県看護協会<br>宮崎県理学療法士会 | 2.5    | 10<br>45<br>73<br>80 |
| 第 31回宮崎感染症<br>研究会<br>7 月 23日(火)<br>18: 45～ 20: 30<br>宮崎観光ホテル                 | 小児・成人ワクチンの最近の動向<br>国立感染症研究所感染症疫学センター長 大石 和徳<br>ダニ媒介感染症について<br>同研究所ウイルス第一部 安藤 秀二<br>参加費: 1,000円(学生除く) | ◇共催<br>宮崎感染症研究会<br>※第一三共(株)<br>☎ 0985-23-5710                                              | 2      | 11<br>16             |
| 第 17回宮崎甲状腺<br>疾患研究会<br>7 月 23日(火)<br>19: 00～ 21: 00<br>宮崎観光ホテル               | 妊娠とバセドウ病<br>国立成育医療研究センター<br>母性医療診療部母性内科医長 荒田 尚子<br>参加費: 1,000円                                       | ◇共催<br>宮崎甲状腺疾患研究会<br>※あすか製薬(株)<br>☎ 092-781-6551                                           | 2      | 2<br>8<br>13<br>15   |



| 名称・日時・場所                                                          | 演 題                                                                                                                        | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                  | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                 |
|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------|-------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月23日(木)<br>13:30～15:30<br>都城圏域地場産業<br>振興センター | (1)労働安全関係法規と関係通達の改正<br>労働衛生行政の動向<br>ー最近の報道発表資料(厚生労働省)からー<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表<br>矢崎 武<br>生涯研修の更新研修会: 2単位                  | ◇共催<br>宮崎産業保健推進連絡事務所<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                     | 2      | 3<br>7<br>8<br>9              |
| 第180回宮崎県泌<br>尿器科医会学術講<br>演会<br>7月25日(木)<br>18:50～20:40<br>宮崎観光ホテル | がん性痛の治療<br>ー基本からペインクリニック的アプローチまでー<br>宮崎大学医学部麻酔生体管理学分野講師<br>田中 信彦<br>がんの地域連携の落とし穴<br>ー経過観察から緩和医療までー<br>国立病院機構都城病院長<br>井口 厚司 | ◇共催<br>宮崎県泌尿器科医会<br>久光製薬(株)<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部泌尿器科<br>☎0985-85-2968 | 1.5    | 9<br>13<br>84                 |
| 都城胎児超音波講<br>演会<br>7月27日(土)<br>13:30～16:30<br>都城市総合文化<br>ホール       | 胎児超音波について(先天性心疾患を中心に)<br>神奈川県立こども医療センター<br>新生児科部長<br>川瀧 元良                                                                 | ◇主催<br>都城市北諸県郡医師<br>会産婦人科医会<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711  | 3      | 1<br>2<br>8<br>10<br>11<br>15 |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月27日(土)<br>14:30～16:30<br>県医師会館              | (6)作業環境管理・作業管理<br>作業環境測定(騒音測定器具を使つての实地研修)<br>宮崎大学医学部公衆衛生学分野教授<br>黒田 嘉紀<br>基礎研修・生涯研修の实地研修会: 2単位                             | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                      | 2      | 3<br>9<br>11<br>84            |

| 名称・日時・場所                                                  | 演 題                                                                                                                                                                                                                            | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                               | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                    |
|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------|----------------------------------|
| 第 24回宮崎リウマチ医の会<br>7月2日(土)<br>15:00~18:10<br>MRT micc      | 関節リウマチ診療における感染症対策<br>ー好中球上CD 64測定の有用性ー<br>国立病院機構相模原病院リウマチ科医長 松井 利浩<br>見過ごされる喪失の病<br>ー関節リウマチを持つ人の心理ー<br>帝京大学文学部心理学科教授 元永 拓郎<br>様々な合併症を有する関節リウマチへの対応<br>ー自験例よりー<br>国立病院機構名古屋医療センター<br>整形外科医長 金子 敦史<br>参加費: 1,000円(コメディカル, 学生は無料) | ◇共催<br>宮崎リウマチ医の会<br>※旭化成ファーマ(株)<br>☎ 0985-28-2736 | 3      | 2<br>5<br>6<br>8<br>28<br>61     |
| 第 38回消化器疾患宮崎セミナー<br>7月2日(土)<br>15:00~18:45<br>ホテルJALシティ宮崎 | 消化管の体外式超音波検査<br>ー超音波で見えるものー<br>済生会日向病院臨床検査室主任 田中 勝徳<br>大腸腫瘍の内視鏡診断ー最近の話題ー<br>広島大学病院内視鏡診療科教授 田中 信治<br>上部消化管の機能性疾患<br>川崎医科大学消化管内科教授 春間 賢<br>参加費: 5,000円(開業医)<br>3,000円(勤務医)                                                       | ◇共催<br>宮崎木曜会<br>※武田薬品(株)<br>☎ 0985-24-6763        | 2.5    | 1<br>8<br>15<br>50<br>52<br>(大腸) |
| 第 72回宮崎大学眼科研究会<br>7月2日(土)<br>17:00~19:00<br>宮崎観光ホテル       | 身近な眼瞼疾患<br>ー子持ち女医がいかに仕事を続けるかー<br>北海道大学医学研究科眼科学分野助教 野田 実香<br>緑内障検査…たくさんの検査値をどう使いこなす?<br>東京慈恵会医科大学眼科学教室講師 中野 匡<br>参加費: 2,000円                                                                                                    | ◇主催<br>※宮崎大学医学部眼科学教室<br>☎ 0985-85-2806            | 2      | 36                               |

| 名称・日時・場所                                                | 演 題                                                                                                                          | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                               | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                            |
|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------|------------------------------------------|
| 第52回宮崎インターベンション研究会<br>8月2日(金)<br>18:45～20:15<br>宮崎観光ホテル | 腎動脈狭窄症における腎動脈エコーの意義<br>北九州市立八幡病院循環器内科主任部長<br>原田 敬                                                                            | ◇共催<br>田辺三菱製薬(株)<br>※宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119   | 1.5    | 1<br>2<br>15                             |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>8月6日(火)<br>13:30～15:30<br>延岡地域職業訓練センター  | (6)作業環境管理・作業管理<br>事業場の環境管理(温度・騒音・照明・分煙等)<br>下津労働衛生コンサルタント事務所代表<br>下津 義博<br>生涯研修の現地研修会: 2単位                                   | ◇共催<br>宮崎産業保健推進連絡事務所<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118  | 2      | 8<br>9<br>11<br>84                       |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>8月9日(金)<br>14:00～16:00<br>県医師会館         | (4)メンタルヘルス対策<br>事業所におけるうつ病対策<br>西都病院医師<br>植田 勇人<br>生涯研修の専門研修会: 2単位                                                           | ◇共催<br>宮崎産業保健推進連絡事務所<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118  | 2      | 5<br>11<br>69<br>70                      |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>8月17日(土)<br>14:30～18:30<br>県医師会館        | (5)作業環境管理<br>作業環境管理について(仮)<br>三財病院整形外科部長<br>松本 英裕<br>(2)健康管理<br>健康管理について(仮)<br>SUMCO TECHXIV産業医<br>谷山 ゆかり<br>基礎研修の前期研修会: 4単位 | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                   | 4      | 1<br>3<br>5<br>9<br>11<br>12<br>82<br>84 |
| 第34回ひむか運動器セミナー<br>9月4日(水)<br>18:50～20:30<br>宮崎観光ホテル     | 骨粗鬆症治療薬が骨折治癒過程におよぼす影響<br>—骨折後に使用するべき薬剤とは—<br>香川大学整形外科講師<br>真柴 賛                                                              | ◇共催<br>ひむか運動器セミナー<br>※旭化成ファーマ(株)<br>☎0985-28-2736 | 1      | 60<br>77                                 |

| 名称・日時・場所                                                                                                             | 演 題                                                                                                                                                                                                          | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                           | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>9 月 5 日(木)<br>14: 00～ 16: 00<br>県医師会館                                                            | (1)労働安全関係法規と関係通達の改正<br>労働衛生行政の動向<br>—最近の報道発表資料(厚生労働省)から—<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表<br>矢崎 武<br>生涯研修の更新研修会: 2 単位                                                                                                   | ◇共催<br>宮崎産業保健推進連絡事務所<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                             | 2      | 3<br>7<br>8<br>9         |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>9 月 7 日(土)<br>15: 00～ 17: 00<br>(株)都城くみあい食<br>品志和池工場                                             | (7)職場巡視と討論<br>職場巡視における作業環境の体験<br>都北西諸医師会産業医部会長 大岐 照彦<br>基礎研修・生涯研修の現地研修会: 2 単位                                                                                                                                | ◇主催<br>※都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711                                                          | 2      | 8<br>9<br>11<br>13       |
| 第 16 回宮崎神経眼<br>科セミナー<br>9 月 7 日(土)<br>18: 30～ 21: 00<br>ホテルメリージュ                                                     | 痛みの神経眼科—眼痛・眼窩痛のみかた<br>愛知淑徳大学健康医療科学部視覚科学講座<br>教授 柏井 聡<br>参加費: 2,000円                                                                                                                                          | ◇共催<br>宮崎神経眼科ネットワーク<br>参天製薬(株)<br>(連絡先)<br>尾崎眼科<br>☎ 0982-52-5600                             | 2.5    | 1<br>2<br>13<br>30<br>36 |
| 日本医療マネジメ<br>ント学会宮崎県支<br>部学術集会「医療<br>サービスサイエン<br>ス(スタッフ実践<br>教育)」<br>9 月 28 日(土)<br>10: 00～ 17: 00<br>宮崎大学清武キャ<br>ンパス | インシデントから学ぶ<br>宮崎大学教授 林 克裕<br>医療安全講習(なぜルールが守られないのか)<br>宮崎大学教授 甲斐 由紀子<br>北陸最先端科学技術大学院大学教授<br>池田 満<br>症例経営分析演習<br>宮崎大学教授 荒木 賢二<br>がん登録演習<br>宮崎大学院内がん登録担当 黒木 千香子<br>参加費: 1,500円(会員)<br>2,000円(非会員)<br>1,000円(学生) | ◇主催<br>日本医療マネジメン<br>ト学会第 7 回宮崎県<br>支部学術集会<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部附属<br>病院医療情報部内<br>☎ 0985-85-9057 | 5      | 8<br>15                  |

| 名称・日時・場所                                                           | 演 題                                         | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                   | 単位 | CC・がん |
|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----|-------|
| 第12回宮崎県皮膚科懇話会<br>第6回日臨皮宮崎県支部会<br>9月28日(土)<br>18:00～19:00<br>県立宮崎病院 | 食物アレルギーとアトピー性皮膚炎(仮)<br>国立病院機構福岡病院小児科 柴田 瑠美子 | ◇主催<br>宮崎県皮膚科医会<br>(連絡先)<br>たじり皮膚科医院<br>☎0985-84-1110 | 1  | 10    |

## 日本医師会生涯教育カリキュラム（2009）

カリキュラムコード(略称：CC)

|                     |                |                     |
|---------------------|----------------|---------------------|
| 1 専門職としての使命感        | 29 認知能の障害      | 57 外傷               |
| 2 継続的な学習と臨床能力の保持    | 30 頭痛          | 58 褥瘡               |
| 3 公平・公正な医療          | 31 めまい         | 59 背部痛              |
| 4 医療倫理              | 32 意識障害        | 60 腰痛               |
| 5 医師－患者関係とコミュニケーション | 33 失神          | 61 関節痛              |
| 6 心理社会的アプローチ        | 34 言語障害        | 62 歩行障害             |
| 7 医療制度と法律           | 35 けいれん発作      | 63 四肢のしびれ           |
| 8 医療の質と安全           | 36 視力障害、視野狭窄   | 64 肉眼的血尿            |
| 9 医療情報              | 37 目の充血        | 65 排尿障害（尿失禁・排尿困難）   |
| 10 チーム医療            | 38 聴覚障害        | 66 乏尿・尿閉            |
| 11 予防活動             | 39 鼻漏・鼻閉       | 67 多尿               |
| 12 保健活動             | 40 鼻出血         | 68 精神科領域の救急         |
| 13 地域医療             | 41 嘔吐          | 69 不安               |
| 14 医療と福祉の連携         | 42 胸痛          | 70 気分の障害（うつ）        |
| 15 臨床問題解決のプロセス      | 43 動悸          | 71 流・早産および満期産       |
| 16 ショック             | 44 心肺停止        | 72 成長・発達の障害         |
| 17 急性中毒             | 45 呼吸困難        | 73 慢性疾患・複合疾患の管理     |
| 18 全身倦怠感            | 46 咳・痰         | 74 高血圧症             |
| 19 身体機能の低下          | 47 誤嚥          | 75 脂質異常症            |
| 20 不眠               | 48 誤飲          | 76 糖尿病              |
| 21 食欲不振             | 49 嚥下困難        | 77 骨粗鬆症             |
| 22 体重減少・るい瘦         | 50 吐血・下血       | 78 脳血管障害後遺症         |
| 23 体重増加・肥満          | 51 嘔気・嘔吐       | 79 気管支喘息            |
| 24 浮腫               | 52 胸やけ         | 80 在宅医療             |
| 25 リンパ節腫脹           | 53 腹痛          | 81 終末期のケア           |
| 26 発疹               | 54 便秘異常（下痢・便秘） | 82 生活習慣             |
| 27 黄疸               | 55 肛門・会陰部痛     | 83 相補・代替医療（漢方医療を含む） |
| 28 発熱               | 56 熱傷          | 84 その他              |



## みやざきメディカルトライアングル通信～働きやすい医療現場を目指して 平成 25 年度ワークライフバランスセミナー開催のお知らせ

宮崎県医師会常任理事 荒木 早苗

医療現場における働きやすい環境づくりを目指し、県・大学・県医師会が参加する「地域医療現場における働きやすい環境を考える会」において、定期的な協議を行っています。今年度は県医師会主催によるセミナーを下記のとおり開催いたします。

### □医療従事者向けワークライフバランスセミナー

医療現場において、男女を問わない働きやすい環境整備の必要性や実現に向け考える機会とすることを目的としたセミナーです。医師だけでなく(女性医師に限らず同僚や上司となる男性医師も)、看護師、病院の制度や経営等を考える事務長等の管理職の方も含めてご参加ください。

日 時：平成 25 年 7 月 18 日(木) 19:00～

会 場：宮崎県医師会館

演 題：「医療機関における ワーク・ライフ・バランス」

講 師：厚生労働省 政策評価に関する有識者会議委員 渥美 由喜 氏

講演要旨：人口減少社会は、総力戦。働き手が企業を選択する時代となる。共働きの男女が増え、介護家族を抱えた社員の増加が見込まれる。あらゆる立場の人が活躍できる働きやすい職場にならなければ、優秀な人材の定着確保も困難となり、医療機関の生き残りに関わる。

ワークライフバランスは、会社の支援と個人の意識・行動の変化により、スキル向上、顧客満足度、従業員満足度が上昇する成長のスパイラルとなる。事例を交えて、話したい。

### 「宮大病院キャリア支援枠」について

宮崎大学清花アテナ男女共同参画推進室長 伊達 紫

宮崎大学医学部附属病院では、さまざまな理由から離職・休職している院内外の医師が緩やかに職場復帰できる場を提供することを目指し、「宮崎大学キャリア支援枠」(以下：支援枠)を運用しています。利用対象者は次の通りです(性別不問)。

- 育児または介護等によりフルタイムの勤務が困難な方
- 休職中の医師で復職を希望する方
- スキルアップのため専門分野以外の知識や経験を必要とする方

支援枠を利用する場合は非常勤医員での採用となり、当直勤務や時間外呼び出し・超過勤務等が免除されます。また、診療科と相談しながら、利用者の希望に応じて柔軟な勤務形態を選ぶことができます。

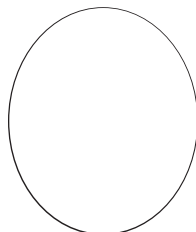
平成 25 年 6 月末現在、3 名の支援枠利用者が勤務しています。本学では、こうした取組みを通じて、より多彩な人材が活躍できる環境が実現することを目指しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

(右図：「宮大病院キャリア支援枠」利用者が着用するバッジのデザイン)

宮崎大学清花アテナ男女共同参画推進室 住所〒 889-1692 宮崎市清武町木原 5200

TEL / FAX : 0985-85-1252 E-mail: info-athena@med.miyazaki-u.ac.jp

## 診療メモ



## 急増する疾患 「加齢黄斑変性」

宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野 なお い のぶ ひさ 直 井 信 久

## 1. 加齢黄斑変性とはどういう病気でしょうか？

加齢黄斑変性(症)は最近急速に増えてきた病気ですので、10年以上前に医学部で眼科学を学んだ先生にとっては耳慣れない病気かもしれません。

以前はこの病気は「老人性黄斑変性」あるいは「円板状黄斑変性」と呼ばれていました。ついでに白内障も「老人性白内障」と言っていました。英語で言うと senile macular degeneration ですが、いつの間にか「老人性 senile」というのがアメリカで「差別用語」ということになったらしく、「加齢(性)age-related」という名前になりました。

加齢黄斑変性は50歳以上の人に見られる黄斑部の変性症です。欧米人では萎縮型といって dry な変性症も多いのですが、日本人では滲出型という網膜の下に新生血管膜ができてくるタイプが多いです(図1, 2)。

## 2. 加齢黄斑変性にはどんな人になるのでしょうか。

もともとの病気は欧米で多い病気とされてきました。事実、この病気は欧米では50歳以上の失明原因の第一位です。この場合失明というのは良いほうの目が0.1以下の視力となる場合を言い、まったく見えなくなることはありません。事実この病気ではたいてい黄斑部は侵されますが周辺部は正常ですので、悪くなくても周辺視野は残されることが多いです。欧米では黒人など有色人種に比し白人に多い病気とされています。

私は1986年まで関西にいましたが、外来で加齢黄斑変性を見るのはまれで大学の黄斑外来でみかけるぐらいでした。1988年に宮崎に来ましたが、とたんに数名の加齢黄斑変性をみました。

中でもよく覚えているのは製鉄会社のえら

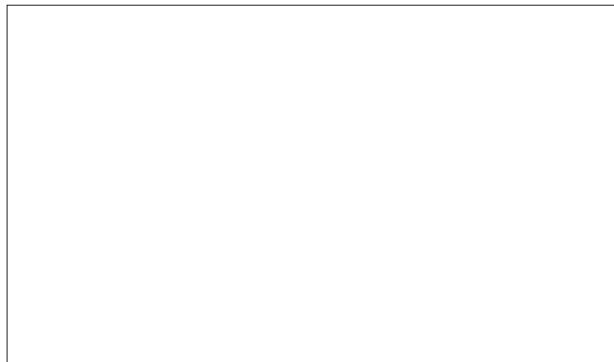


図1. 滲出型加齢黄斑変性の模式図  
異常な新生血管が網膜下に出てくる。

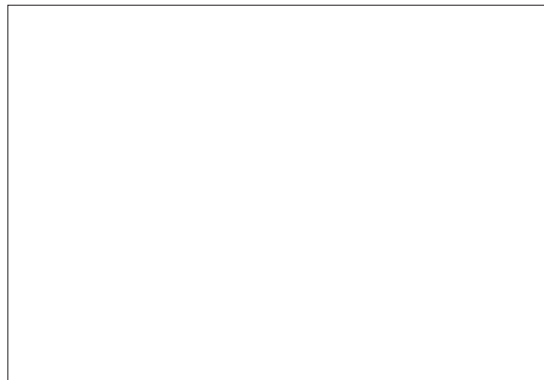


図2. 滲出型加齢黄斑変性の眼底。  
黄斑部の変性がみられる。

いさんでやめられた後、好きなゴルフ三昧で楽しもうと宮崎来られたのにこの病気になって両眼とも見えなくなってしまい、「何のために宮崎に来たのかわからん」とぼやいておられたのが耳に残っています。当時は有効な治療は何もなかったのでなすすべがなかったのです。

宮崎でこの病気が多いわけは一つは太陽の光線が強いことが挙げられます。もう一つはタバコの害です。宮崎はタバコの産地なので喫煙者が多かったことが考えられます。この病気は男性に多いのですが、その理由も喫煙の影響と考えられています。

日本ではこの病気がぐんぐん増えてきて 50 歳以上の視覚障害身障者の第四位を占めると言われています。1988 年の久山町研究では少なくとも 1 眼に加齢黄斑変性がみられる人は 50 歳以上の人口の 0.8% でそのうち滲出型は 0.6% でした。ところが 1997 年の久山町研究では、加齢黄斑変性は 1.3% でそのうち滲出型は 1.2% と 9 年間で 2 倍近くに急増していることがわかりました。今はその後さらに 15 年以上たっているわけですのでさらに増加していると想像されます。

そのわけは食生活の欧米化であろうといわれています。日頃美食に喜びを見出しておられる会員の先生方は特にリスクが高い可能性があります。

3. 加齢黄斑変性の診断はどうつけるのでしょうか？

加齢黄斑変性の診断は眼底検査が基本となります。それに加え大きな力となっているのが OCT (光断層干渉計) という機械です。

これは十年ほど前から眼科の市場で使われるようになった機械ですが、黄斑部の網膜の断層像を非侵襲的に顕微鏡なみの解像力で映し出す、まさに魔法の機械です(図 3)。最近解像度がぐんと上がって 6 ミクロン程度となりまさに組織学的診断が生体で行えるようになりました。こんな機械が競争により 500 万円台から買えるようになったのですから網膜の奥に生えてくる新生血管の診断(図 4)には不可欠のものとなっています。

4. 加齢黄斑変性は治療できるのでしょうか？

日本人に多い滲出型加齢黄斑変性の治療はここ数年で大きく進歩しました。新生血管の発生には VEGF (血管内皮成長因子) というサイトカインが大きな役割を果たしています。この VEGF を抑制する抗 VEGF 抗体という製剤を硝子体内に注射することにより眼内の新生血管を強力に抑制することが分かったからです。この治療により加齢黄斑変性で視力を向上させ、それを維持することができるようになりました。

現在日本には三種類の抗 VEGF 製剤があります。主に用いられているのはルセンティスとアイリーアという薬です。この両者はほぼ

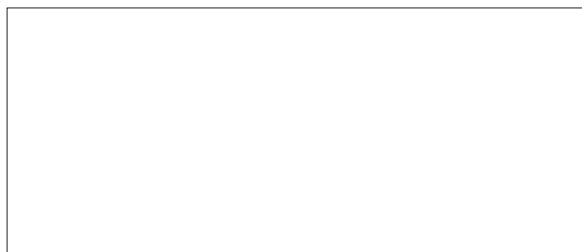


図 3 光干渉断層計(OCT)の正常画像。  
最近の OCT では顕微鏡で切ったような断面像が得られる。

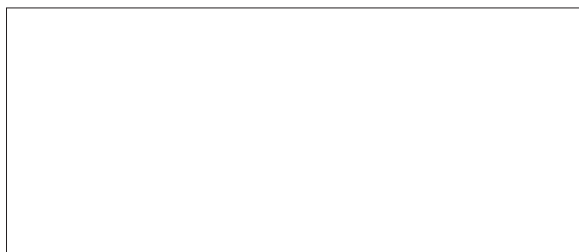


図 4 滲出型加齢黄斑変性の OCT 画像。  
網膜下に滲出があるのが見られる。

優劣つけがたい効果がありますが、後発のアイリーアがやや安価(1万円台と15万円台)であることと、やや効果が長続きすること(一か月後と二か月)から、アイリーアの方が急速にルセンティスの独占を切り崩していました。最近ルセンティスが全身へ出た場合の半減期が短いことの安全性をアピールして挽回を図っています。

さらにアバスタチンという大腸がん用に開発された抗VEGF製剤を分注したものも使用されることもあります。これは眼科用製剤に比し安価であることから用いられるもので、特に米国では眼科用に使用される抗VEGF製剤の中で半数以上がアバスタチンであると言われています。

気になる抗VEGF製剤の副作用ですが、局所注射による眼内炎や網膜剥離が挙げられますが頻度は低いです。全身作用としては高血圧および脳梗塞や心筋梗塞などの心血管イベントの誘発が挙げられています。もともと高齢者に使用するため本当に抗VEGF製剤が心血管イベントを増加させるかどうかは議論的となっています。

新生血管を抑制するために高価な抗VEGF製剤を毎月一〜数か月おきに打たなければならないのは患者さんにとっては経済的な負担となります。

#### 5. 他科の医師にとって気を付けるべき点

加齢黄斑変性患者の急速な増大によって眼科以外の先生方にとっても加齢黄斑変性を持った患者に遭遇する機会が増えています。その際、気を付けることの一つは抗凝固剤の使用です。

加齢黄斑変性の中でも日本人に多いとされるものが「ポリープ状脈絡膜血管拡張症(PCV)」というものでこれは脈絡膜の血管の一部がポリープ状に膨らんでくるもので、日本人の滲

出性加齢黄斑変性の約4割を占めるとされています。このポリープは時々破れて網膜の下で大出血を起こすことがあります(図5)。その際に抗凝固剤を飲んでいる人では出血が大量になり網膜下血腫を作り、結果的にほぼ失明状態となることがあります。加齢黄斑変性の患者さんには高齢のため脳梗塞、心筋梗塞などで抗凝固剤を飲んでいる方も多く、頭の痛い問題です。

#### 6. 加齢黄斑変性の未来の治療とは？

山中教授がiPS細胞研究でノーベル賞を受賞されたのはつい最近ですが、その臨床応用がまさに眼科領域で始まろうとしています。それは皮膚より作成したiPS細胞から網膜色素上皮細胞という細胞を作り出し、加齢黄斑変性患者の障害された色素上皮細胞を置換するという試みです。ほかの領域に先駆けて眼科が選ばれた理由は目という隔離された領域で、外側から観察しやすいこと、そして万が一移植された細胞ががん化した場合でも光凝固などで細胞を破壊することが比較的容易にできることといわれています。

これらの先進的な研究をされている理化学研究所の高橋政代先生に期待が集まっているところです。今マスコミにも注目されていて大忙しの高橋先生ですが、学生時代は学年のマドンナであったという素敵な女医さんです。

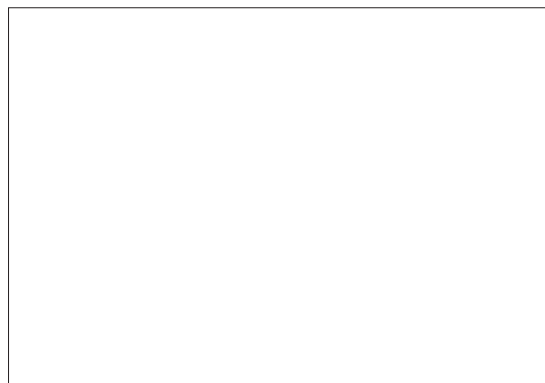


図5 加齢黄斑変性のため網膜下に血腫を作ってきた症例。

## お知らせ

平成 25 年度春季県医師テニス大会  
(再度)開催のお知らせ

6 月 9 日に予定していた県医師テニス倶楽部の春季大会は雨のため中止としましたが、再度日程を変更し、下記のとおり開催します。  
県内のテニス愛好の先生方のたくさんの参加をお待ちしています。

|       |                                                      |
|-------|------------------------------------------------------|
| 日 時   | 平成 25 年 7 月 28 日(日曜日) 午前 9 時 30 分開始                  |
| 場 所   | シーガイアテニスアカデミー TEL 0985-21-1311                       |
| 参加資格  | 県内の医療機関の医師、家族、医療関係者                                  |
| 参 加 費 | 4,000 円(昼食費込み) 当日集めます。                               |
| 種 目   | ダブルス<br>当日希望等によりペアや対戦相手を決めます。<br>(気軽に申し出て下さい)        |
| 連 絡 先 | 宮永内科クリニック 宮永 省三<br>TEL 0985-62-5556 FAX 0985-62-5557 |

カット



## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。また、MMA 通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時ご案内しておりますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

会員専用ページへのアクセス方法

宮崎県医師会 (<http://www.miyazakimed.or.jp/>) にアクセス

県医師会ホームページ右下の「会員専用ページ」をクリック

ユーザー名：医籍登録番号を入力

パスワード：生年月日(西暦の下二桁と月日)を入力(初期設定)

例) 1950 年 11 月 2 日生まれの場合, 501102

※ MMA 通信への登録をご希望の方は、県医師会地域医療課までご連絡ください

(TEL 0985-22-5118)。

| 送付日      | 文 書 名                                                                                                                                                                                 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 月 21 日 | ・ 特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き【改訂版】の送付について<br>・ 平成 25 年度「世界禁煙デー」および「禁煙週間」について                                                                                                           |
| 5 月 27 日 | ・ 「病原微生物検出情報」の送付について<br>・ 鳥インフルエンザ A (H 7 N 9) ウイルス感染症に対する院内感染対策の送付について<br>・ 「地域支援事業の実施について」の一部改正について<br>・ 平成 25 年度地域ケア会議活用推進等事業の実施について                                               |
| 5 月 28 日 | ・ 妊産婦健診等における母子感染対策について(情報提供)                                                                                                                                                          |
| 5 月 29 日 | ・ 県内における重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の発生について(情報提供)<br>・ (記者発表)「H IV 検査普及週間」における休日・H IV 検査の実施について<br>・ 第 4 回日本健康運動看護学会学術集会開催のご案内                                                                  |
| 5 月 30 日 | ・ 「医療機器の保険適用について」の一部訂正について<br>・ ヨウ化カリウム丸 50mg「日医工」及びヨウ化カリウム「日医工」の保険適用上の取扱いについて<br>・ 使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について<br>・ 医療機器の保険適用について<br>・ 医療安全全国共同行動設立記念シンポジウムの開催について<br>・ 材料価格基準の一部改正等について |
| 5 月 31 日 | ・ 第 40 回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設等教員講習会の開催について(通知)<br>・ 「学校において予防すべき感染症の解説」の周知依頼について<br>・ H b A 1 c 検査関係の啓発資料、及び日本糖尿病学会「熊本宣言 2013」の送付について                                                 |
| 6 月 3 日  | ・ 平成 23 年度産業連関構造調査(医療業・社会福祉事業等投入調査)の協力依頼について<br>・ 新種のコロナウイルスによる感染症の国内検査体制及び日本における呼称について<br>・ 精神障害者地域移行・地域定着支援事業の実施について<br>・ 「予防接種ガイドライン 2013 年度版」「予防接種と子どもの健康 2013 年度版」の送付について        |

| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                                               |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6 月 4 日 | ・ 児童福祉施設等入所者及び里子の受信券に係る取扱いの変更について(通知)                                                                                                               |
| 6 月 5 日 | ・ ジクロロメタン又は 1, 2-ジクロロプロパンの長期間の高濃度ばく露を受ける業務に従事したことにより発症した労働者の胆管がんに関する労災保険給付に係る周知について<br>・ 鳥インフルエンザ(H N 9)を指定感染症として定める等の政令に伴う学校保健安全法における取扱いについて(周知依頼) |
| 6 月 6 日 | ・ 「第 1 回日本医師会在宅医リーダー研修会」の開催について<br>・ ヒブワクチンの価格について                                                                                                  |
| 6 月 7 日 | ・ 日本医師会 A C L S (二次救命処置)研修について                                                                                                                      |
| 6 月 11日 | ・ 黄熱の予防接種実施機関の指定について<br>・ 平成 25年度がん検診推進事業の実施について                                                                                                    |
| 6 月 12日 | ・ 地域医療情報システム(J M A P)について<br>・ 熱中症予防の普及啓発・注意喚起について(周知依頼)                                                                                            |
| 6 月 14日 | ・ 独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について<br>・ 今夏の電力需給対策について(報告)                                                                                                   |
| 6 月 15日 | ・ ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種の対応について(勧告)<br>・ 鳥インフルエンザ A (H N 9)に関する検疫所の対応について<br>・ 鳥インフルエンザ A (H N 9)ウイルス感染症に対する院内感染対策の送付について                              |
| 6 月 17日 | ・ 平成 25年度「愛の血液助け合い運動」の広報資料(ポスター)の送付について                                                                                                             |
| 6 月 18日 | ・ 文部科学省への要望書の提出について(看護師・准看護師養成所の実習施設確保等に関する要望)<br>・ 主治医意見書に関する研修資料の周知について                                                                           |
| 6 月 19日 | ・ 「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について」の一部改正について                                                                                                              |
| 6 月 20日 | ・ 日本医師会年金の普及推進活動について(依頼)<br>・ 日本医師会年金(医師年金)の個人情報保護対応について                                                                                            |
| 6 月 21日 | ・ 平成 25年毎月勤労統計調査特別調査に対する調査協力依頼について(依頼)                                                                                                              |

-----

あなたできますか？(解答)

|      |   |   |   |   |   |      |      |   |    |
|------|---|---|---|---|---|------|------|---|----|
| 1    | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7    | 8    | 9 | 10 |
| a, d | d | b | c | b | e | a ,b | a ,e | d | e  |



## あとがき

課税」であるが故に、医薬品や材料費、もちろん設備投資にかかる消費税は全て病院が負担。一方、輸出企業は「0%課税」なので生産過程で負担した消費税はすべて国から還付される。経済用語の言葉遊びのようなこの事実は驚愕です。勤務医(失礼! 私だけかもしれませんが)の経済常識はこんなものかと深く反省しました。もっともマスコミの若手記者さんたちも、五十歩百歩。「非課税」のはずの病院が消費税増税で破綻し、医療崩壊がますます進む危険性があることに驚いておられました。

さて、当院の経営トップに、この消費税制度の不備によるいわゆる損税が、うちの病院の規模でいくらになるのかと聞いてみました。現時点で三千数百万円、10%になると更に同額の負担増になるとのこと。その場で即座に回答がありました。さすがです。ということは、バリバリ働く中堅勤務医三人分の賃金でしょうか。このまま事態が進むと、私はどうなるのでしょうか。人員整理で首を切られる方か、病院に残って更に馬車馬のように働かされて過労死する方か、冗談じゃないですよ! (上野)

\* \* \*

6月17日(月)、医療と消費税をテーマに「若手記者との勉強会」を開催しました。平成24年4月に8%、平成25年10月に10%への増税が予定されています。日医のデータによると、現時点でも「健保診療報酬収入の2.2%(平均値)」が控除対象外消費税として各医療機関の利益から持ち出しとなっているのが現状です。中医協の消費税分科会では、「消費税8%までは非課税」を前提に診療報酬上乘せをどのように行うか議論が始まっていると聞き及んでいます。その場合の財源は「医療費」であることを忘れてはなりません。(尾田)

\* \* \*

先日中学校卒業後40周年の宿泊同窓会で霧島に行きました。同級生150人余の内3人が亡くなり、そのすべてがDr. 元気なうちに泊旅行でしたが、宿に着くなり4人目(非Dr.です)がくも膜下出血で亡くなったとの報告。鹿児島島の温泉は宮崎とは違ってすごいとの評。温泉といえば大分もすごい。それらに比べて、宮崎は遅れているとはよく聞くフレーズです。温泉以外でも頻用されています。しかし、嘆いても始まりません。出来ることからする、出来ることをするのは“今でしょう”。(篠原)

\* \* \*

風疹の広がりが問題となっています。風疹のみならず、日本ではワクチンで予防できる多くの感染症が放置されています。日本のワクチンによる感染症対策は世界的に三流であることを皆さんお気づきでしょうか。

国家として明確なビジョンを持って、専門家の意見を踏まえて冷静に議論し、一つひとつ実行に移していく。今の日本には、どの分野においてもそのような姿勢が足りないと思います。逆にここを打破できないようでは、日本の復活はないでしょう。(姫路)

\* \* \*

若手記者との勉強会(33頁参照)を開くことになり、あらためて消費税の勉強をさせていただきました。消費税が上がると生活が苦しくなる。漠然とした理解でしたが、まさか医療機関の経営が破綻する可能性があるとは思っていませんでした。「非課税」というのと「0%課税」というのには雲泥の差があるということ、恥ずかしながら私は初めて知りました。医療は「非

先日大学の臨床実習の一環で人生初の救急車に同乗させていただきました。様々な状況で迅速かつ適切な判断が必要とされ、また救急隊や他の医療スタッフとの連携が十分でないと成り立たない救急医療は医療の原点であり同時に最終地点であるように思えました。救急医療に関しては未だ医師不足や受け入れ拒否問題等の課題もありますが、より良い医療体制の実現には医療者だけでなく、患者さんたちの協力が欠かせないものだと思う今日この頃です。(明里)

\* \* \*

6月もう末となりました。私個人としては、6月8日に行われた宮崎大学医学部音楽祭の準備などで忙しい月となりました。私は和太鼓部に所属しており、音楽祭でも和太鼓の演奏をさせていただきました。部員の皆と協力して一つの曲を作り上げるのには、毎回きつさと、それを遥かに上回る達成感を感じています。次は学園祭で演奏します。それまでまた広報委員会をはじめ、自身が関わっている様々なこと全てに、一心不乱に取り組んでいきます。(川上)

\* \* \*

広報委員会では、若手記者との勉強会に先立って皆で「医療防衛—なぜ日本医師会は闘うのか」今村聡・海堂尊著(762円)を読みました。医師会について簡潔に解り易く書かれています。是非ご一読ください。また消費税制度についてのパワーポイントを作成しました。医師会が作っている資料よりさらに解り易くなっていると自負しています。講師つき?でお貸ししますので、県医師会にお訊ねください。

宮崎キュアケアネットワーク主催の「在宅を支える多職種交流会」に参加しました。問題を抱える事例についてどう対応したらよいかを全員で話し合うのですが、病気を診ずして、病人を診よという言葉の大切さを実感しました。(青木)

\* \* \*

## 今月のトピックス

### 日州医談 新しい専門医制度

「皆保険制度」を維持するため、第三者機関による「新しい専門医制度」の創設が避けられない状況になっています。専門医の数と配置をコントロールし、一般開業医などのゲートキーパー機能によりフリーアクセスを制限し、医師の偏在に歯止めをかけつつ、在宅医療などとの関連性を待たせる方向で今後は議論が進むものと考えられます。諸外国とは異なり民間の医療機関が主役である日本の医療供給体制を、診療報酬制度の改正というインセンティブでどこまでコントロールできるのか注目されます。平成 29 年度にも始まる新しい専門医制度の概要と問題点について、上田章理事が述べてくださいました。

6 ページ

### はまゆう随筆

毎年夏の恒例となりました「はまゆう随筆」の第 1 弾です。今月号では 14 人の会員の先生方のご寄稿を掲載します。諸先生方の意外な一面や様々な想いが伺える内容ですので、是非ご覧ください。

10 ページ

### 診療メモ 急増する疾患「加齢黄斑変性」

最近急速に増加しつつある「加齢黄斑変性」は 50 歳以上の男性に多く、紫外線、タバコ、食生活などの関連が指摘されています。欧米では 50 歳以上の失明(視力障害)原因の第 1 位となるこの疾患は、以前「老人性黄斑変性」あるいは「円板状黄斑変性」と呼ばれていました。宮崎に多いとされるこの疾患の診断や治療、そして iPS 細胞の臨床応用に関する話題など、直井信久先生がわかりやすく解説してくださいました。是非、ご一読ください。

72 ページ

日 州 医 事 第 76 号 (平成 25 年 7 月号) (毎月 1 回 10 日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.iyazakimedor.jp/> E-mail office@iyazakimedor.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 尾田 朋樹・副委員長 上野 満、黒川 基樹

委 員 篠原 立大、姫路 大輔、明里 知美、川上 勲

釜付 弘志、沖田 和久、大野 妙子、陣門 洋平、原尾 拓朗

担当副会長 富田 雄二・担当理事 青木 洋子、荒木 早苗

事務局 学術広報課 瀬戸山千春、久永 夏樹

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350 円 (但し、県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)